PCリモーターマニュアル

LaVie Light

Luiモデル

PCリモーターで
できること

このマニュアルについて

必ずお読みください

巻頭　PCリモーターでできること
PCリモーターとはどんなものなのか、また、PCリモーターのおすすめの使い方などについてご紹介しています。

使う前の準備と設定

PART 1　ご使用前の準備
ご使用になる前に準備していただく事柄について説明しています。

PART 2　初期設定
はじめてPCリモーターを使うときに必要な設定について説明しています。

PCリモーターを使う

PART 3　PCリモーターの基本的な使い方
PCリモーターソフトの基本的な操作方法や、PCリモーターサーバからPCリモーターに画面が送られる仕組みなどについて説明しています。

PART 4　リモートスクリーンを使う
NECの独自技術を使ったPCリモーターの代表的な機能、「リモートスクリーン」の使い方について説明しています。

PART 5　リモートデスクトップを使う
Microsoft社の技術を使った「リモートデスクトップ」の使い方について説明しています。

PART 6　共有フォルダを使う
PCリモーターサーバの共有フォルダに、PCリモーターからアクセスする方法について説明しています。

必要に応じてお読みください

一歩進んだ使い方や設定など

PART 7　手動接続を使う
PCリモーターを、PCリモーターサーバに手動で接続する手順について説明しています。

PART 8　設定する
PCリモーターの設定方法や、サーバの追加手順などについて説明しています。

困ったときには

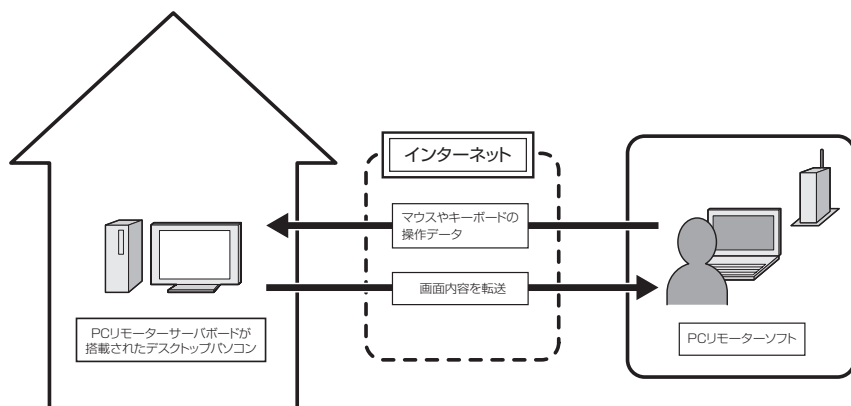
PART 9　トラブル解決
トラブルが起こったときの解決方法について説明しています。

付録
外出先でPCリモーターを使うときのコツや、以前発売されたPCリモーターサーバに対応しているNECパソコンとの接続方法などについて説明しています。

853-811057-001-A　2010年1月　初版

PCリモーターでできること

PCリモーターソフトとは

「PCリモーターソフト」は、ご自宅のデスクトップパソコンを、PCリモーターを通じて離れたところから操作するためのソフトです。
ご自宅内の別の部屋はもちろん、外出先からでもインターネットを経由して、ご自宅のデスクトップパソコンのデータやソフトを利用できます。

■PCリモーターソフトを利用するためには

次のいずれかのデスクトップパソコンをご用意ください。

①VALUESTAR R Luiモデル
PCリモーターサーバボードを標準搭載したデスクトップパソコンです。

②PCリモーターサーバボードを搭載したデスクトップパソコン
いまお使いのデスクトップパソコンに別売のPCリモーターサーバボードを取り付けることで、PCリモーターから遠隔操作ができるようになります。

詳しくはLuiホームページをご覧ください。
http://121ware.com/lui/

PCリモーターでできること

おすすめの使い方

いつものソフト、いつもの環境を、どこへでも。

まるでデスクトップパソコンを持ち歩いているかのように。

家中どこでも

動画を見たり編集したり

デスクトップパソコンの中にある動画を再生したり編集したり。場所を選ばず、お気に入りの映像を楽しむことができます。

外出先でも

やりかけた作業の続きを

外出するときにわざわざファイルをコピーする必要がありません。デスクトップパソコンを持ち歩いている感覚で、いつもの使い慣れたソフトを利用してやりかけの作業を再開できます。

撮りためた写真をお友達や同僚に

自宅のパソコンに保存してある旅行の写真や子どもの写真をどこでも表示して見せることができます。

※インターネット接続環境が必要です。

インターネットにつなげない場所でも

デスクトップパソコンのデータをあらかじめコピーしておけば、コピーしたデータをLaVie Light Luiモデル(本機)で利用できます。

※転送したデータの編集、閲覧をするには本機にも対応したソフトが必要です。

※著作権保護されたコンテンツをPCリモーターから視聴することはできません。

PCリモーターでできること

PCリモーターソフトの機能

■リモートスクリーン(p.61)

「リモートスクリーン」とは、LaVie Light Luiモデル（本機)からPCリモーターサーバ（VALUESTAR R Luiモデル、PCリモーターサーバボードを搭載したパソコン)を遠隔操作するNEC独自の機能です。
「リモートスクリーン」でPCリモーターサーバに接続して動画再生を含むパソコン操作を利用できます。※1

※1:DVD再生や地デジ視聴、解像度の切り換えを伴うソフト、一部のオンラインゲームなど、使用できない機能もあります。

■リモートデスクトップ(p.91)

「リモートデスクトップ」とは、LaVie Light Luiモデル(本機)から、PCリモーターサーバを遠隔操作するWindowsの機能です。
「リモートデスクトップ」は、無線LANの電波状況が悪いケースなど、通信の速度が遅い場合にメールやワープロ、ホームページの閲覧などを利用するときにおすすめです。

※リモートデスクトップを使用するためには、PCリモーターサーバのOSがリモートデスクトップに対応している必要があります。

■リモートパワーオンについて

LaVie Light Luiモデル(本機)から「リモートスクリーン」や「リモートデスクトップ」でPCリモーターサーバに接続したとき、たとえPCリモーターサーバがスリープ状態や休止状態であっても自動的に起動します。

■共有フォルダについて(p.105)

PCリモーターサーバのフォルダの共有を有効にしておけば、ネットワークを経由してPCリモーターからそのフォルダ(共有フォルダ)にアクセスし、ファイルをやりとりすることができます。
外出先では、PCリモーターをインターネットに接続しておくことが難しい場合があります。また、電波の状況が悪いときは必要な通信速度が確保できないこともあります。
共有フォルダを使って、あらかじめPCリモーターに必要なファイルをコピーしておけば、PCリモーターサーバと接続できないときでも、PCリモーター側でファイルを操作することができます。

※コピーしたデータの編集・閲覧をするには本機にも対応したソフトが必要です。

■セーフコネクトについて(p.60)

LaVie Light Luiモデル(本機)とPCリモーターサーバをインターネット経由で安全に接続するための、NEC独自のVPN(仮想プライベートネットワーク)技術です。

PCリモーターでできること

PCリモーターソフトを利用するためには

ここでは、PCリモーターソフトを利用するために必要な機器とネットワーク環境について説明します。
また、PCリモーターの情報が掲載されているLuiホームページのご紹介もしています。

必要な機器

■PCリモーターサーバ
PCリモーターソフトを利用するためにはPCリモーター（本機）のほかに、親機となるPCリモーターサーバが必要です。
VALUESTAR R Luiモデルもしくは、別売のPCリモーターサーバボードを搭載したパソコンを親機（PCリモーターサーバ）としてお使いいただけます。

PCリモーターサーバは、PCリモーターサーバのCドライブにOSがある状態で、CドライブにPCリモーターサーバソフトをインストールする必要があります。PCリモーターサーバソフトのインストールは、このマニュアルを順にお読みいただき、PART1の「PCリモーターサーバソフトをインストールする」（p.16）でおこないます。

また、PCリモーターサーバをネットワークにつなげるために次の機器が必要です。
■UPnP対応ルータ
■LANケーブル（2本）
必要な機器について詳しくはPART1の「ご使用前に確認すること」（p.3）をご覧ください。

必要なネットワーク環境

PCリモーターソフトを利用するためには、次のネットワーク環境が必要です。

PCリモーターサーバ側

■ブロードバンド回線

ご自宅にブロードバンド回線が必要です。回線はFTTH(光回線)を推奨します。

■グローバルIPアドレス

外出先から接続する場合、PCリモーターサーバが接続されているルータにグローバルIPアドレスが必要です。

■メールアカウント

外出先から接続する場合、メールアカウントが必要です。
受信サーバがPOP3のものを使用してください。
受信メールサーバが、「HTTP(Webメール)」「Microsoft Exchange Server」「IMAP」などPOP3以外のメールアカウントは使用できません。
Webメール、フリーメール、広告が挿入されるメールなどは使用できません。

PCリモーター(本機)側

■インターネットに接続できる環境

インターネットに接続できる環境があれば、外出先からでもPCリモーターサーバに接続してお使いいただくことができます。

必要な機器について詳しくはPART1の「ご使用前に確認すること」(p.3)をご覧ください。

Luiホームページ

121ware.comのLuiホームページには、PCリモーターを活用していただくための情報が満載です。
ぜひご覧ください。

http://121ware.com/lui/

このマニュアルの表記について

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
	利用の参考となる補足的な情報や、用語について説明しています。
	関連する情報が書かれている所を示しています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【　】	【　】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
「サポートナビゲーター」	電子マニュアル「サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。「サポートナビゲーター」は、タスクバーの（サポートナビゲーター）アイコンをクリックして起動します。
DVD/CD ドライブ	PCリモーターサーバに搭載されている光ディスクドライブ（ブルーレイディスクドライブ、DVDスーパーマルチドライブなど）を指します。

◆本文中の記載について

・本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。

・記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

Windows、Windows 7	Windows® 7 Starter Windows® 7 Home Premium Windows® 7 Professional Windows® 7 Ultimate
Windows Vista	Windows Vista® Home Premium with Service Pack 2 (SP2) Windows Vista® Business with Service Pack 2(SP2) Windows Vista® Ultimate with Service Pack 2(SP2) Windows Vista® Home Premium with Service Pack 1 (SP1) Windows Vista® Business with Service Pack 1(SP1) Windows Vista® Ultimate with Service Pack 1(SP1)
Windows XP、Windows XP Home Edition	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版Service Pack 3
Windows XP、Windows XP Professional	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版Service Pack 3
Windows Media Player	Windows Media® Player 12
Outlook 2007	Microsoft® Office Outlook® 2007
Outlook Express	Microsoft® Outlook® Express
Windows Live メール	Windows Live™ メール
Windows メール	Windows®メール
Internet Explorer	Windows® Internet Explorer®
タスクバー	Windows® タスクバー
ファイアウォール	Windows® ファイアウォール
ユーザー アカウント制御	Windows® ユーザー アカウント制御

◆ご注意

（1） 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
（2） 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3） 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
（4） 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、（3）項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
（5） 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
（6） 海外における保守・修理対応は、海外保証サービス［NEC UltraCare[SM] International Service］対象機種に限り、当社の定めるサービス対象地域から日本への引取修理サービスを行います。サービスの詳細や対象機種については、以下のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/ultracare/jpn/
（7） 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 7 Starterおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROM は、本機のみでご使用ください。
（8） ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
（9） ハードウェアの保守情報をセーブしています。

◆商標

■輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。（ただし、海外保証サービス［NEC UltraCare^{SM} International Service］対象機種については、ご購入後一年間、日本への引取修理サービスを受けられます。）

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*[1] will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*[1] does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for NEC UltraCare[SM] International Service can be provided with acceptance service of repair inside Japan for one year after the purchase date.)

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*[1]: NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd.

目　次

付　録...165

PART

1

ご使用前の準備

このPARTでは、PCリモーターやPCリモーターサーバを使う前に準備するものや、あらかじめ設定しておく内容などを説明しています。

PCリモーターご利用までの流れ

PCリモーターを利用するには、次の順番で準備と設定をおこなう必要があります。
準備や設定が正しくおこなわれないと、PCリモーターが動作しないことがあります。

このマニュアルの読み方

はじめに、このマニュアルを読む上で注意していただきたいことを説明します。

各機能の呼び方

このマニュアルでは、PCリモーターの利用に関する各機器や各機能を次の名前で呼んでいます。
PCリモーターの機能の概要については、巻頭の説明をご覧ください。

用語	意味
PCリモーター	PCリモーターソフトがインストールされたパソコン(本機)を指します。
PCリモーターサーバ	次のいずれかを指します。 ・VALUESTAR R Lui モデル ・PCリモーターサーバボードを搭載したパソコン
PCリモーターサーバボードセットモデル	PCリモーターとPCリモーターサーバボードがセットになっているモデルを指します。
サーバ接続	PCリモーターサーバと接続をおこなうことを指します。

このパソコンでは、ホームサーバPC(Lui SX)をPCリモーターサーバとして利用できません。

ご使用前に確認すること

本機をご利用になるには、ネットワークの回線やルータなどのネットワーク機器が必要です。

メモ

動作環境の詳細については次のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/lui/

ここでは、PCリモーターとPCリモーターサーバ、ネットワークの設定をおこなう前に、必要なものがそろっているか確認します。

「PCリモーターサーバソフト統合インストールCD-ROM」について

本機に添付されている「PCリモーターサーバソフト統合インストールCD-ROM」を使って、PCリモーターサーバとするパソコンにPCリモーターサーバソフトをインストールする必要があります。「PCリモーターサーバソフト統合インストールCD-ROM」をお手元にご用意ください。なお、インストールは、このPARTを順に読み進み、「PCリモーターサーバソフトをインストールする」(p.16)でおこないます。

PCリモーターサーバについて

PCリモーターソフトをご利用になるには、本機のほかに親機となるPCリモーターサーバが必要です。

PCリモーターサーバとして

・ VALUESTAR R Luiモデル

・ 別売のPCリモーターサーバボードを搭載したパソコン

をお使いいただけます。

PCリモーターサーバボードの動作確認機種については、次のホームページをご覧ください。

http://121ware.com/lui/

あらかじめ「AVマルチケーブル」、または「映像ケーブル」、「音声ケーブル」をPCリモーターサーバボードとパソコン本体、ディスプレイに接続しておきます。

Windows VistaからWindows 7にアップグレードする場合

Windows 7にアップグレードする前に「スタート」-「コントロールパネル」-「プログラムのアンインストール」をクリックして表示される画面で、PCリモーターサーバソフトをアンインストールしてください。また、アップグレード後には、PCリモーターサーバソフトを再インストールしてください。PCリモーターサーバソフトの再インストールについては、このPARTの「PCリモーターサーバソフトをインストールする」(p.16)をご覧ください。

ネットワーク接続について

PCリモーターとPCリモーターサーバを接続するには、ホームネットワーク(宅内/宅外の場合)およびインターネット(宅外の場合)の設定が必要です。あらかじめ設定をおこない、本機でPCリモーターサーバおよびインターネットに接続できることを確認しておいてください。

参照

ネットワークの設定について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「LAN」
無線LANの設定について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「ワイヤレスLAN(無線LAN)」
インターネットの設定について→『ユーザーズマニュアル』の「PART1 このパソコンについて」

お客様の自宅のネットワーク環境が、PCリモーターを宅外のネットワークから利用するための条件を満たしているか、「PCオンデマンド環境チェックプログラム」を使って、事前に確認することをおすすめします。PCオンデマンド環境チェックプログラムは、http://121ware.com/lui/ からダウンロードできます。

■ネットワーク接続をするために用意するもの

◎:利用シーンに関係なく、本機使用にあたり必須
○:サービスや機能を利用する場合に必要

◆PCリモーターサーバ側

用意するもの		宅内	宅外	備考
ルータ(※2※3)	UPnP対応(※4)		◎	UPnPは、複雑な操作をすることなく、機器をネットワークに接続し、ネットワークを通じて操作する規格です。
	DHCP対応	○(※1)	○(※1)	DHCPは、機器がネットワークに接続する際に必要な情報を提供するプロトコルです。
	グローバルIPアドレスの割り当て(※4)		◎	グローバルIPアドレスは、インターネットにつながっている機器に割り振られた、ほかと重複することのないIPアドレスです。宅外でPCリモーターを利用するには、ご自宅のルータにグローバルIPアドレスが割り振られている必要があります。グローバルIPアドレスは「動的」「固定」のどちらでもかまいません。ご自宅のルータにグローバルIPアドレスが割り振られているかについては、ご利用の「インターネットサービスプロバイダ」(プロバイダ)にお問い合わせください。
	有線LAN	◎	◎	空きポートは2つ必要です。ご利用のルータにLANの空きポートが足りない場合は、スイッチングHUBなどが必要です。接続方法は、「ネットワーク接続図」(p.12)を参考にしてください。
	無線LAN	○	○	無線LANを使用する場合、PCリモーターと接続できる無線LAN回線(IEEE802.11nもしくはIEEE802.11b/g準拠)が必要です。
LANケーブル(※2)		◎	◎	2本準備してください。
メールアカウント			◎	メールアカウントは、使用する受信メールサーバがPOP3のものを使用してください(※5)。Webメール、フリーメール、広告が挿入されるメールなどは使用できません。また、迷惑メールフィルタをご利用になっている場合、セーフコネクトが正常に動作しないことがあります。

用意するもの	宅内	宅外	備考
ブロードバンド回線		◎	宅外でPCリモーターを利用するには、インターネットサービスプロバイダ(プロバイダ)とのご契約が必要になります。 回線速度(上り回線の帯域)の目安は、PCリモーターサーバ側のブロードバンド回線が1Mbps以上(FTTH)を推奨します。 回線速度の詳細は、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

※1:PCリモーターサーバソフトをインストールする際は、DHCPサーバ機能が必要です。

※2:ルータのLANポートとパソコンの次のコネクタをLANケーブルでそれぞれ接続します。
①パソコン本体のLANコネクタ
②PCリモーターサーバボードのLANコネクタ

※3:ルータのファームウェアを最新にしてください。ファームウェアは、ルータの動作を制御するソフトウェアで、ルータに内蔵されています。お使いのルータのメーカーのホームページからダウンロードすることで、最新の機能を利用できます。詳しくは、ルータのマニュアルをご覧ください。

※4:お使いの機器が対応しているかわからない場合は、http://121ware.com/lui/にアクセスし、「PCオンデマンド環境チェックプログラム」をクリックしてください。PCオンデマンド環境チェックプログラムの説明とダウンロードできる画面が表示されます。このプログラムは、お客様の自宅のネットワーク環境を確認し、PCリモーターを宅外のネットワークから利用するための条件を満たしているかを確認するものです。

※5:受信メールサーバが、「HTTP(Webメール)」「Microsoft Exchange Server」「IMAP」などPOP3以外のメールアカウントは使用できません。

◆PCリモーター側

用意するもの	宅内	宅外	備考
インターネットに接続できる環境(※1)		◎	外出先からインターネットに接続するには、 ・データ通信カードによる接続サービス ・公衆無線LANのスポットサービス ・ホテルのインターネット接続サービス などをご利用ください。 HSDPAなどの高速な回線(実効速度約1Mbps以上)のご利用をおすすめします。

※1:回線速度については、PART4の「リモートスクリーンの各種機能について」-「リモートスクリーンメニュー」-「回線速度」(p.80)をご覧ください。

メモ

対応ルータ、動作確認済みのサービスなどについて詳しくは、http://121ware.com/lui/をご覧ください。

PCリモーターサーバの準備

PCリモーターとPCリモーターサーバを同じルータに接続し、初期設定をする前に、次のことをおこないます。

PCリモーターサーバの設定前の確認をする

1 PCリモーターサーバの接続を確認する

「AVマルチケーブル」または「映像ケーブル」、「音声ケーブル」が、PCリモーターサーバの本体、PCリモーターサーバボード、ディスプレイと正しく接続されていることを確認してください。

 参照

PCリモーターサーバの接続確認について

2008年4月に発表された VALUESTAR R Luiモデルの場合	付録の「VALUESTAR R Luiモデルケーブル接続図」(p.166)
2008年10月以降に発表された VALUESTAR R Luiモデルの場合	PCリモーターサーバに添付のマニュアル
PCリモーターサーバボードの場合	PCリモーターサーバボードに添付されているマニュアル

- PCリモーターサーバは、マルチディスプレイおよびディスプレイのピボット機能（縦長表示状態での接続）はサポートしていません。
- PCリモーターサーバには、2本のLANケーブルを接続する必要があります。

2 PCリモーターサーバのWindows ユーザー アカウントにパスワードが設定されていることを確認する

Windowsのパスワードは、自動ログオンユーザ設定(p.38)をおこなうときに必要です。

PCリモーターソフトでPCリモーターサーバに接続するためには、サーバ側のWindows ユーザー アカウントが管理者権限のあるユーザーで、かつパスワードが設定されている必要があります。パスワードが設定されていない場合は、お使いのPCリモーターサーバのマニュアルをご覧になり、パスワードを設定してください。

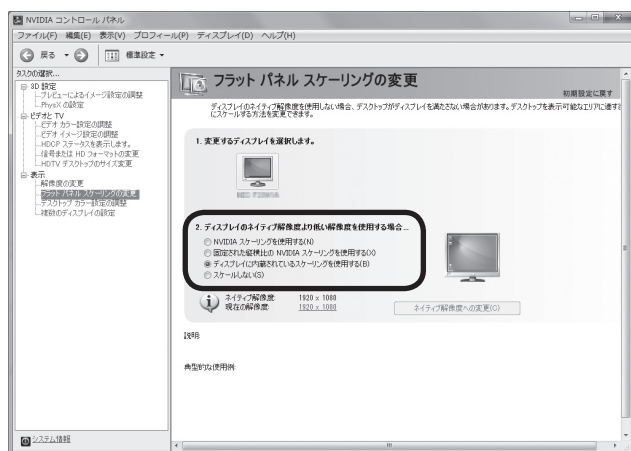
3 PCリモーターサーバのディスプレイアダプタの設定を確認する

お使いのPCリモーターサーバのディスプレイアダプタの種類およびその設定によっては、PCリモーター接続時に、ターゲットポインタとPCリモーターサーバのマウスカーソルの位置がずれるなど、PCリモーター上に画像が正常に表示されない場合があります。その場合は、次の例を参考にして、PCリモーターサーバ側にて、「ディスプレイアダプタによるスケーリング機能を使わない」ように設定してください。

以下の画面と設定は例です。お使いのディスプレイアダプタの種類やデバイスドライバ、ユーティリティのバージョンによっては、実際の画面や対処方法が異なる場合があります。

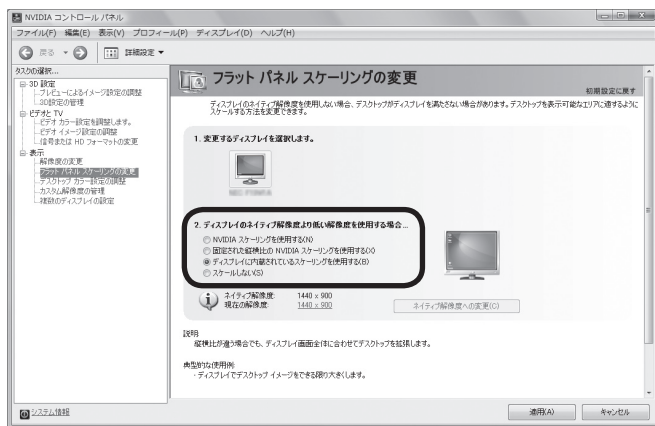
■ ディスプレイアダプタがNVIDIA社製でOSがWindows 7の場合

NVIDIAコントロールパネルで、「ディスプレイに内蔵されているスケーリングを使用する」が選択されていることを確認してください。

NVIDIAコントロールパネルは、通常、デスクトップ画面で右クリックし、表示されるメニューから「NVIDIAコントロールパネル」を選択すると、起動できます。初回起動時に「標準設定」か「詳細設定」の選択メニューが表示されますが、どちらを選んでもかまいません。NVIDIAコントロールパネル起動後に「フラットパネルスケーリングの変更」を選択すると、ディスプレイアダプタの設定画面が表示されます。

▲NVIDIAコントロールパネルの例（Windows 7の場合）

■ ディスプレイアダプタがNVIDIA社製でOSがWindows Vistaの場合

NVIDIAコントロールパネルで、「ディスプレイに内蔵されているスケーリングを使用する」を選択してください。

NVIDIAコントロールパネルは、通常、デスクトップ画面で右クリックし、表示されるメニューから「NVIDIAコントロールパネル」を選択すると、起動できます。初回起動時に「標準設定」か「詳細設定」の選択メニューが表示されますが、どちらを選んでもかまいません。NVIDIAコントロールパネル起動後に「フラットパネルスケーリングの変更」を選択することにより、本設定を変更できます。

▲NVIDIAコントロールパネルの例(Windows Vistaの場合)

■ ディスプレイアダプタがAMD(ATI)社製でOSがWindows 7の場合は、設定不要です。

■ ディスプレイアダプタがAMD(ATI)社製でOSがWindows Vistaの場合
CatalystTM Control Centerで、「GPUスケーリングを有効にする」のチェックを外してください。

CatalystTM Control Centerは、通常、デスクトップ画面で右クリックし、表示されるメニューから「CatalystTM Control Center」を選択すると、起動できます。初回起動時に「基本表示」か「詳細表示」の選択メニューが表示されます。

以下は、「詳細表示」を選択した例です。

「CatalystTM Control Center」起動後に「デジタルパネル(DVI)」から「属性」を選択することにより、本設定を変更できます。

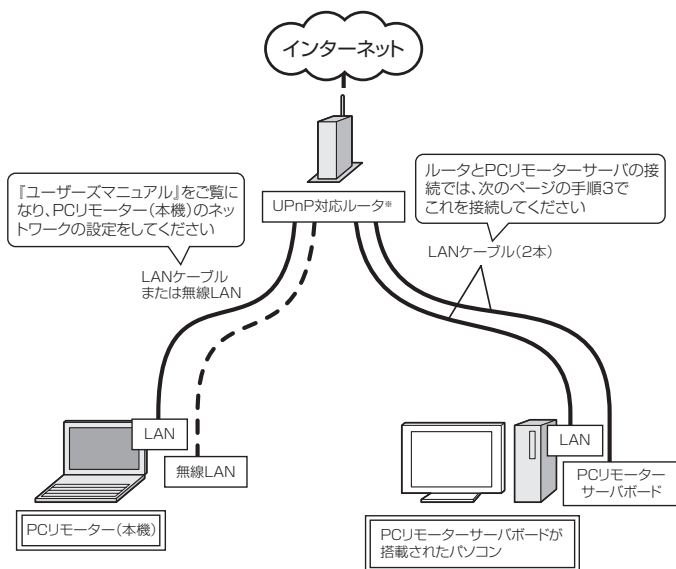
▲CatalystTM Control Centerの例(Windows Vistaの場合)

ホームネットワークの準備

ルータとPCリモーターサーバを接続する

PCリモーターサーバとルータは、LANケーブルで接続します。
LANケーブルは、2本用意してください。
ルータの設定に関する注意事項(p.15)もご覧ください。

ネットワーク接続図

本機とPCリモーターサーバは次のように接続します。
LANケーブルを接続したら、一度パソコンの電源を切り、入れなおしてください。

※:ルータに空ポートがない場合は、別途スイッチングハブを用意してください。

PCリモーターサーバのネットワーク設定を確認する

PCリモーターサーバでインターネットとメールが利用できることを確認してください。インターネットの接続設定については、ご契約の回線事業者/インターネットサービスプロバイダの情報にしたがって設定してください。

- ・PCリモーターサーバの電源コードをコンセントから抜いたり、つないだりする際、アース線がある場合は、お使いのPCリモーターサーバのマニュアルをご覧になり、正しい手順で操作してください。
- ・PCリモーターサーバとルータとが正しく接続され、下記の順番で電源を入れないと、正常に機能しません。

●PCリモーターサーバの準備

1 機器の初期化のために、一度PCリモーターサーバをシャットダウンする

2 PCリモーターサーバの電源コードを一度コンセントから抜く

3 ルータとPCリモーターサーバをLANケーブルで接続する

パソコンの本体のLANコネクタのほかにPCリモーターサーバボードのLANコネクタとルータのLANポートとをLANケーブルで接続します。

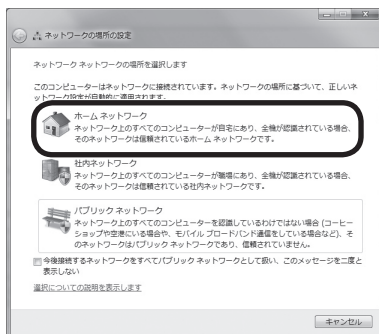
4 ルータの電源コードをコンセントにつなぐ

5 ルータの電源を入れる

6 ルータが起動しているのを確認して、PCリモーターサーバの電源コードをコンセントにつなぐ

7 PCリモーターサーバの電源を入れる

ルータを接続した後、はじめてPCリモーターサーバを起動すると、ネットワークの場所の設定画面が表示されます。

8 [ネットワークの場所の設定]画面が表示された場合、「ホームネットワーク」（Windows 7の場合）、「家庭」（Windows Vistaの場合）をクリックする

▲Windows 7 Professionalの場合

Windows 7の場合、「ホームグループの作成」に移行します。

自宅外からPCリモーターサーバに接続してご利用になる場合、PCリモーターサーバとルータに関する次の点もご確認ください。

- **PCリモーターサーバを接続するルータに、グローバルIPアドレスが割り振られている**

  グローバルIPアドレスが割り振られていないと、PCリモーターを宅外から接続することができません。プロバイダからグローバルIPアドレスが割り振られているか確認してください。

- **PCリモーターサーバを接続しているルータを2段以上つないで使用しない**

  ルータを2段以上つなぐと、PCリモーターサーバボードをつないでいるルータにグローバルIPアドレスが割り振られず、PCリモーターを宅外から接続できません。
  プロバイダなどからレンタルされているルータやマンションなどで管理されているルータがある場合も、新たに無線LANのルータを接続すると、２段つなぎになりますのでご注意ください。

- **PCリモーターサーバとルータの間は無線接続しない**

  PCリモーターサーバとルータの間はLANケーブルを使って接続してください。無線接続した場合、正常に機能しません。

- **PCリモーターサーバとルータの間に、極力ハブをつなげない**

  PCリモーターサーバとルータを直接つなぐことで、宅外からの接続性が改善する場合があります。

- **ほかのパソコンなどで同じメールアドレスのメールを同時に受信しない**

  PCリモーターは、接続開始時にPCリモーターサーバとメールのやりとりをおこないます。このメールがPCリモーターサーバでないほかの機器に取得されてしまうと、接続できなくなります。
  その場合は、接続時はほかの機器からのメール受信がおこなわれないようにするか、メールのコピーをサーバに残す設定をおこなってください。

- **接続時に送受信するメールが迷惑メールと見なされない設定にする**

  接続時に送受信するメールをインターネットプロバイダが、迷惑メールと見なしてフィルタしている場合、接続できなくなります。
  迷惑メールフィルタをご利用の場合、迷惑メールの例外設定で、メールヘッダーに次の文字を含むものを例外条件として設定してください。
  X-Mailer: SafeConnect

- **接続時に送受信するメールをメール転送する際、受信メールサーバから自動削除しない**

  接続時に送受信するメールを受信メールサーバなどでほかのメールアドレスへ自動転送する設定をおこなう際、転送されたメールを自動削除する設定にすると接続できません。転送後も受信メールサーバに残すように設定してください。

- **PCリモーターサーバが外部から起動可能な状態になっている**

  シャットダウン状態の場合、接続できません。パソコンが起動中、もしくはスリープ状態／休止状態になっていることを確認してください。

PCリモーターサーバソフトをインストールする

本機に添付されている統合インストールCDを使い、PCリモーターサーバにPCリモーターサーバのソフトをインストールしてください。

チェック

- 必ず管理者権限のあるユーザーでログオンしてからインストールしてください。
- 起動中のほかのアプリケーションは終了させてから、インストールしてください。
- ルータのDHCPサーバ機能を有効にしてください。
- ウイルス検出ソフトなどセキュリティソフトを使用していると、「インストールを許可しますか」「通信を許可しますか」などセキュリティの警告が出ることがあります。その場合、「許可する」「はい」などをクリックしてください。インストールを許可しない場合は、インストールはおこなわれません。
- ユーザー アカウント制御の確認で「このコンピューターへの変更を許可しますか？」「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」などと表示された場合、「はい」「続行」をクリックしてください。この確認画面が最小化されている場合は、タスクバーにある［ユーザー アカウント制御］画面のアイコンをクリックして表示させてください。

チェック

- 画面に「インストールしてください」「アップデートを実行してください」と表示された場合は、すべて適用してください。一部しか適用しない場合、動作に支障が生じることがあります。
- 統合インストールCDを使用して、バージョン「1.1.0.3」以前のPCリモーターサーバソフト、およびバージョン「1.1.0.21」以前のPCリモーターサーバボードからアップデートをおこなうと、PCリモーターサーバに関連する設定内容は削除されます。アップデートをおこなう前に、メールアドレスなどの必要な情報をメモしておき、すべてのアップデートを適用してください。

PCリモーターサーバソフトのインストール

パソコンへのインストール作業の流れは次のようになっています。
必要な作業は、お使いの環境によって異なります。必要な作業が画面に表示されるので、画面のメッセージにしたがって進んでください。

パソコンにPCリモーターサーバボードが取り付けられ、
パソコンと正しくケーブル接続されていることを確認する

▼

統合インストールCDをセットする

▼

.NET Frameworkがインストールされていない場合、
.NET Frameworkをインストールする(以下の手順3)

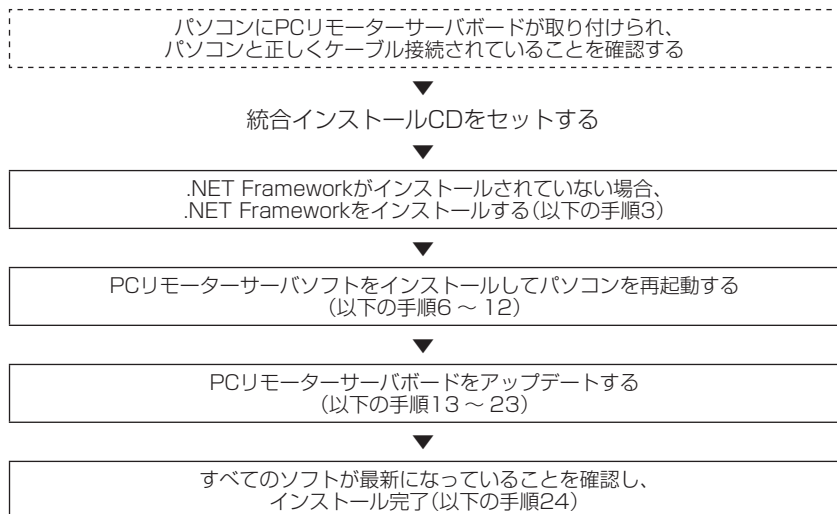
▼

PCリモーターサーバソフトをインストールしてパソコンを再起動する
(以下の手順6 ～ 12)

▼

PCリモーターサーバボードをアップデートする
(以下の手順13 ～ 23)

▼

すべてのソフトが最新になっていることを確認し、
インストール完了(以下の手順24)

パソコンに統合インストールCDをセットし、インストール／アップデートをおこなって、すべてのソフトが最新になっていることを確認して完了するまでの手順を示しています。表示される画面にあわせて必要な箇所をご覧ください。画面例は、Windows 7のものを使用しています。Windows Vista、Windows XPの場合も操作方法は同じです。

・ インストールする前に、PCリモーターサーバボードがパソコンに取り付けられ、パソコンと正しくケーブル接続されていることを確認してください。
・ PCリモーターサーバボードを取り付けた後、パソコンを起動し、「新しいハードウェアが見つかりました」と表示されたら、「キャンセル」をクリックしてください。PCリモーターサーバソフトをインストールすると、PCリモーターサーバボードのドライバがインストールされます。

1 本機に添付されている統合インストールCDをパソコンのDVD/CDドライブにセットする

自動再生の画面が表示されたら、プログラムのインストールを実行してください。

自動的にインストールが開始されない場合は次の方法でインストールしてください。

1.「スタート」-「コンピューター」をクリックする

2.統合インストールCDをセットしたDVD/CDドライブを開く

3.「Setup.exe」をダブルクリックする

これで、「PCリモーターサーバ統合インストーラ」が開始されます。

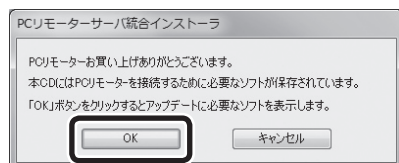
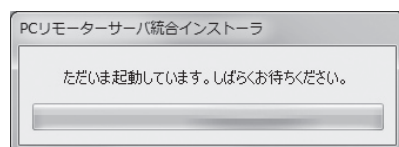
2 [ユーザー アカウント制御]画面が表示された場合、「はい」(Windows 7の場合)、「続行」(Windows Vistaの場合)をクリックする

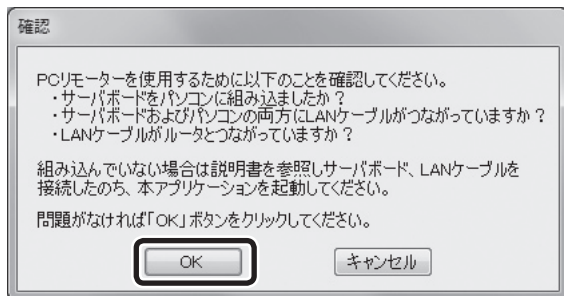
この画面が最小化されている場合は、タスクバーにある[ユーザー アカウント制御]画面のアイコンをクリックして表示させてください。

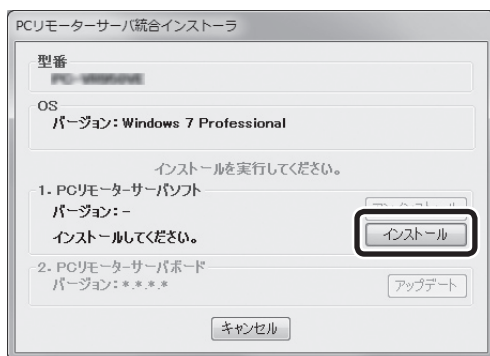
▲Windows 7 Professionalの場合

3 「本アプリケーションを使用するためには、.NET Frameworkが必要です。.NET Frameworkをインストールしてよろしいでしょうか?」と表示されたら「OK」をクリックして、.NET Frameworkをインストールする

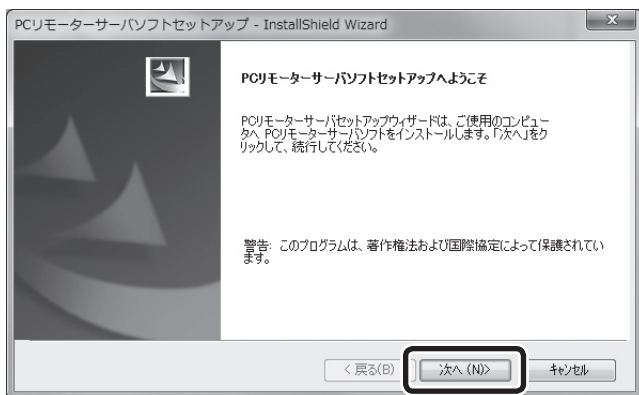
この画面が表示されない場合、手順4へ進んでください。

4 次の画面が表示されたら、「OK」をクリックする

次の画面が表示されるので、しばらくお待ちください。

5 次の画面が表示されたら、画面にしたがって確認をおこない、問題がなければ「OK」をクリックする

PCリモーターサーバボードが搭載されていない場合、「サーバボードがパソコンに組み込まれていません。」のエラーメッセージが表示されます。その場合、PCリモーターサーバにPCリモーターサーバボードを取り付けてから、インストールをはじめからやりなおしてください。

6 次の画面が表示されたら、「PCリモーターサーバソフト」の「インストール」をクリックする

すでに最新のPCリモーターサーバソフトがインストールされている場合、この画面は表示されません。手順14へ進んでください。

- インストールおよびアップデートはすべて適用してください。一部しか適用しない場合、動作に支障が生じることがあります。
- 古いバージョンのPCリモーターサーバソフトがインストールされていると、「アップデートするにはアンインストールしてください。」と表示されます。その場合は、「古いバージョンのPCリモーターサーバソフトのアンインストール」(p.28)をご覧になりアンインストールをしてください。

7 「セットアップの準備」と表示された後、[PCリモーターサーバソフト セットアップへようこそ]画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

以降、表示される画面については、デフォルトの設定のまま「次へ」をクリックし、インストールを進めてください。

8 ［プログラムフォルダ指定］画面が表示されたら、変更しないで「次へ」をクリックする

PCリモーターサーバソフトのインストール先は変更しないでください。

9 ［インストール確認］画面が表示されたら、「インストール」をクリックする

「PCリモーターサーバソフトをインストールしています。しばらくお待ちください」と画面に表示され、インストールがおこなわれます。そのまましばらくお待ちください。

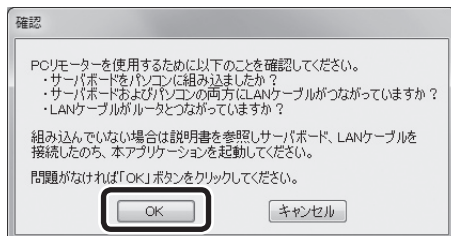
10 ［PCリモーターサーバソフトセットアップの完了］画面が表示されたら、「完了」をクリックする

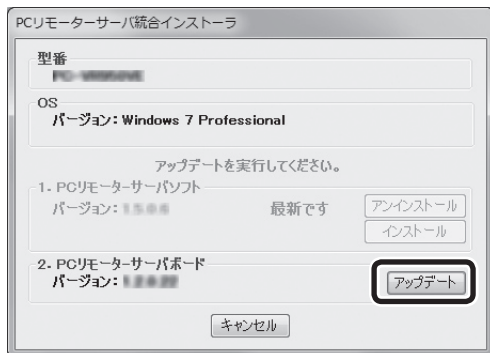
11 「PCリモーターサーバソフトの設定を有効にするため、本体を再起動します。」と表示されたら、「OK」をクリックする

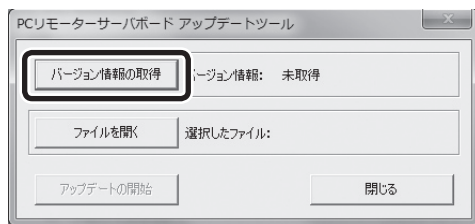
パソコンが再起動します。

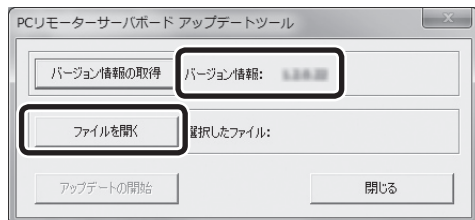
12 再起動後に[ユーザー アカウント制御]画面に「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？　プログラム名:PCリモーターサーバソフト 統合インストーラ」と表示された場合、「はい」(Windows 7の場合)、「続行」(Windows Vistaの場合)をクリックする

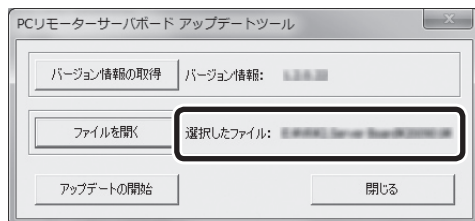
この画面が最小化されている場合は、タスクバーにある[ユーザー アカウント制御]画面のアイコンをクリックして表示させてください。

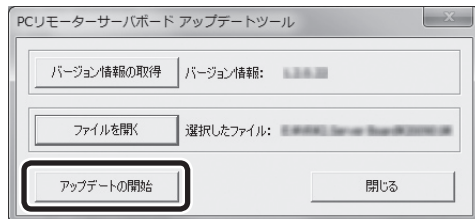
13 次の画面が表示されたら、画面にしたがって確認をおこない、問題がなければ「OK」をクリックする

14 次の画面が表示されたら、PCリモーターサーバボードの「アップデート」をクリックする

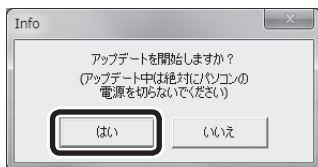
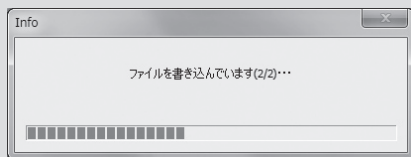
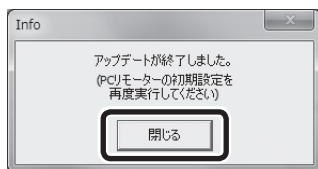
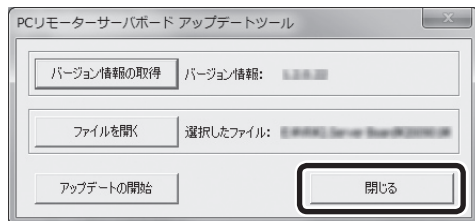
すでに最新のソフトがインストールされている場合、この画面は表示されません。手順24へ進んでください。

15 ［ユーザー アカウント制御］の画面が表示された場合、「はい」（Windows 7の場合）、「続行」（Windows Vistaの場合）をクリックする

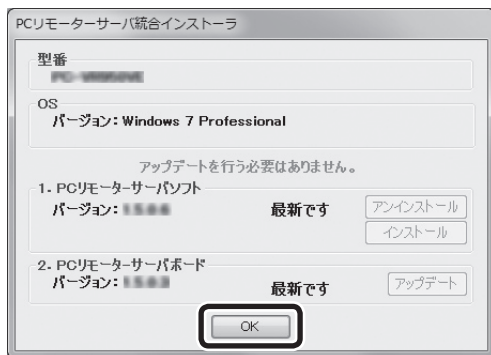
16 ［PCリモーターサーバボード アップデートツール］画面が表示されたら、「バージョン情報の取得」をクリックする

「PCリモーターサーバボードとの通信に失敗しました。」と表示された場合、ルータのDHCPサーバ機能が有効になっていることを確認し、パソコンをシャットダウンしてください。シャットダウン後にパソコンの電源コードを抜いて30秒間待ってから再度電源コードを差してパソコンを起動してください。

17 バージョン情報が表示されることを確認し、「ファイルを開く」をクリックする

18 表示された画面でファイルを選択し、「開く」をクリックする

19 「選択したファイル」に選択したファイル名が表示されていることを確認する

「選択したファイル」のファイル名の右端が隠れている場合、表示されているファイル名の部分をクリック後、【→】キーを押すと、スクロール表示できます。

20 「アップデートの開始」をクリックする

21 次の画面が表示されたら、「はい」をクリックする

アップデートが開始されます。

アップデート中は、プログレスバー（進み具合）が表示されます。この間、絶対にパソコンやルータの電源をオフにしないでください。また、ネットワークケーブルも絶対に外さないでください。

22 次の画面が表示されたら、「閉じる」をクリックする

23 次の画面が表示されたら、「閉じる」をクリックする

24 次の画面に、PCリモーターサーバソフトとPCリモーターサーバボードが「最新です」と表示されたら、「OK」をクリックする

必要なインストールをすべておこなうと次の画面が表示されます。

25 統合インストールCDをパソコンのDVD/CDドライブから取り出す

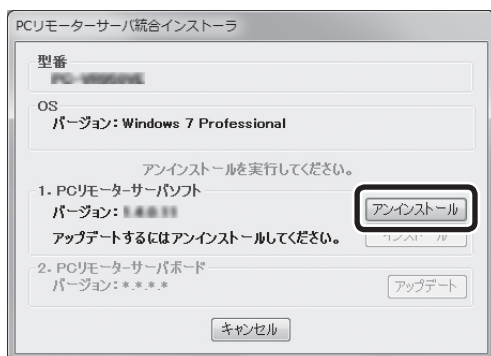
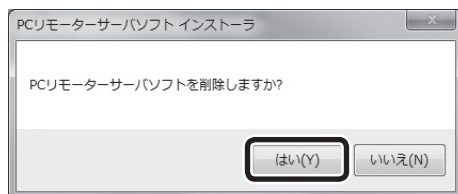
これでPCリモーターサーバソフトのインストールは完了です。
「PART2　初期設定」(p.31)へ進んでください。

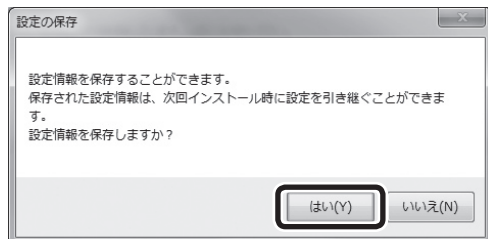
古いバージョンのPCリモーターサーバソフトのアンインストール

次の操作は、「PCリモーターサーバソフトのインストール」の手順6（p.19）で、「アップデートするにはアンインストールしてください。」と表示された場合におこなってください。

PCリモーターサーバソフトをインストールする前に、古いバージョンのアンインストールをおこないます。

1 次の画面が表示されたら、「アンインストール」をクリックする

この画面は「PCリモーターサーバソフトのインストール」の手順6（p.19）で、お使いのパソコンにインストール済みのPCリモーターサーバソフトが古い場合に表示されます。

2 「PCリモーターサーバソフトを削除しますか？」というメッセージが表示されたら、「はい」をクリックする

3 [設定の保存]画面が表示されたら、「はい」をクリックする

この画面は、PCリモーターサーバソフトのバージョンが1.2.*.*以降の場合に表示されます。設定を保存すると、すでに登録済みの設定情報を引き継ぐことができます。

4 PCリモーターサーバソフトを削除後、[セットアップウィザードの完了]画面が表示されたら、「完了」をクリックする

5 「PCリモーターサーバソフトの設定を有効にするため、本体を再起動します。」と表示されたら、「OK」をクリックする

パソコンが再起動されます。

再起動時に、「PCリモーターサーバソフトのアンインストール中にエラーが発生しました。既にアンインストールされている可能性があります。」と表示される場合がありますが、正常にアンインストールされていますので、問題ありません。

6 **再起動後に[ユーザー アカウント制御]画面に「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？　プログラム名:PCリモーターサーバソフト 統合インストーラ」と表示された場合、「はい」(Windows 7の場合)、「続行」(Windows Vistaの場合)をクリックする**

この画面が最小化されている場合は、タスクバーにある[ユーザー アカウント制御]画面のアイコンをクリックして表示させてください。

続いて、PCリモーターサーバソフトのインストールをおこないます。
「PCリモーターサーバソフトのインストール」の手順4(p.18)へ進んでください。

PART

2

初期設定

このPARTでは、PCリモーターの初期設定から宅内での接続ができるようになるまでを説明しています。

PCリモーターご利用までの流れ

PCリモーターを利用するには、次の順番で準備と設定をおこなう必要があります。
準備や設定が正しくおこなわれないと、PCリモーターが動作しないことがあります。

PCリモーター /PCリモーターサーバの初期設定

初期設定では、PCリモーターを使うための、「ホームネットワーク設定」、「セーフコネクト設定」をおこないます。

『ユーザーズマニュアル』のPART1の「インターネットに接続するには」をご覧になり、PCリモーター（本機）のネットワークの設定を済ませておいてください。

初期設定をおこなう前に、PART1の「PCリモーターサーバの準備」、「ホームネットワークの準備」、「PCリモーターサーバソフトをインストールする」を済ませておいてください。

初期設定はPCリモーターサーバ（以下このPARTでは「サーバPC」と表記する場合もあります。）の近くでおこなってください。また初期設定をおこなうには、メールアドレスおよびネットワーク環境が必要です。本機とサーバPCを同じルータにつないでください。

PCリモーターの初期設定は本機とサーバPCのそれぞれで以下の順番に交互におこないます。

初期設定は、データ通信カードを取り外した状態でおこなってください。

なお、初期設定後にも、設定内容を変更したり、サーバを追加したりできます。
また、初期設定をおこなった後、再度、手動で初期設定を起動してやりなおすことも可能です。

参照

・このPARTで設定した内容の変更や、PCリモーターサーバを追加する場合→「PART8　設定する」（p.135）

・再度、初期設定をする場合→PART8の「「PCリモーター初期設定」をやりなおす」（p.152）

※ 初期設定を始める前に、パソコンで次のホームページをご覧になり、PCリモーターソフトのアップデートがないか確認してください。
http://121ware.com/lui/
お使いのPCリモーターソフトのバージョンは次の手順で確認できます。
・初期設定前は、次の「PCリモーターソフトを起動する」の手順1
・初期設定後は、PCリモーターソフトのホームメニュー（p.56）で「設定」-「メンテナンス」-「バージョン情報」をクリック

PCリモーターソフトを起動する

・ PCリモーターソフトを起動して初期設定をおこなう前に、本機のネットワークの設定、およびPART1の「PCリモーターサーバの準備」、「ホームネットワークの準備」、「PCリモーターサーバソフトをインストールする」が済んでいることを確認してください。
・ 本機にACアダプタが接続されていることを確認してください。

ACアダプタの接続について→『セットアップマニュアル』

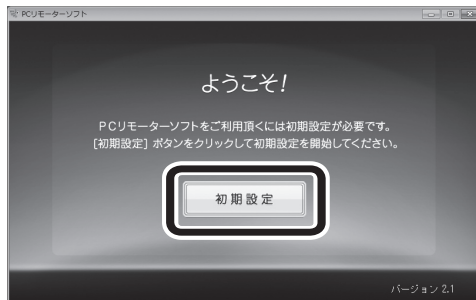
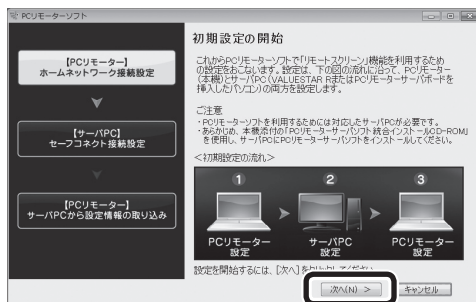
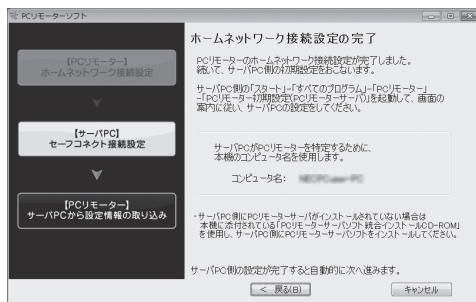
1 本機のデスクトップにある(PCリモーターソフト)アイコンをダブルクリック、または「スタート」-「すべてのプログラム」-「PCリモーターソフト」-「PCリモーターソフト」をクリックする

次の画面が表示されます。

PCリモーターソフトのバージョン

ホームネットワーク接続設定(本機)

まずは本機でホームネットワーク接続設定をおこないます。
有線LANで接続するときは、LANケーブルで本機とルータを接続しておいてください。

1 「初期設定」をクリックする

2 「次へ」をクリックする

ホームネットワーク接続が完了すると、[ホームネットワーク接続設定の完了]画面に、あらかじめ本機に設定されているコンピュータ名が表示されます。
PCリモーターはそのままにして、「セーフコネクト接続設定(サーバPC側)」(p.36)へ進み、サーバとなるPC側の設定をおこないます。

セーフコネクト接続設定(サーバPC側)

セーフコネクトは、宅外からホームネットワークにアクセスするためのソフトウェアです。

宅内に設置したPCリモーターサーバと本機との間に安全なネットワークを開設することで、ホームネットワークにアクセスできます。

詳しくは、PART3の「PCリモーターへ画面や音声が転送される仕組み」(p.60)をご覧ください。

- 必ず管理者権限のあるユーザーでログオンしてから初期設定をおこなってください。
- Windowsのパスワードが設定されていないと、リモートスクリーン、リモートデスクトップおよび共有フォルダ機能をご利用になれません。そのためPCリモーターをご利用になるには、管理者権限のあるWindowsアカウントでWindowsのパスワードを設定してください。
- 初期設定に失敗する場合は、このPARTの「セキュリティソフトの設定」(p.48)を参照し、ファイアウォールの設定をしてください。

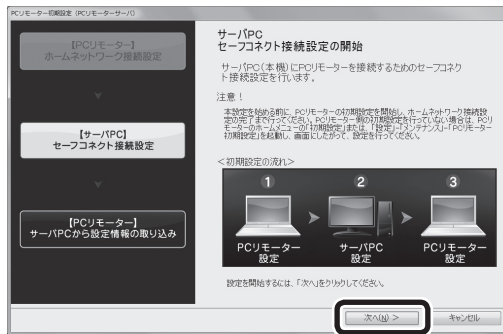
1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「PCリモーター」-「PCリモーター初期設定(PCリモーターサーバ)」をクリックする**

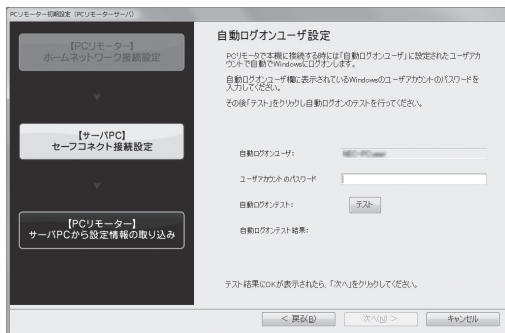
[ユーザー アカウント制御]画面が表示された場合は、「はい」(Windows 7の場合)、「続行」(Windows Vistaの場合)を選択してください。

メモ

・ PCリモーターサーバの解像度設定が、横:1024または縦:768より小さい場合、PCリモーターサーバ初期設定は、起動できません。初期設定をおこなうときは、解像度を横:1024、縦:768より大きく設定してください。

なお、1024×768の解像度にしても、DPIの設定が大きい場合、起動できないことがあります。そのときは、DPI設定の「カスタム　テキストサイズの設定(DPI)」で文字サイズを100%に設定するか、または、「Windows XP形式のDPIスケーリングを使用する」を☑にしてください。DPIの設定は、画面上で右クリックし、「画面の解像度」-「テキストや その他の項目の大きさの変更」をクリックして表示される画面で変更できます。

2 [サーバPC セーフコネクト接続設定の開始]画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

3 [自動ログオンユーザ設定]画面が表示されたら、Windowsにログオンするユーザアカウントを確認し、ユーザアカウントのパスワードを入力する

・ Windowsのパスワードを設定していない場合は、先に進めません。Windowsのパスワードを設定すると、パソコンの電源を入れたり、省電力状態から復帰したりするときに入力が求められるので、不正アクセスの被害防止や情報保護などセキュリティ対策になります。Windowsのパスワードを設定するには、添付の『セットアップマニュアル』の「パソコンを守るために」をご覧ください。
・ マルチユーザに対応していません。「自動ログオンユーザ」に設定できるのは、PCリモーターサーバ1台につき、管理者権限のあるユーザーアカウント1つになります。

初期設定完了後、ユーザアカウントのパスワードを変更した場合は、PART8の「サーバの追加/変更をおこなう」(p.145)をご覧になり、サーバの追加/変更をおこなってください。

4 「テスト」をクリックする

自動ログオンテスト結果に「OK」が表示されていることを確認してください。
「OK」が表示されないと次へ進めません。

メモ

PCリモーターをご利用の場合は、あらかじめ設定したユーザーアカウントでのみご利用できます。

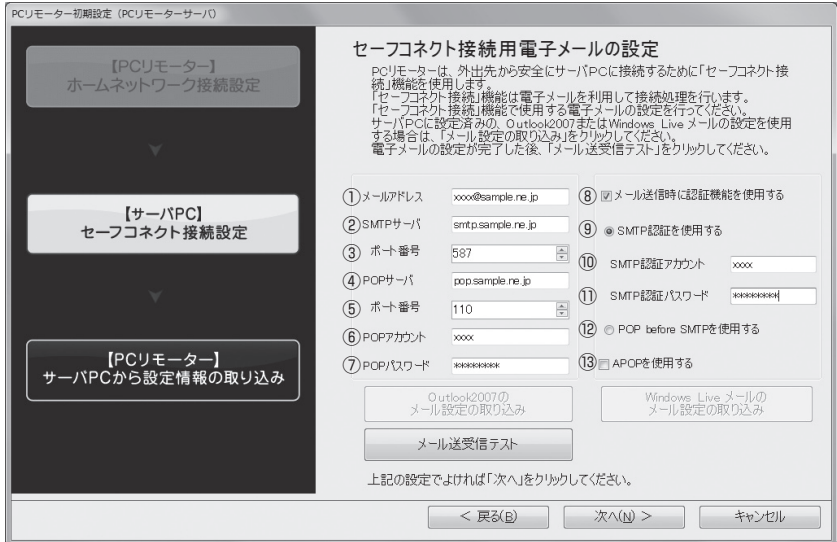
5 [自動ログオンユーザ設定]画面で、「次へ」をクリックする

6 [セーフコネクト接続用電子メールの設定]画面が表示されたら、電子メールの設定をおこなう

PCリモーターサーバに接続するためのIPアドレスの通知にメールを使用するため、メール設定をおこないます。
41ページの表を参考に必要な項目を入力してください。
または、次のボタンをクリックすると、すでに使用しているメールアドレスの設定を取り込むことができるので、設定が簡単にできます。

- 「Outlook2007のメール設定の取り込み」ボタン
  Outlook2007のメール設定が取り込まれます。
- 「Windows Live メールのメール設定の取り込み」ボタン
  Windows 7の場合に表示されます。Windows Live メールのメール設定が取り込まれます。
- 「Windowsメールのメール設定の取り込み」ボタン
  Windows Vistaの場合に表示されます。Windowsメールのメール設定が取り込まれます。
- 「Outlook Expressのメール設定の取り込み」ボタン
  Windows XPの場合に表示されます。Outlook Expressのメール設定が取り込まれます。

チェック

- 電子メールアカウントは、使用する受信メールサーバが「POP3」のものを使用してください。
- メールソフトにHotmail、Live Mailなど受信メールサーバが「POP3」以外のメールアカウントを設定している場合にメール設定の取り込みをおこなうと、正常に取り込まれないことがあります。その場合は、受信メールサーバが「POP3」であるメールアカウントの設定情報を手動で入力してください。
- POPパスワードとSMTP認証パスワードは取り込めませんので、それぞれ入力してください。
- SSL接続(POP over SSL、SMTP over SSL)は未対応です。

▲SMTP認証を使用する設定の一例（Windows 7 Professionalの場合）

宅外から接続するために、初期設定値ではSMTPサーバの「ポート番号」が587、POPサーバの「ポート番号」が110、「メール送信時に認証機能を使用する」と「SMTP認証を使用する」にチェックが入っています。
この値を変更してしまうとプロバイダの迷惑メール対策（OP25B）によって宅外から接続できなくなる場合があります。
SMTP認証をおこなうことを強く推奨します。
迷惑メール対策（OP25B）の有無など詳細については、プロバイダにご確認ください。

メール設定の情報について詳しくは、プロバイダのホームページやプロバイダから送られてきた書類などを参照してください。

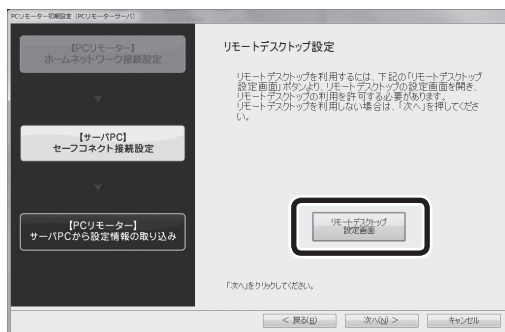
①	メールアドレス	Webメール、フリーメール、広告が挿入されるメールなどは使用できません。
②	SMTPサーバ	プロバイダによっては「送信メールサーバ」や「メールサーバ」などと記載されている場合があります。
③	ポート番号	PCリモーターを宅外から接続するためには、SMTP認証を使用する設定に合わせたポート番号を設定する必要があります（通常は587です）。25番ポート設定の場合、プロバイダの迷惑メール対策（OP25B）により宅外から利用できない場合があります。
④	POPサーバ	プロバイダによっては「受信メールサーバ」や「メールサーバ」などと記載されている場合があります。
⑤	ポート番号	POPサーバのポート番号を入力してください（通常は110です）。
⑥	POPアカウント	プロバイダによっては「アカウント名」、「受信メールサーバアカウント」、「ユーザー名」、「メールアカウント」などと記載されている場合があります。
⑦	POPパスワード	プロバイダによっては「パスワード」、「受信メールサーバパスワード」、「メールパスワード」などと記載されている場合があります。
⑧	メール送信時に認証機能を使用する	宅外から利用する場合はチェックを入れてください。認証機能を使用しないと、プロバイダの迷惑メール対策（OP25B）により、宅外から利用できない場合があります。
⑨	SMTP認証を使用する	認証方式のひとつです。宅外から利用する場合はこちらを選択することをおすすめします。
⑩	SMTP認証アカウント	プロバイダによっては「アカウント名」、「ユーザー名」、「メールアカウント」などと記載されている場合があります（プロバイダによってはPOPアカウントと同じ場合があります）。
⑪	SMTP認証パスワード	プロバイダによっては「パスワード」、「メールパスワード」などと記載されている場合があります（プロバイダによってはPOPパスワードと同じ場合があります）。
⑫	POP before SMTPを使用する	認証方式のひとつです。こちらを利用しても宅外から利用できない場合があります。宅外からご利用の場合はSMTP認証を使用してください。SMTP認証を使用する場合は使用できません。
⑬	APOPを使用する	プロバイダのPOPサーバがAPOPに対応している場合のみ使用可能です。

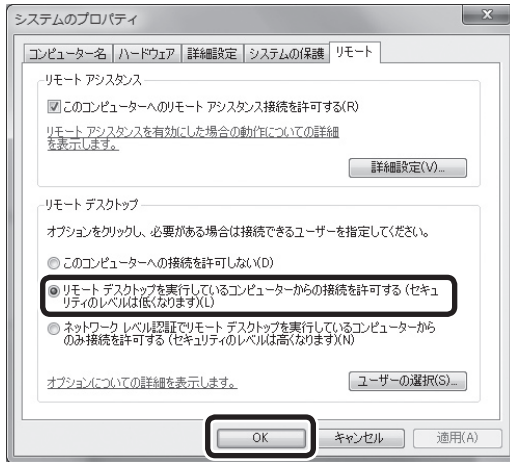
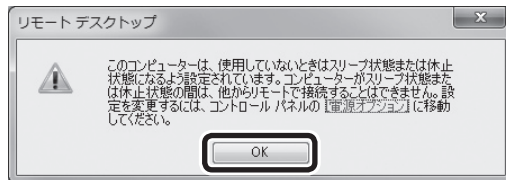
広告などが自動挿入されるようなメールサービスは使用しないでください。Webメールやフリーメールなどは、広告などが自動挿入されてメール件名や本文が書き替わってしまうため使用できません。メールの件名や本文が書き替わらないメールサービスをお使いください。

7 「メール送受信テスト」をクリックし、テスト結果を確認し、「次へ」をクリックする

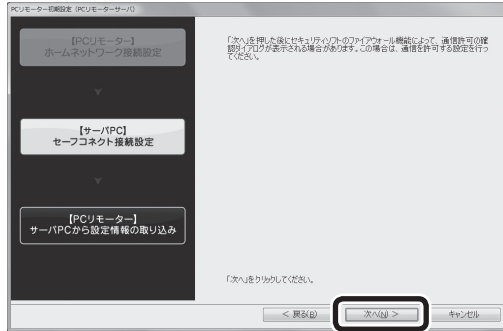
8 [リモートデスクトップ設定]画面が表示されたら、「リモートデスクトップ設定画面」をクリックする

お使いのOSが次の場合に表示されます。表示されない場合は、手順11へ進んでください。

- Windows 7 Ultimate
- Windows 7 Professional
- Windows Vista Ultimate
- Windows Vista Business
- Windows XP Professional

9 ［システムのプロパティ］画面が表示されたら、リモートデスクトップの許可の設定と、許可ユーザーの登録をおこない、「OK」をクリックする

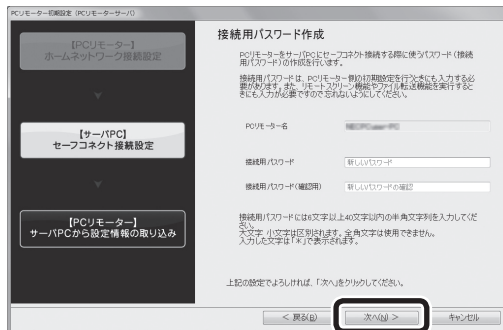
「リモート」タブの「リモートデスクトップ」で「リモートデスクトップを実行しているコンピューターからの接続を許可する」を選択し、必要がある場合はユーザーを指定してください。

次の画面が表示される場合がありますが、PCリモーターからスリープまたは休止状態のPCリモーターサーバに接続すると、スリープや休止状態が解除され、PCリモーターサーバが起動するので、設定を変更する必要はありません。「OK」をクリックしてください。

10 ［リモートデスクトップ設定］画面で「次へ」をクリックする

11 セキュリティソフトのファイアウォール機能で通信許可の確認が表示された場合は、通信を許可し、「次へ」をクリックする

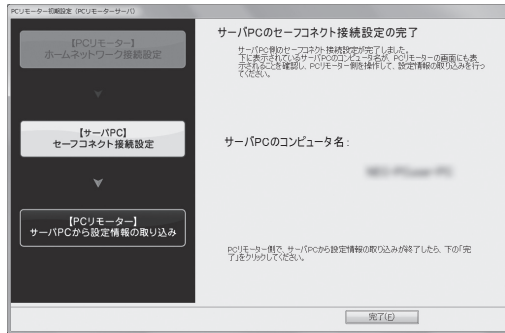
ファイアウォールの設定変更のしかたについては、このPARTの「セキュリティソフトの設定」(p.48)をご覧ください。

「現在通信可能なPCリモーターが見つかりません。」と表示された場合は、画面の確認事項をお読みになり、接続や設定を確認してください。

12 本機とサーバPCを接続するための接続用パスワードを設定し、「次へ」をクリックする

ここで設定した接続用パスワードは、リモートスクリーン接続およびリモートデスクトップ接続時に必要になるので、メモを取っておいてください。

接続用パスワードには6文字以上40文字以内の半角文字列を入力します。全角文字は使用できません。入力された文字は「＊」で隠されて表示されます。

サーバPCと本機の間で自動で通信が開始されます。

「同期通信中」の表示のまま先に進まない場合は、PCリモーターの表示を確認し、操作してください。
設定が終わると、完了の画面が表示されます。

13 [サーバPCのセーフコネクト接続設定の完了]画面が表示されたら、コンピュータ名がPCリモーターの画面にも表示されていることを確認する

まだ「完了」はクリックしないで、サーバPCの画面はそのままにして、「サーバPCからの設定情報の取り込み（本機）」(p.46)に進み、PCリモーターの初期設定の続きをおこないます。

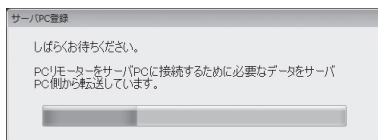
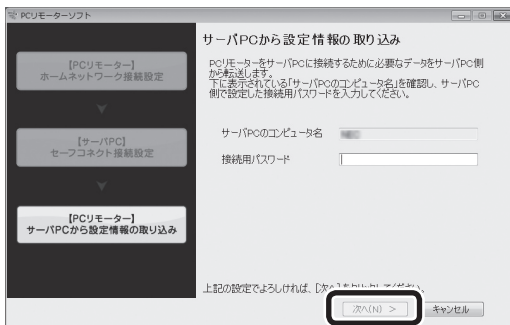
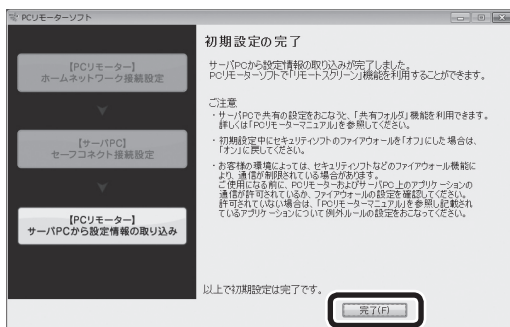
チェック

PCリモーター側で、サーバPCからの設定情報の取り込み終了(p.46)後に「完了」をクリックしてください。

PART 2 初期設定

サーバPCからの設定情報の取り込み（本機）

サーバPC側でセーフコネクト接続の設定が終わると、本機に自動的に手順1の画面が表示されます。

1 サーバPCのコンピュータ名に、サーバPCの名前が表示されていることを確認し、「セーフコネクト接続設定（サーバPC側）」の手順12（p.44）で設定した接続用パスワードを入力して、「次へ」をクリックする

2 ［初期設定の完了］画面が表示されたら、画面の内容を確認し、「完了」をクリックする

この後、サーバPC側で、［サーバPCのセーフコネクト接続設定の完了］画面の「完了」（p.45）をクリックしてください。

・セーフコネクトは、ユーザーごとの登録ではなく、PCリモーターサーバ（サーバPC）／ PCリモーターの組み合わせごとに登録をおこないます。そのため同一ユーザー名であっても、異なるPCリモーターを使用する場合は使用するPCリモーターごとに初期設定を実施する必要があります。
・１台のPCリモーターサーバへ同時に2台以上のPCリモーターを接続することはできません。
また、PCリモーターサーバが他のパソコンからセーフコネクト機能を使って接続されている間は、PCリモーターからPCリモーターサーバに宅外から接続することができません。
・PCリモーターに登録が可能なPCリモーターサーバは最大8台です。
・PCリモーターサーバに登録が可能なPCリモーターは最大8台です。

これで、初期設定は完了です。

初期設定のやりなおしや変更、PCリモーターサーバの削除について

次のような場合は、初期設定のやりなおしや、サーバの追加/変更が必要です。

・初期設定後、次のいずれかに該当した場合、PART8の「「PCリモーター初期設定」をやりなおす」（p.152）をご覧になり、初期設定をやりなおしてください。
- PCリモーターのコンピュータ名を変更した
- 接続用パスワードを忘れた

・初期設定後に、PCリモーターサーバのコンピュータ名、ユーザアカウント、ユーザアカウントのパスワードのいずれかを変更した場合、サーバの追加/変更をおこなう必要があります。その場合、PCリモーター（本機）のホームメニューで「設定」-「PCリモーター登録設定」-「サーバ設定」-「PCリモーターサーバの追加/変更」でおこないます。詳しくは、PART8の「サーバの追加/変更をおこなう」（p.145）をご覧ください。

・初期設定後、不要になったPCリモーターサーバを削除することができます。その場合、PCリモーター（本機）のホームメニューで「設定」-「PCリモーター登録設定」-「サーバ設定」で表示される画面で削除したいPCリモーターサーバを選択し、「PCリモーターサーバの削除」をクリックしてください。

セキュリティソフトの設定

ファイアウォールについて

PCリモーターを外出先から使うとき、インターネットを介して自宅のPCリモーターサーバに接続します。そのため、ほかの不正なアクセスは防ぎながら、PCリモーターから自宅のPCリモーターサーバには接続できるセキュリティの設定が必要になります。

外部(インターネット)からの不正侵入を防ぎ、情報の流出を防ぐ機能を「ファイアウォール」といいます。「ファイアウォール」は、Windowsやセキュリティソフトに搭載されています(ウイルス対策ソフトなど、ファイアウォール機能を搭載していないものもあります)。

Windowsファイアウォール以外のセキュリティソフトをお使いの場合は、次の「ファイルアクセス許可の設定」をご覧になり、設定をおこなってください。
Windowsファイアウォールをお使いの場合は、「ファイルアクセス許可の設定」が自動的におこなわれるため、設定する必要はありません。

ファイアウォールのソフトを2つ以上同時に使うと干渉し合ってうまく働かないことがあります。パソコンにWindowsファイアウォールとその他のファイアウォールのソフトがインストールされている場合も、どちらかを選んで使用してください。

ファイルアクセス許可の設定

ご使用になる前に、次のファイルアクセスを許可してください。

■PCリモーターサーバ

C:¥Program Files¥NEC¥PC-Remoterフォルダ内

・ pcrservice.exe
・ pcrftservice.exe
・ pcrsvset.exe
・ pcrsvmgr.exe
・ RRS.exe
・ WupService.exe
・ pcrsubproc.exe
・ pcrsvinitset.exe

C:¥Program Files¥NEC¥SafeConnect¥binフォルダ内

・ ScSvGUI.exe
・ scsvfrm.exe
・ scsvinit.exe
・ scsvmailer.exe
・ screlayd.exe
・ scsvsetm.exe
・ scsvlog.exe

■PCリモーター(本機)

C:¥Program Files¥NEC¥PC-RemoterClietフォルダ内

・ RPCMain.exe

C:¥Program Files¥NEC¥SafeConnect¥binフォルダ内

・ ipresolve_cl.exe
・ ScClGUI.exe
・ scconct_mng.exe
・ scfrm.exe
・ scinit.exe
・ scip_mng.exe
・ sclog.exe
・ scmailer.exe
・ scsetm.exe

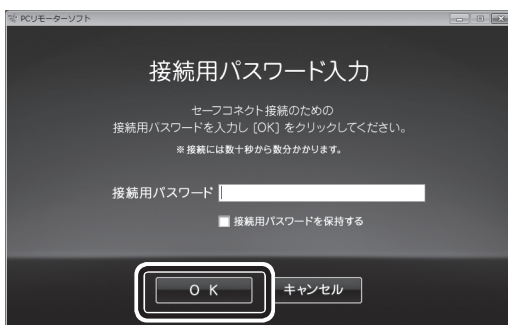
設定方法については、セキュリティソフトのマニュアルなどを参照してください。

宅内で接続の確認をする

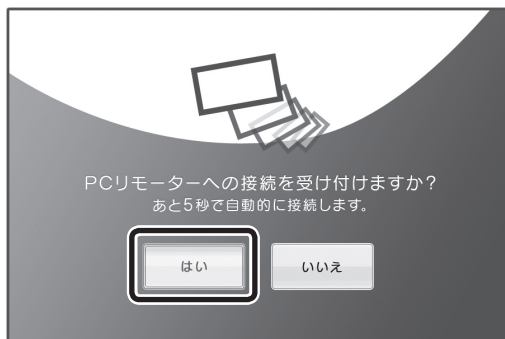
「PCリモーター初期設定」が完了した後、宅内で接続を確認するには次の手順でおこないます。

1 ホームメニューで「リモートスクリーン接続」をクリックする

2 セーフコネクト接続の［接続用パスワード入力］画面が表示されたら、接続用パスワードを入力し、「OK」をクリックする

「セーフコネクト接続設定（サーバPC側）」の手順12（p.44）で設定した「接続用パスワード」を入力してください。

3 PCリモーターサーバ側で「PCリモーターへの接続を受け付けますか？あと○秒で自動的に接続します。」と表示された場合は、「はい」をクリックする

「はい」をクリックしなくても、しばらくすると自動で接続されます。この画面が表示されないように設定することもできます。PART8の「設定を変更する」-「PCリモーターサーバの設定を変更する」-「■リモートスクリーン設定」-「接続許可確認」(p.143)をご覧ください。

接続するとPCリモーターサーバ側の画面が消えて、本機に画面が表示されます。

[PCリモーターへの接続を受け付けますか？]画面に「あと○秒で自動的に接続します。」と表示されていない場合は、カウントダウン停止中です。カウントダウン中(7秒)に、PCリモーターサーバ側でキーボードまたはマウス操作をおこなうと、カウントダウンが停止されます。停止が5秒間続いた後、カウントダウンを7秒前から再開します。

PCリモーターサーバがロック画面、スリープ画面、休止画面などのときは、本画面は表示されません。

PCリモーターサーバのケーブルが正しく接続されていないと、この画面が表示されないことがあります。その場合、PART1の「PCリモーターサーバの準備」-「PCリモーターサーバの設定前の確認をする」(p.8)をご覧になり、ケーブルの接続を確認してください。

4 リモートスクリーンを使う

リモートスクリーン画面や使い方について→「PART4 リモートスクリーンを使う」(p.61)

5 リモートスクリーンを終了する

接続が確認できたら、ツールバーの「×」をクリックするとリモートスクリーンが終了します。

データ通信カードなどを使用して接続する場合、データ通信カードなどでインターネットに接続した後にPCリモーターソフトを起動して接続をおこなってください。詳しくは、PART3の「Step1 PCリモーターをインターネットに接続する」(p.55)をご覧ください。

これで、宅内でPCリモートスクリーン接続ができることを確認できました。
「PART3　PCリモーターの基本的な使い方」(次ページ)へ進んでください。

PART

3

PCリモーターの基本的な使い方

このPARTでは、PCリモーターを使うときの基本となる「ホームメニュー」についての説明と、PCリモーターの特性、使い方を説明しています。

準　備 ▶ 初期設定 ▶ 利　用

PCリモーターを使う手順

PCリモーターを使う手順について、次の３つのStepで説明しています。

Step 1

PCリモーターをインターネットに接続する

リモートスクリーンを快適にお使いいただくためには、
なるべく速い回線を使うことを推奨します。

Step 2

PCリモーターソフトを起動する

Step 3

必要に応じて各機能を選んで使う

Step1 PCリモーターをインターネットに接続する

公衆無線LANや通信カードなどを利用して本機をインターネットに接続してください。

PCリモーターはネットワーク経由で画面を転送し、遠隔操作を実現しています。そのため、利用時には、インターネットへの接続が必要になります。
なお、ネットワーク回線が遅いと、操作性が悪くなる場合があります。

外出先などでは高品位の通信環境を確保することが難しく、状況によっては表示画質や操作性が損なわれることがあります。

PCリモーターの表示画質や操作性が悪くなるのは次のようなケースです。

〈無線LANやデータ通信カードを使っているとき〉

- 無線の電波が弱いときや電波が届かないとき。あるいは、たくさんの電波が飛んで混雑しているとき。
- 少ない通信回線にたくさんの無線機器が同時に接続しているとき。
- 通信速度が遅い回線や、通信に遅延のある回線に接続しているとき。

〈データ通信カードを利用しているとき〉

- 新幹線など、高速で移動しているとき。

データ通信カードによっては、大量のデータ通信や長時間接続に対する制約により表示画質や操作性が悪くなることがあります。その場合は、公衆無線LANなどほかの手段でインターネット接続するか、時間をおいて接続しなおしてください。詳しくは、通信サービス提供会社などのホームページをご覧ください。
表示画質や操作性が悪くなったときの対処方法については、PART4の「通信状況に応じた対処方法」（p.70）をご覧ください。

Step2 PCリモーターソフトを起動する

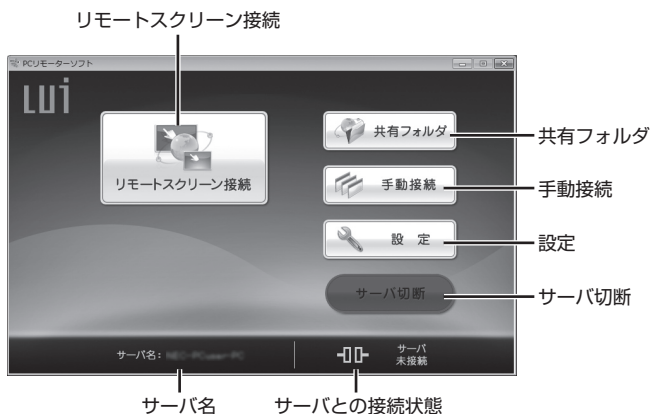
本機のデスクトップにある（PCリモーターソフト）アイコンをダブルクリック、または「スタート」-「すべてのプログラム」-「PCリモーターソフト」-「PCリモーターソフト」をクリックして、PCリモーターソフトを起動します。

ホームメニューとは

PCリモーターソフトを起動すると、ホームメニューが表示されます。PCリモーターサーバに接続しリモート操作する「リモートスクリーン接続」や「リモートデスクトップ接続」、PCリモーターサーバとファイルのやりとりをする「共有フォルダ」など、PCリモーターでおこなえるすべての機能は、ホームメニューから起動します。

ホームメニューのボタンにマウスカーソルを置くと、バルーンヘルプ（簡単な説明）が表示されます。

初期設定が済んでいない場合には「初期設定」ボタンが表示されます。まずは初期設定をおこなってください。初期設定については、「PART2 初期設定」（p.31）をご覧ください。

ホームメニューの画面

「設定」-「リモートデスクトップ設定」で「使用する」をオンにしている場合、ホームメニューに「リモートデスクトップ接続」が表示されます。

リモートデスクトップ接続

リモートスクリーン接続	PCリモーターサーバとリモートスクリーン接続し、リモート操作します。 **参照** リモートスクリーンについて→このPARTの「PCリモーターへ画面や音声が転送される仕組み」(p.60)、「PART4 リモートスクリーンを使う」(p.61)
リモートデスクトップ接続	「リモートデスクトップ接続」は、「設定」-「リモートデスクトップ設定」で「使用する」をオンにしている場合に表示されます。PCリモーターサーバにリモートデスクトップ接続し、リモート操作します。 **参照** リモートデスクトップについて→「PART5 リモートデスクトップを使う」(p.91)
共有フォルダ	PCリモーターサーバと接続し、共有フォルダ内のファイルのやりとりをおこないます。 **参照** 共有フォルダについて→「PART6 共有フォルダを使う」(p.105)
手動接続	PCリモーターサーバや、「リモートスクリーン」または「リモートデスクトップ」などを手動で選択して接続します。 **参照** 手動接続について→「PART7 手動接続を使う」(p.129)

設定	PCリモーターソフトの設定をします。 一部の項目は、サーバ接続中に設定できません。その場合は、いったんサーバを切断してください。 参照 設定について→PART8の「設定を変更する」(p.136)
サーバ切断	PCリモーターサーバとの通信を切断します。
サーバ名	自動的に接続するPCリモーターサーバ名および接続中のPCリモーターサーバ名を表示します。 メモ 「設定」-「PCリモーター登録設定」-「自動接続」をクリックして表示される画面で、「自動接続時の接続先」を「自動接続するサーバを選択しない」にした場合、サーバ名は空欄になります。PCリモーターサーバに接続すると、接続中のPCリモーターサーバ名が表示されます。
サーバとの接続状態	PCリモーターサーバとの接続状態を表示します。 サーバ接続中 サーバ未接続
(最小化ボタン)	画面を最小化します。
(×ボタン)	PCリモーターソフトを終了します。

Step3 必要に応じて各機能を選ぶ

ご利用目的や回線速度に応じて使い分けてください。

操作性が悪い場合

リモートスクリーンの設定を調整する
※通信回線の状況に応じた対処方法について(p.70)

※1：ネットワークの環境によって操作反応の遅延が起きます。ゲームなど操作に即応性を求められるアプリケーションのご利用には向かない場合もあります。

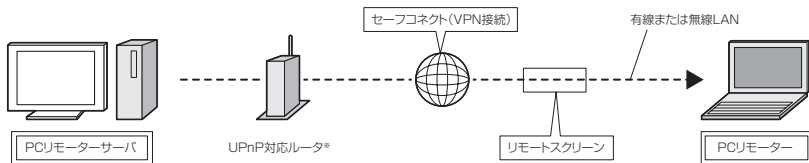
参照

より細かい設定方法について→付録の「PCリモーター接続設定ナビ」(p.170)

PCリモーターへ画面や音声が転送される仕組み

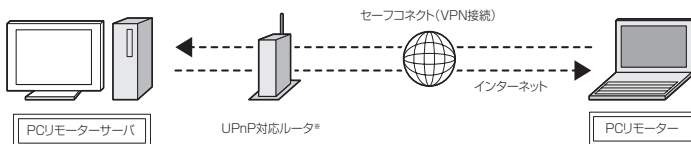
ここでは、PCリモーターサーバからPCリモーターに画面や音声が転送される仕組みについて説明します。

●リモートスクリーンについて

「リモートスクリーン」は、PCリモーターからPCリモーターサーバをネットワーク経由で操作するためのNEC独自の機能です。
PCリモーターのディスプレイには、ネットワークを経由して自宅のPCリモーターサーバの画面が表示されます。また、PCリモーターサーバにある音楽ファイルを再生すると、PCリモーターから音声が出力されます。

まず、PCリモーターサーバの画面情報や音声情報は、ネットワーク転送に適した形に圧縮されます。
その後、ネットワークを経由してPCリモーターへ送られます。
この圧縮と転送の作業を担うのは、PCリモーターサーバボードに搭載されたNEC独自のデータ圧縮LSI(リモートスクリーン･エンジン)です。

リモートスクリーン･エンジンは、ネットワークの速度や表示する画質の設定に合わせて、画面情報や音声情報の圧縮率および送信フレーム数(一定時間あたりの映像のコマ数)を変化させ、PCリモーターへのデータ転送をおこないます。

●セーフコネクトについて

「セーフコネクト」は、外出先からインターネットを経由して手軽に安全にPCリモーターサーバに接続するための、NEC独自のVPN(仮想プライベートネットワーク)技術です。

※:PCリモーターサーバ側のルータにグローバルIPアドレスが割り振られている必要があります。

PCリモーターのホームメニューで接続ボタンをクリックし、パスワードを入力するだけで、PCリモーターサーバとの安全な接続を実現します。

PART

4

リモートスクリーンを使う

このPARTでは、リモートスクリーン方式でPCリモーターサーバに接続する方法について説明しています。

リモートスクリーンを使う

リモートスクリーンは、PCリモーターサーバのデスクトップ環境を本機で遠隔操作する機能です。リモートスクリーン接続で1台のPCリモーターサーバに対して同時に利用可能なPCリモーターは1台です。また、PCリモーターサーバに他のパソコンからセーフコネクト機能を使って接続されている間は、PCリモーターからPCリモーターサーバに宅外から接続することができません。

セーフコネクトについて→PART3の「PCリモーターへ画面や音声が転送される仕組み」(p.60)

- 以下の手順をおこなう前に、インターネットに接続できる状態になっているか確認してください。
- 複数のネットワークアダプタが接続状態(IPアドレスが割り当てられている)である場合、使用しないネットワークアダプタをネットワークから切断してください。

  例) 有線LANで使用する場合

  - 外付けされているネットワークアダプタをパソコン(本機)から取り外す
  - 無線LANの電源をオフにする

PCリモーターサーバの電源について

PCリモーターからリモートスクリーン接続するとき、PCリモーターサーバがスリープまたは休止状態だった場合は、PCリモーターサーバは自動的に起動します。

PCリモーターサーバへの接続

リモートスクリーンを使用するには次の手順でおこなってください。

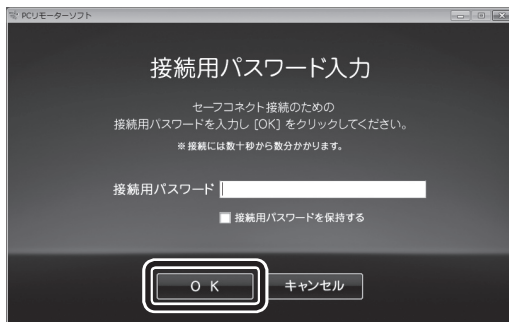
- DVDディスクがPCリモーターサーバのDVD/CDドライブに挿入されているときはPCリモーターサーバに接続できません。PCリモーターをお使いになる場合は、DVD/CDドライブからDVDディスクを取り出してからお使いください。
- PCリモーターサーバは、マルチディスプレイおよびディスプレイのピボット機能(縦長表示状態での接続)はサポートしていません。

1 「ホームメニュー」で「リモートスクリーン接続」をクリックする

サーバを複数登録している場合で、自動接続するサーバを選択していないときは、サーバ選択画面が表示されます。接続するサーバを選択してください。

自動接続するサーバを設定しておくことができます。詳しくは、「自動接続」(p.66)をご覧ください。

PART 4 リモートスクリーンを使う

2 セーフコネクト接続の［接続用パスワード入力］画面が表示されたら、接続用パスワードを入力し、「OK」をクリックする

ログオフしている場合は自動でWindowsにログオンして、PCリモーターサーバのデスクトップ画面が表示されます。

接続完了後にPCリモーターサーバの画面がPCリモーターに表示されるまで時間がかかる場合があります。

ホテルや公衆無線LANから接続する場合

ホテルや公衆無線LANからの接続では、専用の認証(ログイン)が必要な場合があります。Internet Explorerを起動し、任意のサイトにアクセスし、そのホテルや公衆無線LANの専用の認証(ログイン)画面で認証(ログイン)をおこなってください。ホームページが見られることを確認した後、ご利用ください。

インターネット経由で接続する場合

- 本機とPCリモーターサーバの間でメールのやりとりをおこない、接続処理をおこないます。そのため、接続が完了するまで数分かかります。
- 接続完了後にPCリモーターサーバの画面がPCリモーターに表示されるまで時間がかかる場合があります。
- 遅延が生じるネットワークに接続した場合、遅延に応じて操作の反応時間が遅くなります。

参照

接続時の画質について➡このPARTの「リモートスクリーンの各種機能について」-「画質の調節」(p.75)

接続中の画面について

PCリモーターサーバに接続すると、本機にPCリモーターサーバの画面が表示されます。

サーバの状態、または回線の状態によっては、接続に失敗することがあります。その場合は、再度接続してください。

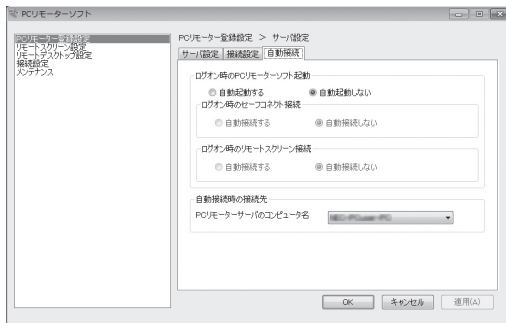
このPARTの「リモートスクリーンの各種機能について」(p.71)をご覧ください。

自動接続

自動接続の設定をおこなうと、本機にログオンするだけで、PCリモーターソフトの起動から、指定したPCリモーターサーバへ接続するまでの一連の操作を自動でできるようになります。

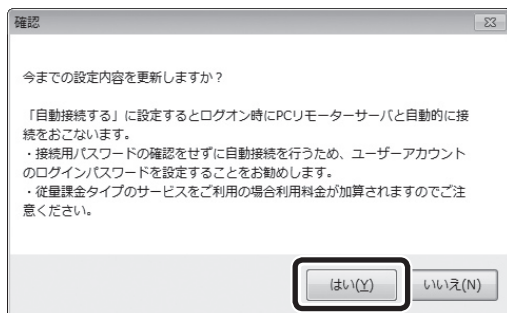
1 **サーバに接続していない状態でホームメニューで「設定」-「PCリモーター登録設定」-「自動接続」をクリックする**

自動接続の設定画面が表示されます。

2 **「ログオン時のPCリモーターソフト起動」の「自動起動する」を◉にし、「ログオン時のセーフコネクト接続」の「自動接続する」を◉にする**

3 **「自動接続時の接続先」で接続するPCリモーターサーバを選択する**

リモートスクリーン接続までを自動でおこないたい場合は、「ログオン時のリモートスクリーン接続」の「自動接続する」を◉にしてください。

4 「OK」をクリックする

5 [確認]画面が表示されたら、「はい」をクリックする

設定が保存され、次回、ログオン時に自動的にサーバ接続されるようになります。

メモ

セーフコネクト接続時には、セーフコネクト接続用のパスワードを入力する画面が表示されます。自動接続などでこの画面をスキップしたい場合、接続用パスワード入力画面で「接続用パスワードを保持する」を☑にしてください。次回セーフコネクト接続時から有効になります。

リモートスクリーンの終了

「リモートスクリーン」を終了する場合は、次の方法があります。

リモートスクリーン接続した状態でスリープまたは休止の操作をおこなわないでください。PCリモーターサーバをスリープまたは休止状態にさせるには、PCリモーターサーバのWindowsの電源設定で一定時間経過後にスリープまたは休止状態になるように設定してください。

■ツールバーの「×」をクリックする

セーフコネクトの接続が維持されたままホームメニューに戻ります。
PCリモーターサーバはロックされた画面になります。

■「リモートスクリーンメニュー」を使う

画面左上のリモートスクリーンメニュー、または画面右下の通知領域のをクリックして表示される画面にあるを右クリックして表示されるリモートスクリーンメニューで「切断」をクリックすると、セーフコネクトの接続が維持されたままホームメニューに戻ります。

Windows Media Playerなどで音楽ファイルや動画ファイルを再生中にリモートスクリーンを終了しないでください。リモートスクリーンを終了する前に、Windows Media Playerなどを終了してください。

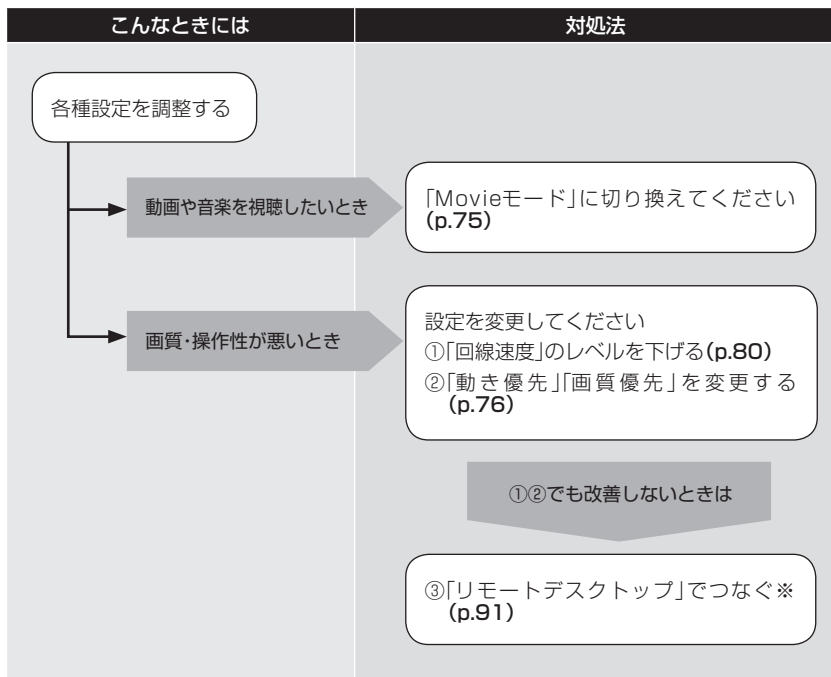
サーバを切断する

ホームメニューの「サーバ切断」をクリックすると、セーフコネクト接続(PCリモーターサーバとの通信)が切断されます。

「サーバ接続中」の状態で、「リモートスクリーン接続」、「リモートデスクトップ接続」、「共有フォルダ」を実行すると、短時間で接続できます。機能を切り換えて使用する場合などに便利です。

PART 4 リモートスクリーンを使う

通信状況に応じた対処方法

高速移動中や電波が弱いなど通信状況が良好でない場合は、次のようにご利用ください。

※:リモートデスクトップは、PCリモーターサーバのOSが次の場合に利用できます。

- ・Windows 7 Ultimate
- ・Windows 7 Professional
- ・Windows Vista Ultimate
- ・Windows Vista Business
- ・Windows XP Professional

参照

・利用目的や回線速度に応じた機能の使い方→PART３の「Step3　必要に応じて各機能を選ぶ」(p.59)

・より細かい設定方法について→付録の「PCリモーター接続設定ナビ」(p.170)

リモートスクリーンの各種機能について

ツールバーについて

リモートスクリーン接続中の画面上部に、ツールバーが表示されます。
ツールバーのアイコンにマウスカーソルを置くと、バルーンヘルプ（簡単な説明）が表示されます。

			ツールバーが常に表示されている状態です。 全画面モードで使用中にクリックすると、一定時間経過後、自動的に隠す状態に切り換わります。 ウィンドウモードで使用中は、ツールバーが常に表示される設定になっています。
			ツールバーが自動的に隠れる状態です。ツールバーの位置にマウスカーソルを移動すると、一時的に表示できます。 全画面モードで使用中にアイコンをクリックすると、ツールバーが常に表示される状態に切り換わります。 ウィンドウモードで使用中は、ツールバーが常に表示される設定になっています。
画面	フル	フル	サーバの画面全体を表示します。縦横比が一致しない場合があります。
	ノーマル	ノーマル	サーバの画面全体を表示します。縦横比を同じにするため、画面に黒い帯が表示される場合があります。 全画面モードでノーマル表示にすると、画面に黒い帯が表示されることがあります。 ウィンドウモードでノーマル表示にすると、PCリモーターサーバの画面縦横比に合わせせウィンドウ表示されます。
	1：1	1:1	任意のウィンドウサイズにdot by dot表示します。ウィンドウサイズ内にPCリモーターサーバの画面が入りきらない場合は、ウィンドウに表示されるスクロールバーで上下左右にスクロールできます。また、ウィンドウサイズを全画面にし、PCリモーターサーバの画面がすべて表示されない場合は、画面の上下左右の端にマウスカーソルを置くと、画面をスクロールできます。
Window fit		Window fit	PCリモーターサーバで表示しているソフトのウィンドウサイズをPCリモーターに最適な大きさで表示します。 全体表示（フル、ノーマル）のときにクリックすると、dot by dot表示（1：1）に切り換え後、ソフトのウィンドウサイズを最適な大きさで表示します。

PART 4 リモートスクリーンを使う

用途	PCモード	PCモードで表示していることを表します。PCモードについてはこのPARTの「画質の調節」をご覧ください。
	Movieモード	Movieモードで表示していることを表します。MovieモードについてはこのPARTの「画質の調節」をご覧ください。
画質	画質優先	画質を最大にします。マウス操作やキーボード入力の反応速度より画質を優先した設定にします。
	標準	画質を中間の設定にします。
	動き優先	マウス操作やキーボード入力の反応速度を上げます。
		画面を最小化します。
		画面サイズを自由に設定します（ウィンドウモード）。
		画面を最大化して表示します（全画面モード）。
		リモートスクリーン接続を終了して、ホームメニューに戻ります（サーバ接続は継続されます）。

メモ

リモートスクリーンの画質やモードの調整は、ショートカットキー（キーボードの複数のキーの組み合わせ）でおこなうこともできます。

参照

ショートカットキー操作について→付録の「キー操作一覧」（p.169）

チェック

ツールバーから「フル」「ノーマル」「1：1」を選ぶ操作は、【Ctrl】＋【Shift】＋【F8】キーでもできます。ただし、【Ctrl】＋【Shift】＋【F8】キーで切り換える場合、動作は次のようになります。切り換え前の状態によって、切り換え後の動作が異なります。

・ フル→1:1（dot by dot表示）→フル
・ ノーマル→1:1（dot by dot表示）→ノーマル
・ 1:1（dot by dot表示）→「フル」または「ノーマル」（1:1にする前の状態）→1:1（dot by dot表示）

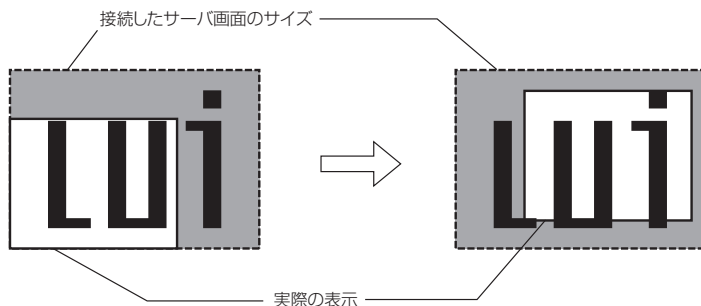
リモートスクリーン接続時の表示方法を全体表示(フル/ノーマル)とdot by dot表示(1:1)に切り換えることができます。

全体表示(フル、ノーマル)

全体表示とは、PCリモーターにPCリモーターサーバのデスクトップ画面全体を表示する機能です。
「ノーマル」では、画面に黒い帯が表示されることがあります。

dot by dot表示(1:1)

dot by dot表示(1:1)とは、PCリモーターサーバの画面サイズ(解像度)を拡大縮小せずに表示する機能です。PCリモーターの画面サイズ(解像度)がPCリモーターサーバの画面サイズより大きい場合、画面に黒い帯が表示されます。

PCリモーターの画面サイズ(解像度)がPCリモーターサーバの画面サイズより小さい場合、PCリモーターにはPCリモーターサーバのデスクトップ画面の一部が表示されます。

ウィンドウフィット表示

dot by dot表示(1:1)のときに、PCリモーターサーバで表示しているアクティブなソフトのウィンドウサイズをPCリモーターの画面に最適な大きさで表示する機能です。切り換えはWindow fitでおこないます。
変更後は、ソフトのウィンドウおよび部分表示の位置が画面左上に移動します。
なお、ソフトによってはウィンドウサイズを変更できないことがあります。画面上のボタンが隠れるなどでソフトの操作ができなくなった場合は、【Alt】+【F4】を押して、ソフトを一度終了させてから、再度ソフトを再起動してください。
また、ソフトによっては、動作に支障をきたすことがあります。ウィンドウフィット表示の状態から全画面表示や最大化をおこなうと、PCリモーターサーバの画面上で最大化されるためにソフトのウィンドウがPCリモーターの画面からはみ出ることがあります。

画質の調節

PCリモーターへ送信する画像や音声は、ネットワークの速度設定に合わせて圧縮して送信します。ネットワークの速度が遅い環境では、より高圧縮して送信するため、速度の遅い環境でご使用になる場合は、ネットワークの速度が速い環境でご使用されるときにくらべて画質や音質が劣ります。
ご利用方法に合わせて、PCモード/Movieモードの選択、画質優先/動き優先の調節をおこなってください。

PCモードとMovieモード

■PCモード

画像の鮮明さと本機を操作するときのレスポンスを重視するモードです。文書作成などの操作をするときに選択します。PCモードでは操作レスポンス優先のため、映像と音声のずれや、音切れが発生しやすくなります。
リモートスクリーン接続時には、PCモードで表示されます。必要に応じてモードを変更してください。

■Movieモード

動画のなめらかさを重視するモードです。Windows Media Playerなどで動画を再生するときなどに選択します。Movieモードでは操作レスポンスは悪くなりますが、映像と音声がずれず、音切れも発生しにくくなります。
Movieモードでは、マウスやキーボード操作などをおこなっても、すぐには反応しません。遅れる時間は、リモートスクリーン設定のMovieモード時のバッファサイズ数によって変わります。バッファサイズを大きくすると接続回線の変動による画像や音声の乱れに耐えやすくなります(その分、遅れる時間が大きくなります)。

バッファサイズの調節は、ホームメニューの「設定」-「リモートスクリーン設定」-「リモートスクリーン設定」でおこなえます。

PCモードとMovieモードはツールバーまたはキーボードで【Shift】+【Ctrl】+【F10】で切り換えます。

メモ

Movieモードは動画のなめらかさを重視するため、PCモードと比べて画質が劣ります。文書作成などのテキスト表示をおこなう場合は、PCモードで使用してください。

画質優先と動き優先

画質を優先させるか、画像の動きを優先させるかを調節します。画質の調節はツールバー、キーボードまたは「設定」メニューでおこないます。
設定している回線速度や表示している画面の内容によっては画質の見た目が変わらないことがあります。

■キーボードで調節する

キーボードで画質を調節するには次のキーでおこないます。

機能	ショートカットキー（初期値）	説明
画質優先にする	【Shift】+【Ctrl】+【F11】	キーを押すごとに、画質が向上します。マウス操作やキーボード入力などをした場合の反応速度は下がります。
動き優先にする	【Shift】+【Ctrl】+【F12】	キーを押すごとに、画質が低下します。マウス操作やキーボード入力などをした場合の反応速度は上がります。

メモ

ショートカットキーの割り当てを変更するには、ホームメニューから「設定」-「リモートスクリーン設定」-「ショートカットキー設定」で表示されるショートカットキーの設定画面でおこないます。

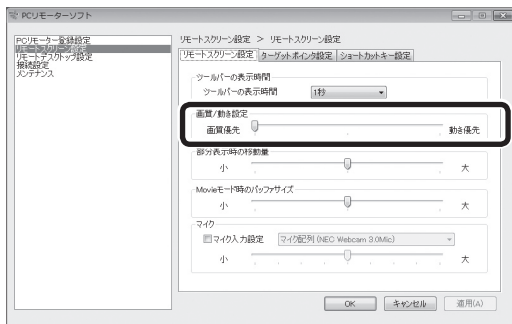
■「設定」メニューで調節する

「設定」メニューでの設定は、リモートスクリーン接続時の画質を設定します。
なお、接続中は設定できません。接続終了後におこなってください。
「設定」メニューで画質を調節するには次の手順でおこないます。

1 「ホームメニュー」で「設定」をクリックする

「設定」メニューが表示されます。

2 左欄の「リモートスクリーン設定」をクリックする

3 「リモートスクリーン設定」タブで、「画質/動き設定」のつまみを左右に動かして、画質を調節する

つまみを「画質優先」に動かすと画質が向上します。キーボード、マウスの操作の反応速度は下がります。
つまみを「動き優先」に動かすと画質は低下します。キーボード、マウスの操作の反応速度は上がります。

ターゲットポインタについて

ネットワーク回線の速度が遅い場合や遅延などで、リモートスクリーン接続時にマウスポインタの反応が鈍くなる場合があります。このようなときは、ターゲットポインタを使用すると、操作性を向上できます。
ターゲットポインタは、PCリモーター側でマウスの動きを描画するので、回線の遅延の影響を受けません。

PCリモーターの ターゲットポインタ		マウス操作に遅れることなく反応します。
PCリモーターサーバのマウスカーソル		ターゲットポインタにやや遅れて到達します。遅れ具合は回線遅延の状況によって異なります。

ターゲットポインタの設定は、ホームメニューの「設定」-「リモートスクリーン設定」-「ターゲットポインタ設定」でおこなえます。

ボタンをクリックする場合などでは、ターゲットポインタを目的の場所まで動かし、その場所にマウスカーソルが追いついてからクリックしてください。

ターゲットポインタとPCリモーターサーバのマウスカーソルでずれが発生するときは

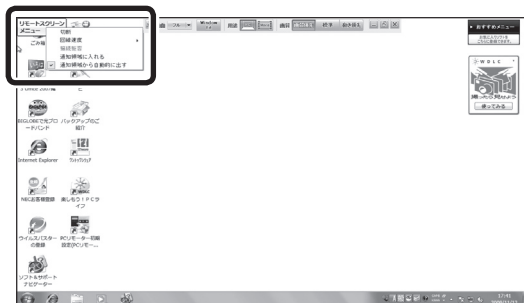
お使いのPCリモーターサーバのディスプレイアダプタの設定によっては、ターゲットポインタとPCリモーターサーバのマウスカーソルの位置にずれが発生する場合があります。その場合は、PART1の「PCリモーターサーバの準備」(p.8)をご覧になり、ディスプレイアダプタの設定を確認してください。

リモートスクリーンメニュー

PCリモーターサーバにインストールされている「リモートスクリーンメニュー」でPCリモーターサーバと本機との接続を管理できます。PCリモーターサーバの切断の操作、通信の際の回線速度の調節などができます。「リモートスクリーンメニュー」は次の方法で使用できます。

メモ

「リモートスクリーン」を使用している場合、本機からも「リモートスクリーンメニュー」を操作できます。

1 画面左上のリモートスクリーンメニューを右クリック、または画面右下の通知領域のをクリックして表示される画面にあるを右クリックして表示されるリモートスクリーンメニューから機能を選択する

▲通知領域から出ているリモートスクリーンメニューを開く

▲通知領域にあるリモートスクリーンメニューを開く

PART 4 リモートスクリーンを使う

切断

1 リモートスクリーンメニューで「切断」をクリックする

2 リモートスクリーンの切断確認画面で「はい」をクリックする

本機とPCリモーターサーバとの「リモートスクリーン」を終了しホームメニューに戻ります。この場合、セーフコネクトでのサーバ接続状態は維持されています。

回線速度

画面左上のリモートスクリーンメニューをクリック、または画面右下の通知領域のをクリックして表示される画面にあるをクリックしても表示されます。

PCリモーターサーバに接続中の回線速度を調節できます。ご使用になっているネットワークの帯域に応じて回線速度の調節をおこなってください。
回線速度の目安は次の表を参考にしてください。表の値は、参考値であり、PCモード/Movieモード、画質優先/動き優先の設定によって、必要となる回線速度は異なります。また、利用しているPCリモーターのネットワークアダプタの種類により選択できる回線速度のレベルは異なります。

回線速度	回線速度の目安
レベル6	30Mbps以上
レベル5	15Mbps以上
レベル4	7Mbps以上
レベル3	5Mbps以上
レベル2	3Mbps以上
レベル1	1Mbps以上

- 回線速度は、理論値ではなく実効値です。
- 回線速度の調節は一時的なものです。通信を切断するとプリセットされている設定に戻ります。回線速度の設定を変更する場合は、「設定」-「接続設定」-「ネットワークアダプタ設定」-「詳細設定」でおこなえます。詳しくは、PART8の「設定を変更する」-「本機の設定を変更する」(p.136)をご覧ください。
- 上記の回線速度に設定しても、ネットワークの通信速度のゆらぎ(一定でない)によって操作しづらくなることがあります。

接続拒否

PCリモーターからのリモートスクリーン接続要求を常時拒否することができます。なお、リモートスクリーン接続中には設定できません。

通知領域から出す/通知領域に入れる

リモートスクリーンメニューを通知領域から出したり、収納したりできます。

通知領域から自動的に出す

リモートスクリーン接続時にリモートスクリーンメニューを通知領域から自動的に出し、リモートスクリーン終了時に通知領域に格納します。

PCリモーターの音声入力をPCリモーターサーバに送る

PCリモーターのマイクから入力した音声をPCリモーターサーバで録音したり、音声入力として使用することができます。使用する場合、次の設定が必要です。

● PCリモーターの設定
次ページの「PCリモーター側の設定」をご覧ください。

● PCリモーターサーバの設定
PCリモーターサーバの設定については、お使いのPCリモーターサーバのOSにあわせて、次のようにご覧ください。
・Windows 7、Windows Vistaの場合→「PCリモーターサーバ側の設定 ＜Windows 7、Windows Vistaの場合＞」(p.83)
・Windows XPの場合→「PCリモーターサーバ側の設定 ＜Windows XPの場合＞」(p.84)

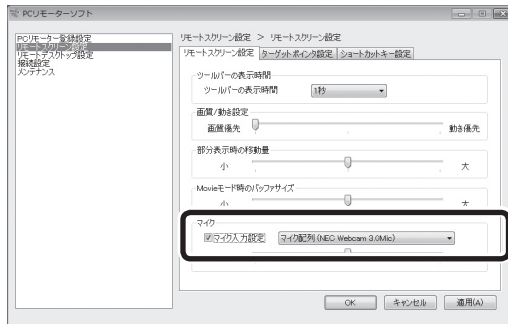
また、お使いのPCリモーターサーバのOSがWindows 7、Windows Vistaの場合、PCリモーターサーバ側の音量を調節できます。「PCリモーターサーバの入力音量を調節する(Windows 7、Windows Vistaの場合)」(p.85)をご覧ください。

PCリモーター側の設定

PCリモーターの音声入力をPCリモーターサーバに送るときのPCリモーターの設定について説明します。

1 PCリモーターソフトのホームメニューから「設定」-「リモートスクリーン設定」をクリックし、「リモートスクリーン設定」タブをクリックする

「リモートスクリーン設定」画面が表示されます。

2 「マイク入力設定」の をクリックして にし、 をクリックして表示されるプルダウンメニューから使用するマイクデバイスを選択する

3 「OK」をクリックする

- マイクの音量について
  - マイクデバイスによっては音量を変更できないことがあります。
  - NEC Webcam 3.0Micは音量が自動調整されるため、スライダで音量を変更しても音量は変わりません。
- マイクを利用する場合は、PCリモーターのコンピュータ名を半角英数字にしてください(全角文字は使用しないでください)。なお、コンピュータ名を変更した場合は、PART8の「「PCリモーター初期設定」をやりなおす」(p.152)をご覧になり、初期設定をやりなおしてください。

 参照

PCリモーターサーバの設定について

お使いのPCリモーターサーバのOS別に次のようにご覧ください。

- ・Windows 7、Windows Vistaの場合→「PCリモーターサーバ側の設定　＜Windows 7、Windows Vistaの場合＞」(p.83)
- ・Windows XPの場合→「PCリモーターサーバ側の設定　＜Windows XPの場合＞」(p.84)

PCリモーターサーバ側の設定　＜Windows 7、Windows Vistaの場合＞

PCリモーターの音声入力をPCリモーターサーバ(Windows 7、Windows Vista)に送るときのPCリモーターサーバの設定について説明します。次の操作は、リモートスクリーン接続中でもおこなえます。

1 PCリモーターサーバで、「スタート」-「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」-「サウンド」をクリックし、「録音」タブをクリックする

2 「録音」タブで「マイク　NECリモートスクリーンオーディオ」を既定のデバイス(✓)にする

「マイク　NECリモートスクリーンオーディオ」が既定のデバイスになっていない場合(既定のデバイスであることを示す緑色のチェックアイコン✓が表示されていない場合)は、「マイク　NECリモートスクリーンオーディオ」を右クリックし、表示されるプルダウンメニューから「既定デバイスとして設定」をクリックしてください。✓が表示されて既定のデバイスになります。

▲Windows 7の場合

▲Windows Vistaの場合

「マイク　NECリモートスクリーンオーディオ」が表示されていない場合は、「録音」タブの画面上の余白部分で右クリックし、「無効なデバイスの表示」または「切断されているデバイスの表示」をクリックしてください。「マイク　NECリモートスクリーンオーディオ」が表示されたら、「マイク　NECリモートスクリーンオーディオ」を右クリックし、表示されるプルダウンメニューから「有効」をクリックした後、手順2をおこなってください。

3 「OK」をクリックする

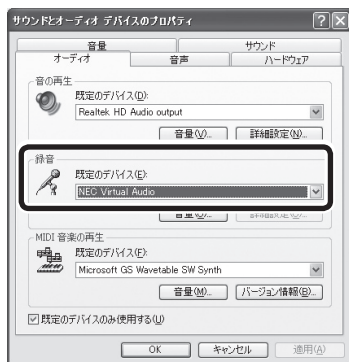
マイクの設定を変更した場合は、リモートスクリーン終了後、元に戻してください。

・PCリモーターの音声入力の設定について→「PCリモーター側の設定」(p.82)
・PCリモーターサーバ側の音量調節について→「PCリモーターサーバの入力音量を調節する（Windows 7、Windows Vistaの場合）」(p.85)

PCリモーターサーバ側の設定　＜Windows XPの場合＞

PCリモーターの音声入力をPCリモーターサーバ(Windows XP)に送るときのPCリモーターサーバの設定について説明します。次の操作は、リモートスクリーン接続中もおこなえます。

1 PCリモーターサーバで「スタート」-「コントロールパネル」-「サウンド、音声、およびオーディオ デバイス」-「サウンドとオーディオ デバイス」をクリックし、「オーディオ」タブをクリックする

2 「録音」の「既定のデバイス」に「NEC Virtual Audio」を選択する

3 「OK」をクリックする

・ PCリモーターサーバがWindows XPの場合、PCリモーターサーバの入力音量を調節することはできません。
・ マイクの設定を変更した場合は、リモートスクリーン終了後、元に戻してください。

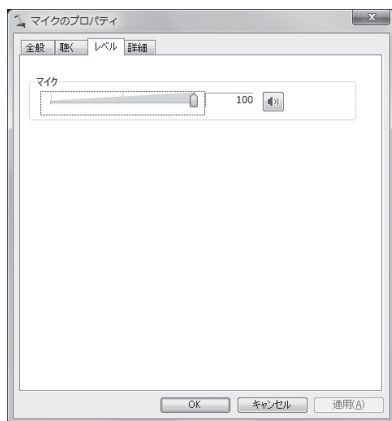
PCリモーターの音声入力の設定について→「PCリモーター側の設定」(p.82)

PCリモーターサーバの入力音量を調節する(Windows 7、Windows Vistaの場合)

1 PCリモーターサーバで、「スタート」-「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」-「サウンド」をクリックし、「録音」タブをクリックする

2 「マイク　NECリモートスクリーンオーディオ」をクリックし、「プロパティ」をクリックする

「マイクのプロパティ」画面が表示されます。

3 「レベル」タブをクリックし、表示される画面で音量を調節する

4 「OK」をクリックする

リモートスクリーンを使うときの注意事項

本機を操作するときの注意事項

- リモートスクリーン接続中にPCリモーターサーバの解像度を切り換えると、通信が切断されたり、ターゲットポインタとマウスカーソルがずれることがあります。
- PCリモーターソフトでリモートスクリーン接続をしているときは、本機の解像度、表示色、DPI設定、リフレッシュレートを変更しないでください。変更すると、画面が表示されなくなる（真っ暗になる）ことがあります。画面が表示されなくなった場合は、PCリモーターソフトを再起動してください。
- リモートスクリーン接続中に、本機の画面の出力先を変更することはできません。
- リモートスクリーン上でPCリモーターサーバにログオンしているユーザーは、ログオンする画面、ユーザー切り換えする画面、ロックする画面などには遷移できません。ユーザー切り換えをおこなうと、遷移後、自動的にログオンされるか、回線が切断される場合があります。そのため、ユーザー切り換えやロック機能はご使用になれません。
- リモートスクリーン接続中は、PCリモーターサーバでスリープ/休止状態の設定がされている場合でも自動でスリープ/休止状態になることはありません。
- 画面モードが切り換わるゲームなどのソフトを起動すると通信が切断されることがあります。
- マウスやキーボードの自動入力をガードする機能が組み込まれているソフト（オンラインゲームなど）は動作しないことがあります。
- ソフトによっては起動するとマウスでの操作ができなくなる場合があります。その場合は、キーボードにより操作、終了してください。
- PCリモーターサーバで、DVD/CDドライブにアクセスする機能や仮想ドライブを作成する機能のある次のようなソフトが起動している場合には、本機でPCリモーターサーバに接続できない場合があります。
  - DVDやブルーレイディスク再生ソフト
  - 音楽CDソフト（CD再生、リッピングなど）
  - ディスクライティングソフト（DVD作成機能がある動画編集ソフトを含む）
  - 仮想ドライブソフト
- PCリモーターサーバは、マルチディスプレイおよびディスプレイのピボット機能（縦長表示状態での接続）はサポートしていません。
- 著作権保護のため、地上デジタル放送やBS/CSデジタル放送の録画番組をPCリモーターサーバで再生させ、本機で見ることはできません。DVDやブルーレイディスクの再生をおこなうことはできません。

・ 回線速度が遅い環境でご使用になる場合、映像のコマ落ち、音声の途切れが発生しやすくなります。
・ ご使用の環境、またはネットワークの環境によっては操作反応の遅延が起こります。
・ マルチユーザーには対応していません。PCリモーターソフト使用中、およびリモートスクリーン接続中は、本機上でユーザー切り換えをしないでください。ユーザー切り換えをしてしまった場合は、その後、PCリモーターソフトを再起動してください。
・ 特定のソフトにより、ウィンドウの大きさが変わらない、メニューが隠れて操作できなくなる、画面のほとんどがメニュー表示になってしまうなどの症状が発生する場合があります。
・ PCリモーターサーバにキーボードが接続されていない場合、「リモートスクリーン」は使用できません。また、接続中にキーボードが取り外された場合は、リモートスクリーン接続が切断されます。
・ Movieモード時の最大フレームレートは20fpsです。
・ リモートスクリーン接続中に、スタートボタンから再起動をおこなうと、再起動後、PCリモーターサーバのログオン画面が小さく表示される場合があります。
・ 複数台のPCリモーターサーバが同一ネットワーク内に設置されている場合は、外出先のネットワーク環境によっては、PCリモーターから接続できない場合があります。
・ NXパッドの左右スクロールや【Ctrl】+【Alt】+【Del】は使用できません。
・ リモートスクリーン接続中に移動させたアイコンは、リモートスクリーン接続を切断すると接続前の位置に戻ります。
・ PCリモーターサーバのOSがWindows 7の場合、リモートスクリーン接続中に拡大鏡を使用するときは、拡大鏡の表示の設定を「固定」にして使用してください。「固定」以外にすると、動作が遅くなったり、マウスカーソルがずれたりします。
・ 初期設定後にPCリモーター（本機）のコンピューター名を変更した場合、PART8の「「PCリモーター初期設定」をやりなおす」(p.152)をご覧になり、初期設定をやりなおしてください。
・ 初期設定後にPCリモーターサーバの次のいずれかを変更した場合、PART8の「サーバの追加/変更をおこなう」(p.145)をご覧になり、サーバの追加/変更をおこなってください。
  - コンピューター名
  - ユーザーアカウント名
  - ユーザーアカウントのパスワード
・ PCリモーターサーバに送信されるデバイスは、PCリモーターに接続したマウスのみです。PCリモーターに接続した携帯音楽プレーヤーのデータ同期をとったり、PCリモーターに接続したプリンタに印刷したりすることはできません。

PCリモーターサーバを操作するときの注意事項

・PCリモーターサーバにログオンしているユーザーが一時的にPCリモーターからの接続拒否をしているときは、PCリモーターサーバ側のユーザーがログオフすることによりログオンできるようになります。
・本機でPCリモーターサーバに接続しているときは、本機からのみPCリモーターサーバの操作ができます。PCリモーターサーバに接続されているマウスやキーボードでは操作できません。また、ディスプレイには画面が表示されません。
本機でPCリモーターサーバに接続しているときにPCリモーターサーバ側で操作をしたいときは、PCリモーターサーバ側で【Alt】+【F1】を押すと、本機とPCリモーターサーバの接続は切断され、本機には「ホームメニュー」が表示されます。
・本機とPCリモーターサーバの切断後、PCリモーターサーバの解像度がもとに戻らない場合があります。
・PCリモーターと接続中に、DVDディスクをPCリモーターサーバに挿入すると、通信が切断されます。
・マルチユーザーには対応していません。リモートスクリーン接続時は、ユーザー切り換えをおこなわないでください。
・PCリモーターの初期設定で自動ログオンユーザとして登録したユーザー以外がPCリモーターサーバにログオンして使用しているときには、リモートスクリーンは使用できません。
・PCリモーターサーバのOSがWindows XPの場合は、ログオン画面として[ようこそ]画面は使用できなくなります(ログオンプロンプトが使用されます)。

PCリモーターサーバの操作

「接続拒否」について

PCリモーターサーバ側でPCリモーターに接続されると不都合な場合は、リモートスクリーンメニューで「接続拒否」を設定することができます。操作を開始する前に「接続拒否」を設定していると、PCリモーターから接続されることなく操作ができます。操作が終了したら、「接続拒否」を解除することにより、PCリモーターからの接続を受け付けるようになります。

「接続拒否」を設定していても、PCリモーターからリモート再起動した場合、PCリモーターサーバ側に確認画面が表示され、10秒後に再起動します。

メモ

「接続拒否」の状態は、PCリモーターサーバの再起動もしくは、ユーザーがWindowsからログオフすると自動的に解除されます。

PCリモーターサーバでの切断方法

PCリモーターでPCリモーターサーバに接続しているときは、PCリモーターサーバ側には何も表示されず、Windowsの操作をおこなうことはできません。PCリモーターサーバ側から操作をおこないたい場合は、PCリモーターサーバ側で【Alt】+【F1】を押して強制的に通信を切断してください。接続許可画面が表示されるまでは、この操作をおこなっても切断できない場合があります。

接続許可確認について

PCリモーターサーバを操作中に「PCリモーターへの接続を受け付けますか？あと○秒で自動的に接続します。」という画面が表示されたときに、「はい」をクリックするとPCリモーターからの接続を受け付けます。接続を受け付けるとPCリモーターサーバ側の画面には何も表示されなくなり、操作をおこなうことはできなくなります。「いいえ」をクリックするとPCリモーターからの接続を拒否できます。

メモ

- 「PCリモーターへの接続を受け付けますか？あと○秒で自動的に接続します。」という画面が表示されたときに、操作をおこなわなかった場合、一定時間後にPCリモーターからの接続を受け付けます。
- 「PCリモーターからの接続を受け付けますか」という画面を表示する必要がない場合にはPCリモーターサーバの設定を変更してください。

PART 4 リモートスクリーンを使う

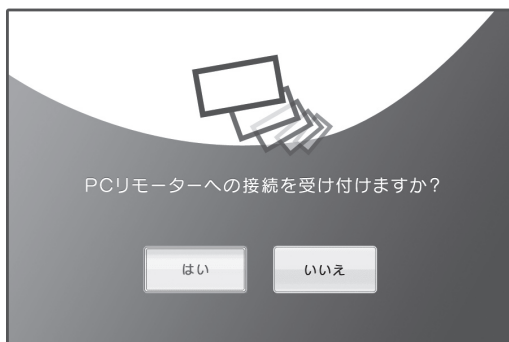
参照

接続許可確認の設定について→PART8の「設定を変更する」-「PCリモーターサーバの設定を変更する」-「■リモートスクリーン設定」-「接続許可確認」(p.143)

カウントダウンの停止について

PCリモーターサーバに[PCリモーターへの接続を受け付けますか？]画面が表示されカウントダウン中(7秒)に、PCリモーターサーバ側でキーボードまたはマウス操作をおこなうと、カウントダウンが停止されます。停止が5秒間続いた後、カウントダウンを7秒前から再開します。
カウントダウン停止中は、[PCリモーターへの接続を受け付けますか？]画面に「あと○秒で自動的に接続します。」が表示されません。

PART

5

リモートデスクトップを使う

このPARTでは、リモートデスクトップ方式でPCリモーター
サーバに接続する方法について説明しています。

リモートデスクトップを使うためには

リモートデスクトップは、PCリモーターサーバのOSが次のいずれかの場合に利用できます。

・ Windows 7 Ultimate
・ Windows 7 Professional
・ Windows Vista Ultimate
・ Windows Vista Business
・ Windows XP Professional

初期設定では、リモートデスクトップを使用しない設定になっているため、使用する場合は、次の手順をおこなって、ホームメニューに「リモートデスクトップ接続」を表示できるようにしてください。

・ 以下の手順をおこなう前に、インターネットに接続できる状態になっているか確認してください。
・ 複数のネットワークアダプタが接続状態(IPアドレスが割り当てられている)である場合、使用しないネットワークアダプタをネットワークから切断してください。

例) 有線LANで使用する場合

- 外付けされているネットワークアダプタをパソコン(本機)から取り外す
- 無線LANの電源をオフにする

1 ホームメニューで「設定」-「リモートデスクトップ設定」をクリックする

2 「使用する」を◉にし、「OK」をクリックする

ホームメニューに「リモートデスクトップ接続」が表示されます。

リモートデスクトップを使う

リモートデスクトップは、PCリモーターサーバのデスクトップ環境を本機で遠隔操作する機能です。電波状況が悪い場合など、通信速度が遅いときにおすすめです。リモートデスクトップ接続で同時に利用可能なPCリモーターは１台です。また、PCリモーターサーバに他のパソコンからセーフコネクト機能を使って接続されている間は、PCリモーターからPCリモーターサーバに宅外から接続することができません。

参照

セーフコネクトについて→PART3の「PCリモーターへ画面や音声が転送される仕組み」(p.60)

チェック

PCリモーターサーバは、マルチディスプレイおよびディスプレイのピボット機能（縦長表示状態での接続）はサポートしていません。

PCリモーターサーバの電源について

PCリモーターからリモートデスクトップ接続するとき、PCリモーターサーバがスリープまたは休止状態だった場合は、PCリモーターサーバは自動的に起動します。

チェック

リモートデスクトップを利用するには、PCリモーターサーバのOSが次のいずれかで、初期設定またはPCリモーターサーバ上で、「スタート」-「すべてのプログラム」-「PCリモーター」-「PCリモーターサーバ設定」をクリックし、「リモートデスクトップ設定」-「リモートデスクトップ設定」で、リモートデスクトップの許可の設定と許可ユーザーの登録をおこなっておく必要があります。

- Windows 7 Ultimate
- Windows 7 Professional
- Windows Vista Ultimate
- Windows Vista Business
- Windows XP Professional

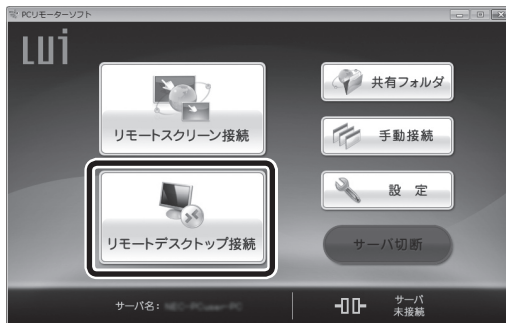
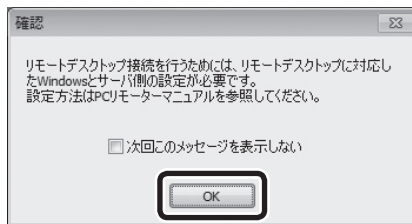
参照

初期設定の「リモートデスクトップ設定」について→PART2の「PCリモーター /PCリモーターサーバの初期設定」-「セーフコネクト接続設定（サーバPC側）」の手順9（p.43）

PCリモーターサーバへの接続

リモートデスクトップを使用するには次の手順でおこなってください。

DVDディスクがPCリモーターサーバのDVD/CDドライブに挿入されているときはPCリモーターサーバに接続できません。PCリモーターをお使いになる場合は、DVD/CDドライブからDVDディスクを取り出してからお使いください。

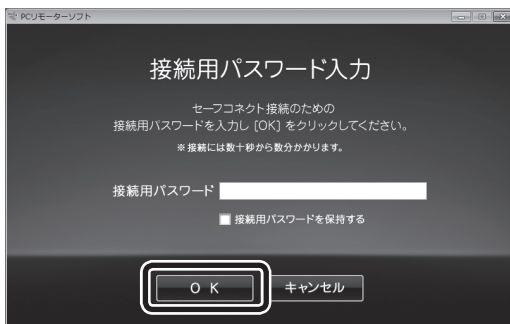
1 「ホームメニュー」で「リモートデスクトップ接続」をクリックする

2 [確認]画面が表示されたら「OK」をクリックする

これから設定する場合は、サーバPCで「スタート」-「コントロールパネル」-「システムとセキュリティ」-「リモート アクセスの許可」をクリックすると、設定画面が表示されるので、PART2の「PCリモーター/PCリモーターサーバの初期設定」-「セーフコネクト接続設定(サーバPC側)」の手順9(p.43)をご覧になり設定をおこなってください。

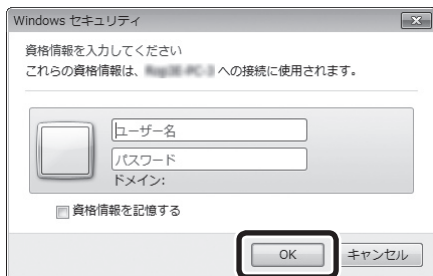
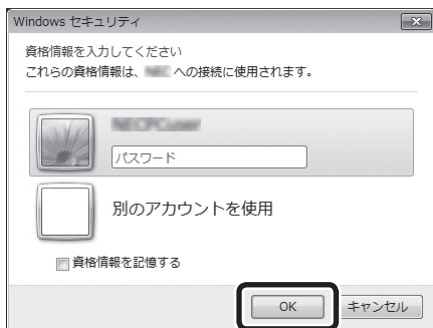
サーバを複数登録している場合で、自動接続の設定がないときは、サーバ選択画面が表示されます。接続するサーバを選択してください。

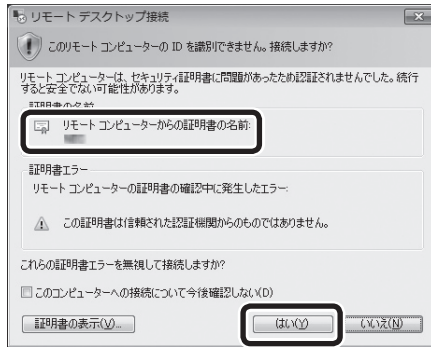
メモ

自動接続するサーバを設定しておくことができます。ホームメニューで「設定」-「PCリモーター登録設定」-「自動接続」をクリックして表示される画面にある「自動接続時の接続先」で設定します。詳しくは、PART8の「設定を変更する」-「本機の設定を変更する」-「設定できる項目」-「■PCリモーター登録設定」-「自動接続」(p.138)をご覧ください。

3 セーフコネクト接続の[接続用パスワード入力]画面が表示されたら、接続用パスワードを入力し、[OK]をクリックする

PART5 リモートデスクトップを使う

4 [Windows セキュリティ]画面が表示された場合、リモートデスクトップ接続するPCリモーターサーバのWindowsのユーザー名、パスワードを入力し、「OK」をクリックする

次の画面が表示された場合、PCリモーターサーバ側に登録したWindowsのユーザー名、パスワードを入力してください。

次の画面が表示された場合、PCリモーターサーバ側に登録したWindowsのパスワードを入力してください。

[Windows セキュリティ]画面のユーザー名に、ログオンするユーザー名と異なるユーザー名や通信しているネットワークアダプタのIDなどが自動入力されている場合は、「別のアカウントを使用」をクリックし、使用するユーザー名、パスワードを入力してください。

5「このリモート コンピューターのIDを識別できません。接続しますか？」と表示された場合、「リモートコンピューターからの証明書の名前」欄のコンピューター名を確認し、「はい」をクリックする

6 ネットワークへの接続が完了した後、ログオン画面が表示された場合、ログオンする

PCリモーターサーバのデスクトップ画面が表示されます。

接続完了後にPCリモーターサーバの画面がPCリモーターに表示されるまで時間がかかる場合があります。

ホテルや公衆無線LANから接続する場合

ホテルや公衆無線LANからの接続では、専用の認証(ログイン)が必要な場合があります。Internet Explorerを起動し、任意のサイトにアクセスし、そのホテルや公衆無線LANの専用の認証(ログイン)画面で認証(ログイン)をおこなってください。ホームページが見られることを確認した後、ご利用ください。

インターネット経由で接続する場合

- 本機とPCリモーターサーバの間でメールのやりとりをおこない、接続処理をおこないます。そのため、接続が完了するまで数分かかります。
- 接続完了後にPCリモーターサーバの画面がPCリモーターに表示されるまで時間がかかる場合があります。
- 遅延が生じるネットワークに接続した場合、遅延に応じて操作の反応時間が遅くなります。

接続中の画面について

PCリモーターサーバに接続すると、本機にPCリモーターサーバの画面が表示されます。

サーバの状態、または回線の状態によっては、接続に失敗する場合があります。この場合は、再度接続してください。

このPARTの「リモートデスクトップの各種機能について」(p.101)をご覧ください。

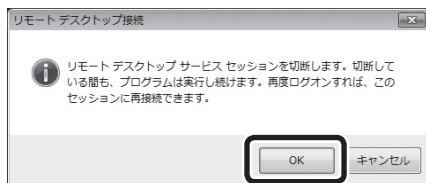
リモートデスクトップの終了

リモートデスクトップを終了する場合は、次の方法があります。

リモートデスクトップから接続した状態でスリープまたは休止の操作をおこなわないでください。PCリモーターサーバをスリープまたは休止状態にさせるには、PCリモーターサーバのWindowsの電源設定で一定時間経過後にスリープまたは休止状態になるように設定してください。

■接続バーのをクリックする

1 接続バーのをクリックする

2 次の画面が表示されたら、「OK」をクリックする

セーフコネクトの接続が維持されたままホームメニューに戻ります。

■「スタート」-「ログオフ」をクリックする

セーフコネクトの接続が維持されたままホームメニューに戻ります。
PCリモーターサーバはログオン画面になります。

サーバを切断する

ホームメニューの「サーバ切断」をクリックすると、セーフコネクト接続(PCリモーターサーバとの通信)が切断されます。

メモ

「サーバ接続中」の状態で、「リモートスクリーン接続」、「リモートデスクトップ接続」、「共有フォルダ」を実行すると、短時間で接続できます。機能を切り換えて使用する場合などに便利です。

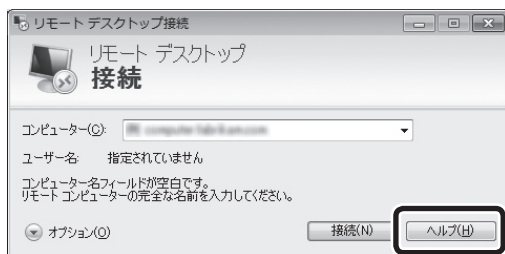
リモートデスクトップの各種機能について

接続バーについて

リモートデスクトップ接続で全画面表示にすると、接続バーを表示したり、非表示にしたりできます。

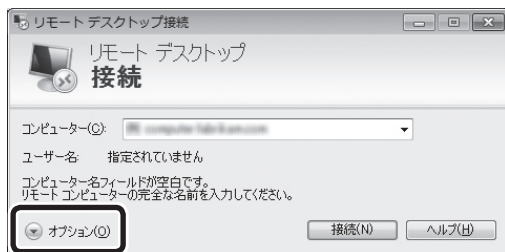
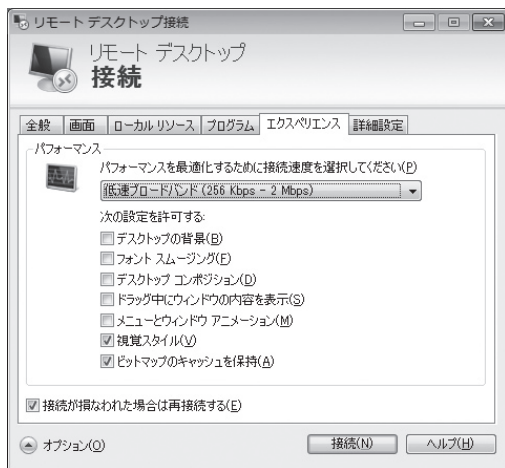
	全画面表示のとき接続バーが常に表示された状態です。クリックすると、一定時間経過後、自動的に隠す状態に切り換わります。
	全画面表示のとき接続バーが自動的に隠れる状態です。隠れている状態で接続バーの位置にマウスカーソルを移動すると、一時的に表示されます。このアイコンをクリックすると、接続バーが常に表示される状態に切り換わります。
	リモートデスクトップ接続ウィンドウを最小化します。
	リモートデスクトップ接続ウィンドウサイズを自由に設定します。可変サイズのウィンドウにした場合、接続バーは表示されません。
	リモートデスクトップ接続ウィンドウを最大化します。 全画面表示をする場合は、【Alt】+【Break】(【Fn】+【Alt】+【Pause】)キーを押してください。
	リモートデスクトップ接続を終了して、ホームメニューに戻ります(サーバ接続は継続されます)。

リモートデスクトップの各種機能について

「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「リモートデスクトップ接続」をクリックして表示される次の画面で、「ヘルプ」をクリックしてヘルプをご覧ください。

▲Windows 7 Starterの場合の画面

リモートデスクトップの設定

リモートデスクトップでは、回線速度に応じてデスクトップの描画方法などを設定することができます。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「リモートデスクトップ接続」をクリックして表示される次の画面で、「オプション」をクリックする

2 「エクスペリエンス」タブをクリックして表示される画面で設定をおこなう

リモートデスクトップを使うときの注意事項

本機を操作するときの注意事項

- 本機でPCリモーターサーバにリモートデスクトップ接続しているときに、ほかのパソコンなどからPCリモーターサーバにリモートデスクトップ接続した場合、本機のリモートデスクトップ接続は切断されます。
- PCリモーターサーバのスクリーンセーバーの設定を有効にしている場合、リモートデスクトップ接続中は、スクリーンセーバーが動作せずに、ログオン入力画面が表示されます。
- リモートデスクトップで接続中は、一部アプリケーションが動作できない場合があります。
- マイク機能は使用できません。
- PCリモーターサーバとの接続終了後に、PCリモーターサーバをスリープまたは休止状態にさせるには、PCリモーターサーバのWindowsの電源設定で一定時間経過後にスリープまたは休止状態になるように設定してください。
- ご使用の環境、またはネットワークの環境によっては、操作反応の遅延が起こります。
- 動画や音楽の再生が正常にできない可能性があります。
- アプリケーションによっては、正常に動作しない場合があります。また、解像度や色数を固定するアプリケーションなどは、起動しない場合があります。
- 複数台のPCリモーターサーバが同一ネットワーク内に設置されている場合は、外出先のネットワーク環境によっては、PCリモーターから接続できない場合があります。
- 初期設定後にPCリモーター（本機）のコンピューター名を変更した場合、PART8の「「PCリモーター初期設定」をやりなおす」(p.152)をご覧になり、初期設定をやりなおしてください。
- 初期設定後にPCリモーターサーバの次のいずれかを変更した場合、PART8の「サーバの追加/変更をおこなう」(p.145)をご覧になり、サーバの追加/変更をおこなってください。
  - コンピューター名
  - ユーザーアカウント名
  - ユーザーアカウントのパスワード

PCリモーターサーバを操作するときの注意事項

- 本機がPCリモーターサーバにリモートデスクトップ接続をする場合、リモートスクリーン接続する場合と異なり、PCリモーターサーバ上に確認のメッセージは表示されません。
- 本機でPCリモーターサーバにリモートデスクトップ接続している場合、PCリモーターサーバのディスプレイにはユーザー切り換えの画面が表示されます。PCリモーターサーバ上でログオンをおこなうと、本機のリモートデスクトップ接続は切断されます。

PART

6

共有フォルダを使う

このPARTでは、PCリモーターとPCリモーターサーバの間で、共有フォルダを使ってデータのやりとりをする方法を説明しています。

共有フォルダを使うためには

PCリモーターとPCリモーターサーバの間で、データのやりとりをするには、「共有フォルダ」機能を使います。共有フォルダを使うと、外出先などからも、ホームネットワークのようにデータをやりとりすることができます※。

※：PCリモーターサーバに他のパソコンからセーフコネクト機能を使って接続されている間は、PCリモーターからPCリモーターサーバに宅外から接続することはできません。

・以下の手順をおこなう前に、インターネットに接続できる状態になっているか確認してください。

・複数のネットワークアダプタが接続状態（IPアドレスが割り当てられている）である場合、使用しないネットワークアダプタをネットワークから切断してください。

例）有線LANで使用する場合

- 外付けされているネットワークアダプタをパソコン（本機）から取り外す
- 無線LANの電源をオフにする

・この項目の説明で使用しているパブリック ネットワークとは、ブロードバンドルータなどを使わずに、直接、インターネットに接続しているネットワークのことを指します。

ここでは、共有フォルダを使うための準備について説明しています。

お使いのPCリモーターサーバのOSがWindows 7のかたは「PCリモーターサーバがWindows 7の場合」（p.107）を、Windows Vista、Windows XPのかたは「PCリモーターサーバがWindows 7以外の場合」（p.114）をご覧ください。

PCリモーターサーバがWindows 7の場合

- PCリモーターサーバ(OSがWindows 7)とPCリモーター(本機)との間で、すでにホームグループを設定済みの場合は、「ホームグループの作成(PCリモーターサーバ側)」の手順6(p.109)に進んでください。
- PCリモーターサーバのOSがWindows Vista、Windows XPの場合、「PCリモーターサーバがWindows 7以外の場合」(p.114)をご覧ください。

Windows 7では、ホームグループによるファイル共有をおこなうことができます。PCリモーターサーバ(Windows 7)とPCリモーター(本機)との間で、これからホームグループの設定をする場合、次の説明をお読みください。

Windows 7 Starterでは独自のホームグループを作成することはできません。先に、次の手順で、Windows 7がインストールされているPCリモーターサーバでホームグループを作成して、その後で、PCリモーター側でホームグループへ参加する操作をおこないます(p.112)。

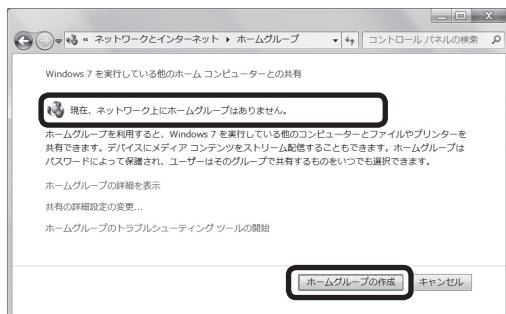
ホームグループの作成(PCリモーターサーバ側)

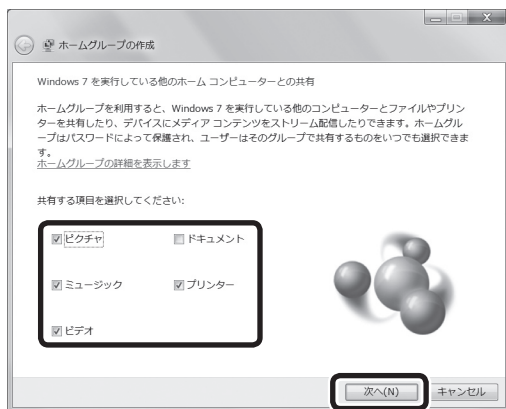
ここでは、Windows 7がインストールされているPCリモーターサーバでホームグループを作成する手順を説明します。

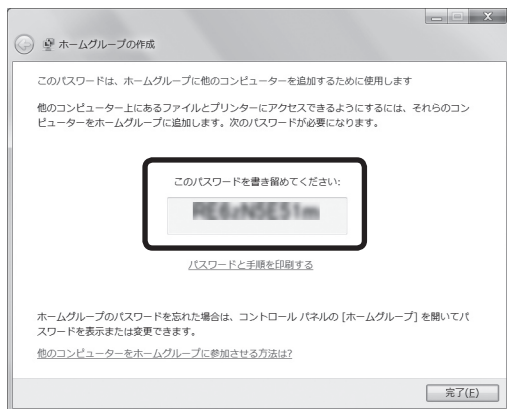
1 **PCリモーターサーバで、「スタート」-「コントロールパネル」-「ホームグループと共有に関するオプションの選択」をクリックする**

PCリモーターサーバのホームグループへの参加状態が表示されます。

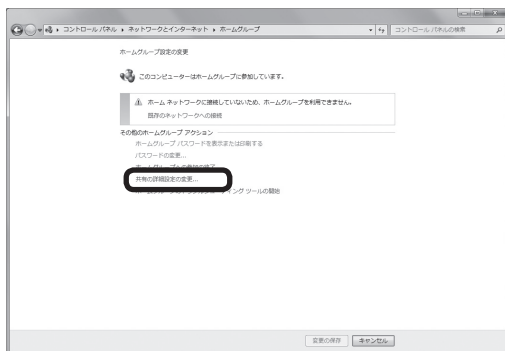
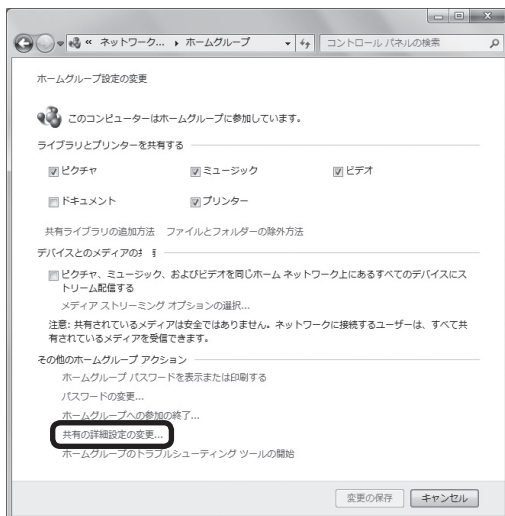
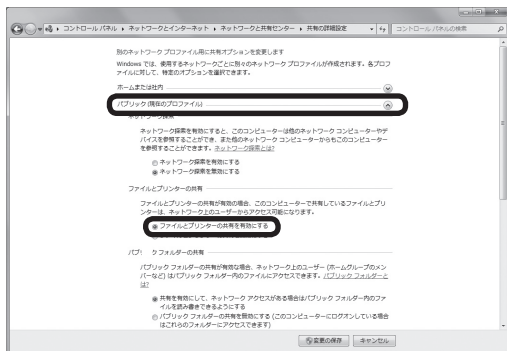
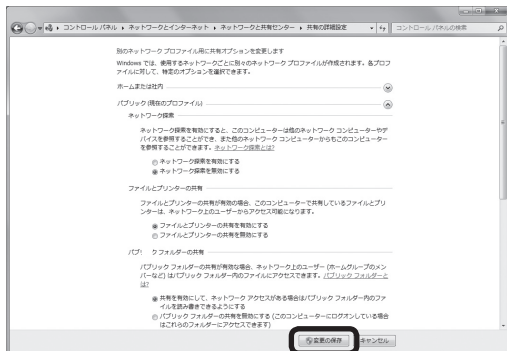
2 「現在、ネットワーク上にホームグループはありません。」と表示された場合、「ホームグループの作成」をクリックする

「このコンピューターはホームグループに参加しています。」と表示された場合、手順7(p.110)に進んでください。

3 [ホームグループの作成]画面が表示されたら、共有する項目を選択して、「次へ」をクリックする

ここで選んだ項目(フォルダやデバイス)がPCリモーターから参照可能になります。

4 ホームグループのパスワードが表示されたら、書き留める

パスワードは、自動生成されます。後でホームグループに参加するときに使用します。

5 「完了」をクリックする

6 「スタート」-「コントロールパネル」-「ホームグループと共有に関するオプションの選択」をクリックする

7 「共有の詳細設定の変更」をクリックする

上記の画面が表示されず次の画面が表示された場合も、「共有の詳細設定の変更」をクリックしてください。

8 「パブリック」を開き、「ファイルとプリンターの共有を有効にする」を◉にする

9 「変更の保存」をクリックする

10 「キャンセル」をクリックする

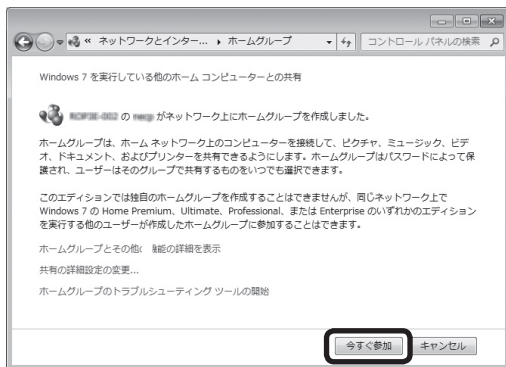
「ホームグループ設定の変更」を終了します。

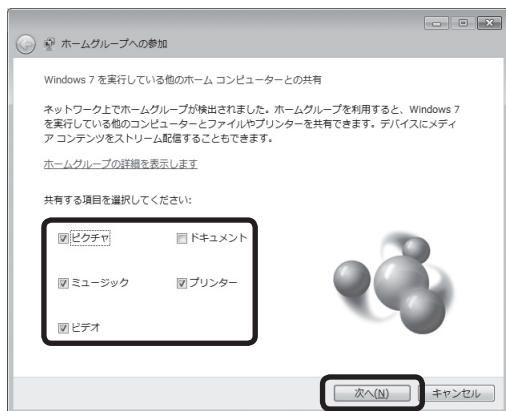
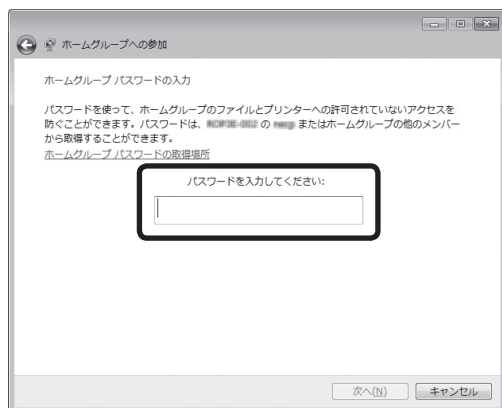
これでホームグループの設定は完了です。次の「ホームグループへの参加(PCリモーター側)」に進んでください。

ホームグループへの参加(PCリモーター側)

ここでは、PCリモーターサーバ(Windows 7)で作成したホームグループへ参加する手順を説明します。

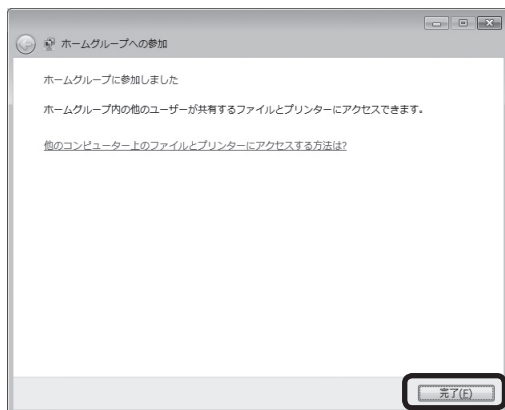
1 PCリモーターで、「スタート」-「コントロールパネル」-「ホームグループと共有に関するオプションの選択」をクリックする

2 次のような画面が表示されたら、「今すぐ参加」をクリックする

「今すぐ参加」ボタンがアクティブになっていない場合は、「ホームグループのトラブルシューティングツールの開始」をクリックしてください。

3 [ホームグループへの参加]画面が表示されたら、共有する項目を選択して、「次へ」をクリックする

4 「パスワードを入力してください」と表示されたら、「ホームグループの作成(PCリモーターサーバ側)」の手順4(p.109)で書き留めたホームグループのパスワードを入力して、「次へ」をクリックする

設定されているホームグループのパスワードは、次の手順で確認できます。

1 ホームグループにすでに参加しているパソコンで、「スタート」-「コントロールパネル」-「ホームグループと共有に関するオプションの選択」をクリックする

2 「その他のホームグループ アクション」の項目にある「ホームグループ パスワードを表示するまたは印刷する」をクリックする

5 「ホームグループに参加しました」と表示されたら、「完了」をクリックする

これで、PCリモーターサーバ(Windows 7)とPCリモーター(本機)との間で共有フォルダを使う準備ができました。つづけて、「共有フォルダを使う」(p.123)に進んでください。

PCリモーターサーバがWindows 7以外の場合

- PCリモーターサーバ(OSがWindows Vista/XP)とPCリモーター（本機)とで、すでに共有フォルダの設定がされている場合は、次の手順は不要です。「共有フォルダを使う」(p.123)に進んでください。
- PCリモーターサーバのOSがWindows 7の場合、「PCリモーターサーバがWindows 7の場合」(p.107)をご覧ください。

PCリモーターサーバ(Windows Vista/Windows XP)とPCリモーター(本機)との間で、これからフォルダ共有の設定をする場合、次の説明をお読みください。

先に、PCリモーターサーバ(Windows Vista/Windows XP)でフォルダ共有の設定をして(p.115/p.117)、その後で、PCリモーター側で共有の設定をおこないます(p.122)。

PCリモーターサーバ(Windows Vista/Windows XP)の準備

データのやりとりをするために、PCリモーターサーバで共有の設定をします。

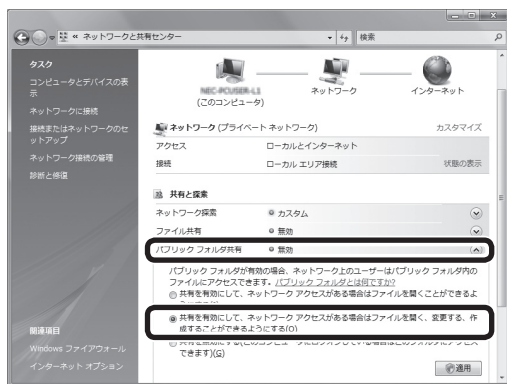
PCリモーターサーバのOSがWindows Vistaの場合

ここでは、パブリックフォルダを共有する場合を例に説明しています。

手順の途中で[ユーザー アカウント制御]画面が表示されたら、画面の表示をご覧になり操作してください。

1 「スタート」-「コントロールパネル」-「ファイルの共有の設定」をクリックする

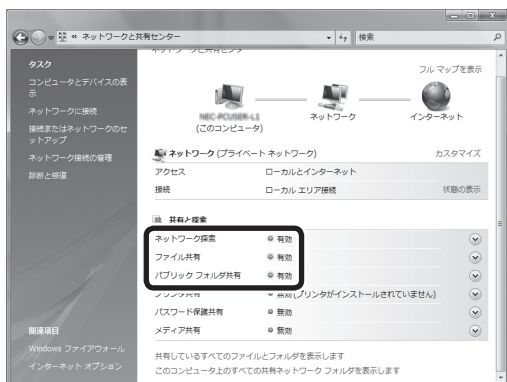
「ネットワークと共有センター」が表示されます。

2 「パブリック フォルダ共有」のをクリックし、表示されたメニューで「共有を有効にして、ネットワーク アクセスがある場合はファイルを開く、変更する、作成することができるようにする」を選択する

3 「適用」をクリックする

「すべてのパブリック ネットワークにファイル共有を有効にしますか？」と表示されます。表示されなかった場合は、そのまま手順5へ進んでください。

4 「はい、すべてのパブリック ネットワークにネットワークの探索とファイル共有を有効にします」をクリックする

5 「ネットワークと共有センター」で、次の項目が「有効」になっていることを確認する

・ネットワーク探索
・ファイル共有
・パブリック フォルダ共有

6 をクリックする

「ネットワークと共有センター」が閉じます。

これで、PCリモーターサーバの準備は完了です。つづけて、「PCリモーターの準備」(p.122)に進んでください。

チェック

- お使いのセキュリティソフトによっては、「ファイル共有」を別途、許可する必要がある場合があります。
- この設定をすると、PCリモーターサーバをパブリック ネットワークに接続した際に、PCリモーターサーバの名前とファイル共有の情報が、そのパブリック ネットワークに接続しているほかの機器からも見えるようになります。

  必ず、「パスワード保護共有」もセットで有効にするなどして、ほかの人からは共有ファイルにアクセスできないように設定してください。
- 手順4で「いいえ、接続しているネットワークをプライベート ネットワークにします」を選択すると、パブリック ネットワークに接続しているほかの機器からファイル共有の情報を見られることはなくなりますが、その代わりにセーフコネクト接続のたびにこの設定をやりなおす必要があります。

PCリモーターサーバのOSがWindows XPの場合

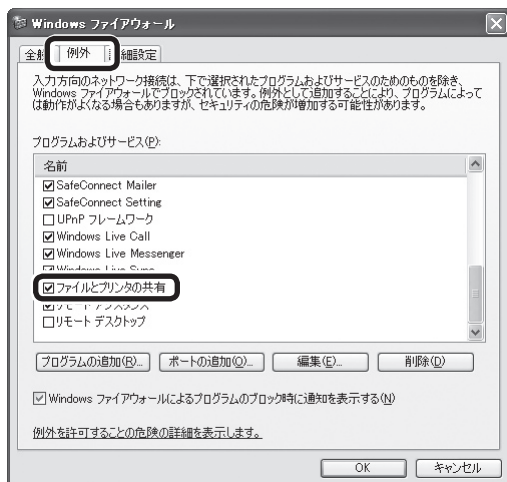
ここではフォルダの共有設定をして共有する場合を例に説明しています。

●共有の準備をする

1 「スタート」-「コントロールパネル」-「セキュリティ センター」をダブルクリックする

「Windows セキュリティ センター」が表示されます。

2 「Windowsファイアウォール」をクリックする

3 「例外」タブをクリックし、表示された画面で「ファイルとプリンタの共有」を☑にする

4 「OK」をクリックする

「Windows ファイアウォール」が閉じます。

●フォルダの共有(PCリモーターサーバのOSがWindows XP Professionalの場合)

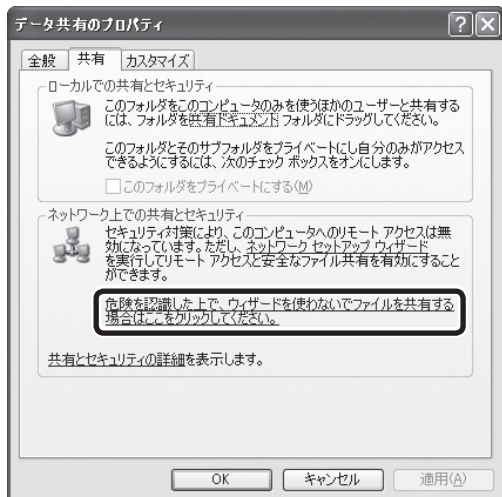
ここでは、例としてDドライブに「データ共有」フォルダを作成して共有する方法を説明します。

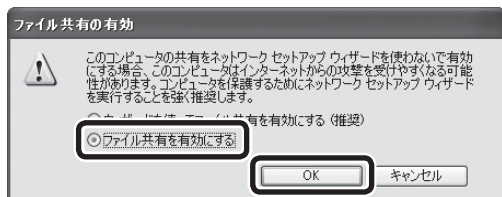
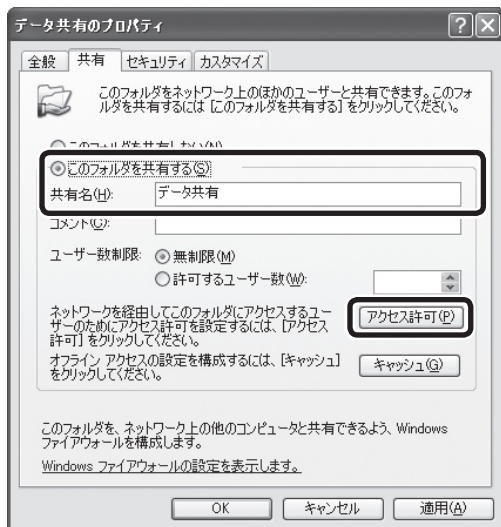
PCリモーターサーバのOSがWindows XP Home Editionの場合、p.120をご覧ください。

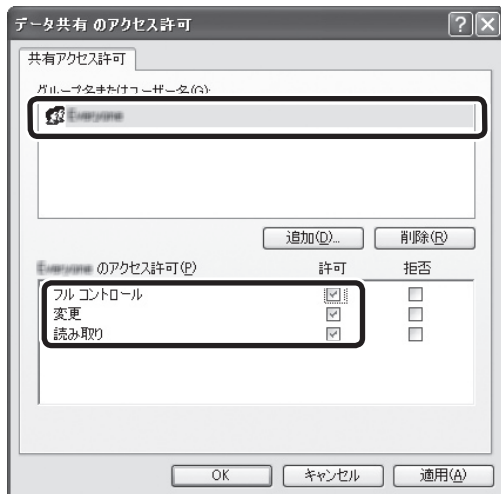
1 任意の場所に共有するフォルダを作成する

すでにあるフォルダを共有することもできます。

2 共有するフォルダを右クリックして、「共有とセキュリティ」をクリックする

3 「ネットワーク上での共有とセキュリティ」の「危険を認識した上で、ウィザードを使わないでファイルを共有する場合はここをクリックしてください。」をクリックする

手順3の画面が表示されなかった場合は、手順5に進んでください。

4 「ファイル共有を有効にする」を◉にして、「OK」をクリックする

5 「このフォルダを共有する」を◉にし、「共有名」に任意の名前を入力して、「アクセス許可」をクリックする

6 PCリモーターから接続するときに使うユーザー、または、そのユーザーが含まれるグループを選んで、「フル コントロール」を「許可」にする

「フル コントロール」を「許可」にすると、「変更」「読み取り」も自動的に「許可」になります。

7 「OK」をクリックする

これで、フォルダが共有されます。

お使いのセキュリティソフトによっては、「ファイル共有」を別途、許可する必要がある場合があります。

●フォルダの共有(PCリモーターサーバのOSがWindows XP Home Editionの場合)

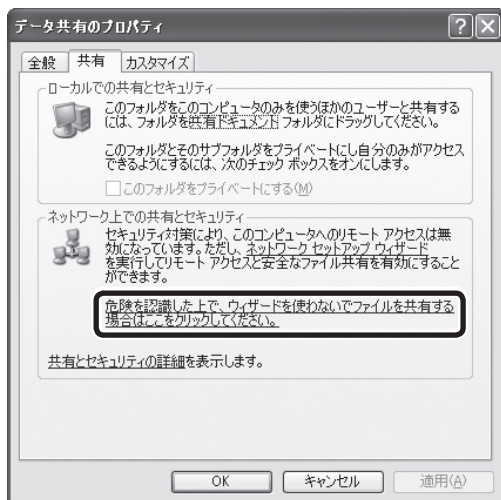
ここでは、例としてDドライブに「データ共有」フォルダを作成して共有する方法を説明します。

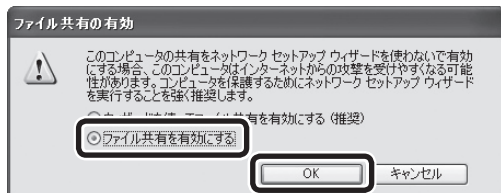
PCリモーターサーバのOSがWindows XP Professionalの場合、p.117をご覧ください。

1 任意の場所に共有するフォルダを作成する

すでにあるフォルダを共有することもできます。

2 共有するフォルダを右クリックして、「共有とセキュリティ」をクリックする

3 「ネットワーク上での共有とセキュリティ」の「危険を認識した上で、ウィザードを使わないでファイルを共有する場合はここをクリックしてください。」をクリックする

手順3の画面が表示されなかった場合は、手順5に進んでください。

4 「ファイル共有を有効にする」を◉にして、「OK」をクリックする

5 「ネットワーク上でこのフォルダを共有する」と「ネットワーク ユーザーによるファイルの変更を許可する」の両方を☑にし、「共有名」に任意の名前を入力する

6 「OK」をクリックする

これで、フォルダが共有されます。

- お使いのセキュリティソフトによっては、「ファイル共有」を別途、許可する必要がある場合があります。
- この設定をすると、PCリモーターサーバをパブリック ネットワークに接続した際に、PCリモーターサーバの名前とファイル共有の情報が、そのパブリック ネットワークに接続しているほかの機器からも見えるようになります。そのため、PCリモーターサーバは、パブリック ネットワークに接続しないことをおすすめします。

これで、PCリモーターサーバの準備は完了です。つづけて、次の「PCリモーターの準備」に進んでください。

PCリモーターの準備

PCリモーターサーバ(Windows Vista/Windows XP)の準備が終わったら、PCリモーター（本機)の準備をおこないます。この手順では、ホームグループを使用せずにファイル共有の設定をおこないます。

1 **「スタート」-「コントロールパネル」-「ホームグループと共有に関するオプションの選択」をクリックする**

ホームグループの概要が表示されます。

2 **「共有の詳細設定の変更」をクリックする**

3 **「ネットワーク探索を有効にする」と「ファイルとプリンターの共有を有効にする」を選択し、「変更の保存」をクリックする**

4 **「OK」をクリックする**

ホームグループの概要が閉じます。

5 **「OK」をクリックする**

画面が閉じます。

この設定をすると、PCリモーターを公衆無線LANなどのパブリック ネットワークに接続した際に、PCリモーターサーバの名前とファイル共有の情報が、そのパブリック ネットワークに接続している他の機器からも見えるようになります。そのため、PCリモーター(本機)側の共有フォルダにファイルを作成しないことをおすすめします。

これで、PCリモーターの準備は完了です。

共有フォルダを使う

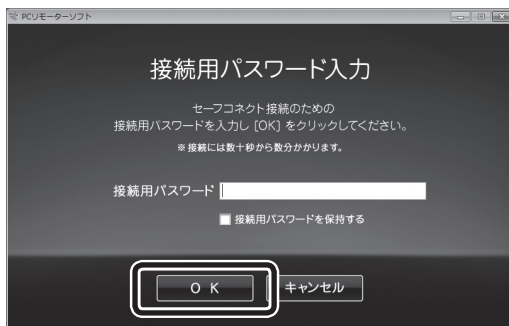
PCリモーターとPCリモーターサーバを接続して、ファイルやフォルダを共有する方法について説明します。

共有フォルダを開く

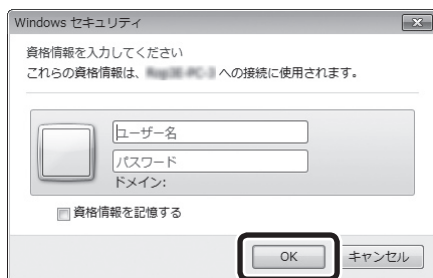
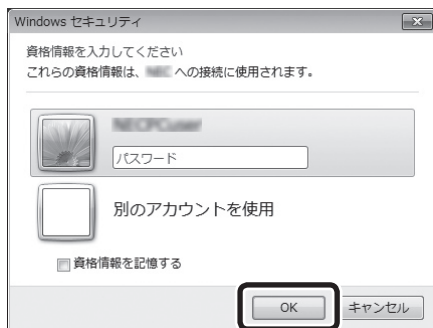
1 PCリモーターソフトを起動する

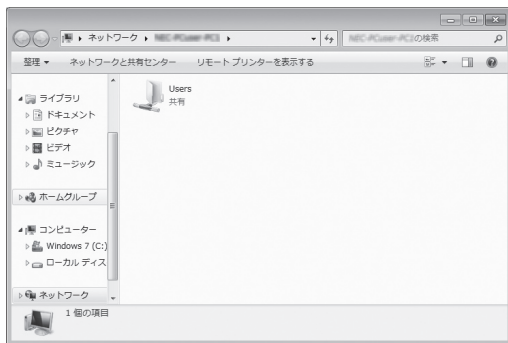
2 「共有フォルダ」をクリックする

「確認」が表示されたら、「OK」をクリックします。[接続用パスワード入力] 画面が表示されます。

3 接続用パスワードを入力し、「OK」をクリックする

すでにPCリモーターサーバに接続している場合は、この画面は表示されません。

4 [Windows セキュリティ]画面が表示された場合、PCリモーターサーバのWindowsのユーザー名、パスワードを入力し、「OK」をクリックする

次の画面が表示された場合、PCリモーターサーバ側に登録したWindowsのユーザー名、パスワードを入力してください。

次の画面が表示された場合、PCリモーターサーバ側に登録したWindowsのパスワードを入力してください。

[Windows セキュリティ]画面のユーザー名に、通信しているネットワークアダプタのIDなどが自動入力されている場合は、「別のアカウントを使用」をクリックし、PCリモーターサーバのユーザー名、パスワードを入力してください。

PCリモーターへの接続とフォルダ共有の準備が終わると、PCリモーターサーバで共有の設定をしたフォルダが表示されます。

- ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示された場合は、PCリモーターサーバ側に登録したユーザーアカウント名とパスワード(「セーフコネクト接続設定(サーバPC側)」の手順3(p.38)で使用した「自動ログオンユーザ名」と「ユーザアカウントのパスワード」など)を入力してください。
- PCリモーターサーバのOSがWindows XP Professionalのとき、ファイル共有の接続時にGuestアカウントによる認証の画面が表示されることがあります。
  その場合は、PCリモーターサーバで次の手順をおこなってください。

  1 「スタート」-「マイコンピュータ」をクリックする

  2 「ツール」-「フォルダ オプション」をクリックする

  3 「表示」タブをクリックし、詳細設定の「簡易ファイルの共有を使用する」を☐にする

  4 「OK」をクリックする

ファイルを共有する

「共有フォルダを開く」の手順で開いたPCリモーターサーバのフォルダは、通常のエクスプローラーと同じようにフォルダやファイルのコピーなどの操作ができます。

PCリモーターとPCリモーターサーバでは、パソコンの性能や、インストールされているソフトに違いがあります。

そのため、PCリモーターサーバからコピーしたファイルがすべてPCリモーターで使用できるわけではありません。

PCリモーターサーバのファイルをPCリモーターにコピーする

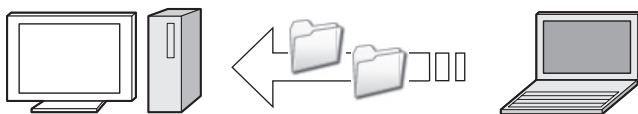
インターネットが使えるときに、PCリモーターにファイルをコピーしておけば、インターネットが使えないところに移動しても、ファイルを扱うことができます。

PCリモーターからPCリモーターサーバ(Windows 7)にアクセスしたときに、特定のフォルダだけを見えないようにすることができます。その場合、次の設定をおこなってください。

1 PCリモーターサーバで、エクスプローラーを開き、フォルダを選択して右クリックする

2 表示されたメニューから「共有」を選択し、「なし」をクリックする

PCリモーターのファイルをPCリモーターサーバにコピーする

インターネットが使えないときに作成したファイルをPCリモーターサーバに戻すことができます。また、外出先で撮った写真を自宅に送ったりできます。

共有フォルダの終了

PCリモーターとPCリモーターサーバのフォルダやファイルの共有が終わったら、フォルダ右上のをクリックして共有フォルダを終了してください。この状態では、まだセーフコネクトの接続は維持されています。

サーバを切断する

ホームメニューの「サーバ切断」をクリックすると、セーフコネクト接続（PCリモーターサーバとの通信）が切断されます。

メモ

「サーバ接続中」の状態で、「リモートスクリーン接続」、「リモートデスクトップ接続」、「ファイル共有」を実行すると、短時間で接続できます。機能を切り換えて使用する場合などに便利です。

共有フォルダを使うための注意事項

- 共有フォルダにフォルダやファイルなどを作成した場合、すぐに表示されないことがあります。その場合は、しばらくたってから、をクリックしてください。
- 複数のPCリモーターサーバが同一ネットワーク内に設置されていると、宅外のネットワーク環境によっては、PCリモーターから接続できない場合があります。
- 初期設定後にPCリモーター（本機）のコンピューター名を変更した場合、PART8の「「PCリモーター初期設定」をやりなおす」(p.152)をご覧になり、初期設定をやりなおしてください。
- 初期設定後にPCリモーターサーバの次のいずれかを変更した場合、PART8の「サーバの追加/変更をおこなう」(p.145)をご覧になり、サーバの追加/変更をおこなってください。
    - コンピューター名
    - ユーザーアカウント名
    - ユーザーアカウントのパスワード

PART

7

手動接続を使う

このPARTでは、PCリモーターサーバや接続方式を手動で選択して接続する方法について説明しています。

手動接続について

ホームメニューの「手動接続」をクリックすると、リモートスクリーン接続／リモートデスクトップ接続やPCリモーターサーバを選択することができます。
手動接続は、ネットワークの状況などによって、リモートスクリーン接続とリモートデスクトップ接続を切り換えたり、使用するネットワークを変更したりする場合に便利です。

参照

リモートデスクトップ接続を使用する場合に必要なPCリモーターサーバのOSと設定、およびPCリモーターでの設定について→PART5の「リモートデスクトップを使うためには」(p.92)、「リモートデスクトップを使う」(p.93)

手動接続を使う

手動接続は次の手順でおこなってください。
1台のPCリモーターサーバに同時に2台以上のPCリモーターを接続することはできません。また、PCリモーターサーバに他のパソコンからセーフコネクト機能を使って接続されている間は、宅外からPCリモーターサーバに接続できません。

- 以下の手順をおこなう前に、インターネットに接続できる状態になっているか確認してください。
- 複数のネットワークアダプタが接続状態(IPアドレスが割り当てられている)である場合、使用しないネットワークアダプタをネットワークから切断してください。

  例) 有線LANで使用する場合

  - 外付けされているネットワークアダプタをパソコン(本機)から取り外す
  - 無線LANの電源をオフにする

1 ホームメニューで「手動接続」をクリックする

2 PCリモーターサーバが複数登録されている場合、サーバ選択のダイアログが表示されるので、接続するPCリモーターサーバを選択する

3 次のような[確認]画面が表示されたら、接続方式を選択する

この画面は、「設定」-「リモートデスクトップ設定」で「使用しない」を◉にしている場合、表示されません。

以降の手順については、「PART4 リモートスクリーンを使う」(p.61)または「PART5 リモートデスクトップを使う」(p.91)をご覧ください。

手動接続を使うための注意事項

リモートスクリーンをご使用の場合、PART4の「リモートスクリーンを使うときの注意事項」(p.86)をご参照ください。
リモートデスクトップをご使用の場合、PART5の「リモートデスクトップを使うときの注意事項」(p.103)をご参照ください。

PART

8

設定する

このPARTでは、PCリモーターの設定を変更する方法について説明しています。

設定を変更する

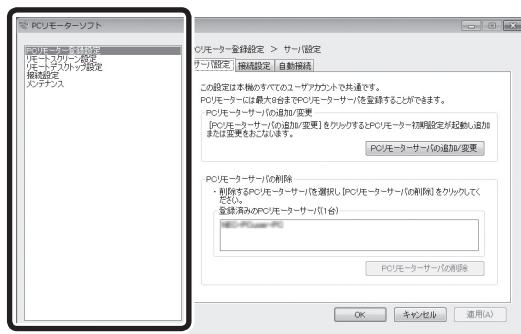
「PCリモーター初期設定」で設定した内容を含め、本機や接続するPCリモーターサーバの設定などを変更することができます。PCリモーターサーバの設定の変更は「PCリモーターサーバ設定」からおこないます。

本機の設定を変更する

本機の設定を変更するには「設定」からおこないます。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「PCリモーターソフト」-「PCリモーターソフト」をクリックする

2 「設定」をクリックする

「設定」メニューが表示されます。

3 設定が終了したら「OK」をクリックする

設定できる項目

■ PCリモーター登録設定

サーバ設定※1	PCリモーターサーバの追加/変更		初期設定のウィザードを起動します。すでに別のPCリモーターサーバがPCリモーターに設定されている場合、2台目以降のPCリモーターサーバを登録するときに使用します。同時に複数のPCリモーターサーバに接続することはできません。 メモ PCリモーターに登録可能なサーバPCは最大8台です。
	PCリモーターサーバの削除		PCリモーターサーバを選択して削除します。
接続設定※1	PCリモーターサーバのコンピュータ名		PCリモーターサーバのコンピュータ名が表示されています。複数台登録しているときは、PCリモーターサーバを選択できます。
		接続用パスワード変更	セーフコネクトの接続用パスワードを変更します。 メモ パスワードの変更は、PCリモーターサーバと本機とが同一ルータでネットワークにつながっている場合のみ可能です。
	メール設定		メールの設定をします。
		メールアドレス	セーフコネクト接続に使用するメールアドレスを設定します。
		SMTPサーバ	SMTPサーバのIPアドレスまたはホスト名を設定します。
		ポート番号	SMTPサーバのポート番号を設定します。
		POPサーバ	POPサーバのIPアドレスまたはホスト名を設定します。
		ポート番号	POPサーバのポート番号を設定します。
		POPアカウント	POPサーバにアクセスするアカウント名を設定します。
		POPパスワード	POPサーバにアクセスするアカウント名のパスワードを設定します。
		メール詳細設定	メール送信時に認証機能を使用したり、APOPでメール受信をする場合は「メール詳細設定」をクリックして設定してください。宅外から接続するときに使用するISPと、SMTPサーバを提供しているISPが異なる場合は、一般的にSMTP認証(SMTPAuth)を使用しないとメール送信ができません。

自動接続	ログオン時のPCリモーターソフト起動		ログオン時にPCリモーターソフトを起動するかどうかを設定します。初期状態では、「自動起動しない」が選択されています。
		ログオン時のセーフコネクト接続	ログオン時にセーフコネクト接続をおこなうかどうかを設定します。
		ログオン時のリモートスクリーン接続	ログオン時にPCリモートスクリーン接続をおこなうかどうかを設定します。
	自動接続時の接続先		自動接続するPCリモーターサーバを指定します。

※1: PCリモーターサーバ接続中には設定できません。
ホームメニューでサーバ切断をしてから設定してください。

■ リモートスクリーン設定

リモートスクリーン設定	ツールバーの表示時間		ツールバーを自動的に隠すまでの表示時間を設定できます。設定できる表示時間は、0.5秒/1秒/2秒/3秒/5秒です。
	画質/動き設定		リモートスクリーン接続時のPCリモーターの画質を設定します。
	部分表示時の移動量		部分表示で、ウィンドウの端にマウスポインタを置いたときの画面の移動量を設定できます。
	Movieモード時のバッファサイズ		Movieモード時のバッファのサイズを設定します。
	マイク	マイク入力設定	チェックを入れると、入力デバイスが選択できます。マイク入力を使用する場合は、チェックを入れ、ボリュームを設定します。
ターゲットポインタ設定	ターゲットポインタを使用する		ターゲットポインタを使用する場合、チェックを入れ、次の項目を設定します。
		形状	ターゲットポインタの形状を3つの中から選択します。
		大きさ	ターゲットポインタの大きさを3つの中から選択します。
		色	ターゲットポインタの色を5色の中から選択します。
ショートカットキー設定	ショートカットキーの設定		ショートカットキーの設定がおこなえます。各ショートカットについて詳しくは、付録の「キー操作一覧」(p.169)をご覧ください。

■ リモートデスクトップ設定

リモートデスクトップ設定	リモートデスクトップ設定	リモートデスクトップを使用するかどうかを選びます。「使用する」を選ぶと、PCリモーターホームメニューに「リモートデスクトップ接続」ボタンが表示されます。

■ 接続設定

項目	設定項目		説明
ネットワークアダプタ設定	ネットワークアダプタ		通信可能なネットワークアダプタの一覧が表示されます。
	詳細設定	ネットワークアダプタ名	選択したネットワークアダプタ名が表示されます。
		回線速度	ネットワークアダプタごとにリモートスクリーン接続時の回線速度を設定できます。
	削除		不要なネットワークアダプタを選択してボタンをクリックすると、一覧から削除できます。なお、削除したネットワークアダプタは、通信可能な状態になると一覧に追加されます。
接続設定	プロキシサーバ		プロキシサーバを使用するか選択します。次の項目を設定する場合は、「使用する」を選択してください。初期状態では「自動検出する（推奨）」が選択されています。
		アドレス	プロキシサーバのIPアドレスまたはホスト名を設定します。
		ポート番号	プロキシサーバのポート番号を設定します。
	通知音		サーバ接続時に通知音を鳴らす場合、チェックを入れます。
		サーバ接続時に通知音を鳴らす	

■ メンテナンス

項目	設定項目	説明
PCリモーター ※1	PCリモーター初期設定	初期設定のウィザードをやりなおし、新規にPCリモーターサーバを登録します。 PCリモーター初期設定を起動すると、登録されているPCリモーターサーバはすべて削除されます。
PCリモーターサーバ	再起動するPCリモーターサーバ	再起動するPCリモーターサーバを選択できます。
	リモート再起動	PCリモーターサーバを再起動します。PCリモーターサーバを使用中のユーザーが再起動を拒否した場合は、再起動されません。
バージョン情報	PCリモーターソフトバージョン	バージョン情報が表示されます。
	著作権	著作権情報が表示されます。

※1：PCリモーターサーバ接続中には設定できません。ホームメニューでサーバ切断してから設定してください。

PCリモーターサーバの設定を変更する

PCリモーターサーバの設定を変更するには、PCリモーターサーバで「PCリモーターサーバ設定」を起動しておこないます。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「PCリモーター」-「PCリモーターサーバ設定」をクリックする

[ユーザー アカウント制御]画面が表示された場合は、「はい」(Windows 7の場合)、「続行」(Windows Vistaの場合)をクリックしてください。

- PCリモーターサーバの解像度設定が「横:1024」または「縦:768」より小さい場合、PCリモーターサーバ設定は起動できません。設定をおこなうときは、解像度を「横:1024、縦:768」より大きく設定してください。
- PCリモーターを1台も登録していない場合、「PCリモーターサーバ設定」には「システム設定」と「メンテナンス」の2項目しか表示されません。

チェック

- 必ず管理者権限のあるユーザーでログオンしてから「PCリモーターサーバ設定」を起動してください。
- PCリモーターが接続されている状態で、PCリモーターサーバにインストールされている「PCリモーターサーバ設定」を起動しないでください。接続されている場合は、PCリモーターで「サーバ切断」をおこなってから、PCリモーターサーバで「PCリモーターサーバ設定」を起動してください。

設定できる項目

■ ネットワーク設定

ネットワーク設定	変更		「コントロールパネル」のネットワーク設定を呼び出します。
	高度な設定		ネットワークの高度な設定をします。
		プロキシサーバ	プロキシサーバを利用するか選択します。「使用する」を選択した場合、アドレスとポートを入力する必要があります。初期状態では「自動検出する(推奨)」が選択されています。
		サーバIPアドレス設定 (WAN側グローバルIPアドレス)	サーバ側IPアドレスの設定方法を選択できます。「手動設定」を選択した場合、「ポート設定」は「手動設定」しか選択できなくなります。また、「リモートパワーオン機能」が動作しなくなります。設定を変更した場合は、PCリモーター初期設定をもう一度おこなってください。初期状態では、「自動設定(推奨)」が選択されています。
		ポート設定	セーフコネクト通信とリモートスクリーンのポートを自動(推奨)または手動で設定します。「手動設定」を選択した場合、ルータのポートフォワード(ポートマッピング)設定の変更が必要です。
		セーフコネクト接続処理の高速化	チェックを入れると、セーフコネクトで使用するポート番号宛の通信を常にPCリモーターサーバへ転送することで、セーフコネクト接続を高速化します。初期状態では、チェックが入り有効になっています。

■ PCリモーター登録設定

メール設定	メールアドレス	セーフコネクト接続に使用するメールアドレスを設定します。(最大320文字)
	SMTPサーバ	SMTPサーバのIPアドレスまたはホスト名を設定します。(最大255文字)
	ポート番号	SMTPサーバのポート番号を設定します。
	POPサーバ	POPサーバのIPアドレスまたはホスト名を設定します。(最大255文字)
	ポート番号	POPサーバのポート番号を設定します。
	POPアカウント	POPサーバにアクセスするアカウント名を設定します。(最大40文字)
	POPパスワード	POPサーバにアクセスするアカウント名のパスワードを設定します。(最大40文字)
	メール送信時に認証機能を使用する	メール送信時に認証機能を使用する場合はチェックを入れます。 宅外から接続するときに使用するISPと、SMTPサーバを提供しているISPが異なる場合は、一般的にSMTP認証(SMTP Auth)を使用しないとメール送信ができません。
	SMTP認証を使用する	SMTP認証(SMTP Auth)をおこなう場合はチェックを入れます。
	SMTP認証アカウント	SMTP認証(SMTP Auth)のアカウント名を設定します。(最大320文字)
	SMTP認証パスワード	SMTP認証(SMTP Auth)で使用するパスワードを設定します。(最大40文字)
	POP before SMTPを使用する	POP before SMTP認証をおこなう場合はチェックを入れます。
	APOPを使用する	APOP認証をおこなう場合はチェックを入れます。
	メール送受信テスト	メールの送受信テストをおこないます。
	Outlook 2007のメール設定の取り込み	Outlook 2007のメールの設定を取り込むときクリックします。 「POPパスワード」および「SMTP認証パスワード」は取り込むことができません。
	Windows Live メールのメール設定の取り込み(Windows 7の場合)	Windows Liveメールのメールの設定を取り込むときクリックします。 「POPパスワード」および「SMTP認証パスワード」は取り込むことができません。
	Windowsメールのメール設定の取り込み(Windows Vistaの場合)	Windowsメールのメールの設定を取り込むときクリックします。 「POPパスワード」および「SMTP認証パスワード」は取り込むことができません。
	Outlook Expressのメール設定の取り込み(Windows XPの場合)	Outlook Expressのメールの設定を取り込むときクリックします。 「POPパスワード」および「SMTP認証パスワード」は取り込むことができません。
PCリモーター登録設定		PCリモーターとの接続状態を表示します。 最終接続日時には、最後に宅外から接続した日時が表示されます。 セーフコネクトの接続用パスワードを設定したり、登録済みのPCリモーターの登録を解除したりできます。PCリモーターサーバでパスワードを変更したときは、「セーフコネクト接続」でパスワードを入力するときに「接続用パスワード変更後、初めて接続する」を☑にしてください。

PCリモーターサーバボード設定	PCリモーターサーバボードのIPアドレスなどを表示します。 DHCP有効のチェックを外すと、IPアドレスなどを手動で設定できます。

■ リモートスクリーン設定

接続許可確認	PCリモーターからリモートスクリーン接続したときに、接続要求の画面を表示するか設定します。「接続要求許可ダイアログを表示する」のチェックを外すと、接続要求許可ダイアログが表示されません。
サービス	PCリモーターサーバを起動したときに「リモートスクリーン」のサービスを自動起動するかを設定します。サービスを起動/停止する場合は「起動」または「停止」をクリックします。

■ リモートデスクトップ設定

リモートデスクトップ設定	PCリモーターサーバのOSが次のいずれかの場合のみ表示されます。 ・Windows 7 Ultimate ・Windows 7 Professional ・Windows Vista Ultimate ・Windows Vista Business ・Windows XP Professional リモートデスクトップによる接続をおこなう場合、「リモートデスクトップ設定」をクリックします。システムのプロパティ画面が表示されるので、リモートデスクトップの接続を許可する設定と接続できるユーザーの登録をおこないます。

■ ファイル転送設定

サービス	PCリモーターサーバを起動したときに「ファイル転送」のサービスを自動起動するかを設定します。サービスを起動/停止する場合は「起動」または「停止」をクリックします。

■ 接続設定

自動ログオン	自動ログオンユーザ	自動ログオンするユーザを設定します（管理者権限のあるユーザを設定してください）。
	パスワード	自動ログオンユーザのパスワードを設定します。 メモ パスワードの設定が正しくないと設定を終了できません。
	自動ログオンテスト	「テスト」をクリックして、自動ログオンの設定を確認します。
	自動ログオンテスト結果	自動ログオンテストの結果を表示します。

■ システム設定

パワーマネジメント		「パワーマネジメント設定」をクリックすると、「コントロールパネル」の「電源オプション」が呼び出されます。
バージョン情報	バージョン情報	「PCリモーターサーバソフト」、「PCリモーター初期設定」、「PCリモーター設定」、「セーフコネクト」のバージョン情報が表示されます。
	Copyright	本機の著作権情報が表示されます。

■ メンテナンス

PCリモーター初期設定	「開始」をクリックすると初期設定のウィザードを起動します。すでに別のPCリモーターがPCリモーターサーバに設定されている場合、2台目以降のPCリモーターを登録するときに使用します。 複数台同時にPCリモーターサーバに接続することはできません。 メモ PCリモーターサーバに登録が可能なPCリモーターは8台です。

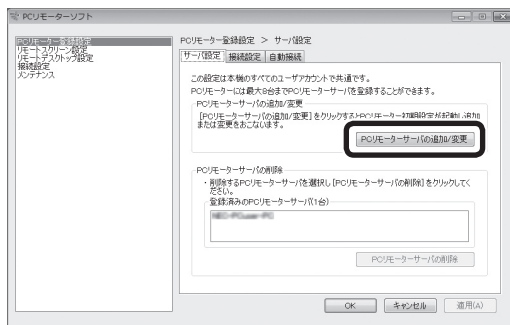
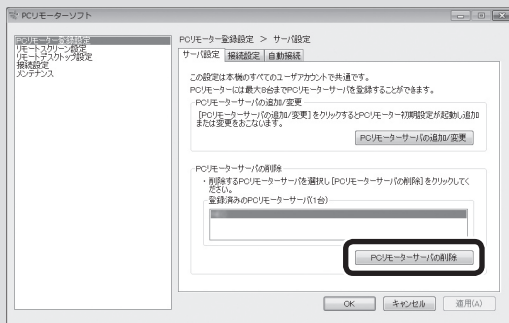
サーバの追加/変更をおこなう

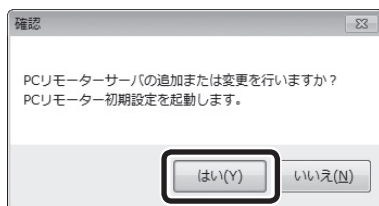
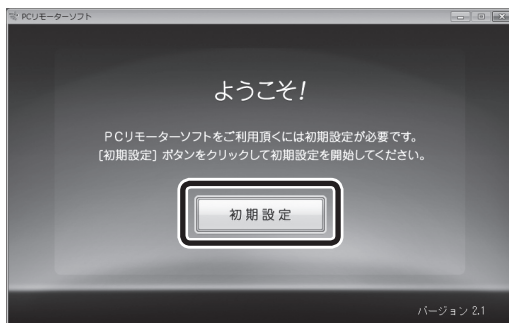
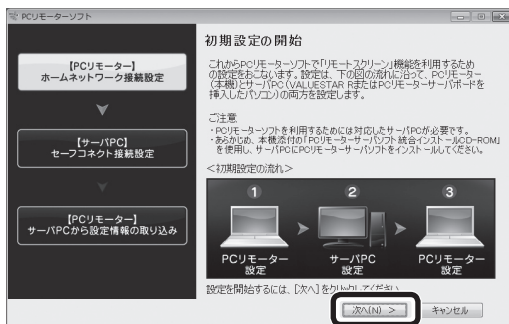
PCリモーターは最大8台までのPCリモーターサーバを登録できます。
複数のPCリモーターサーバを登録したり、登録したPCリモーターサーバを変更したりする場合、次の手順でおこなってください。

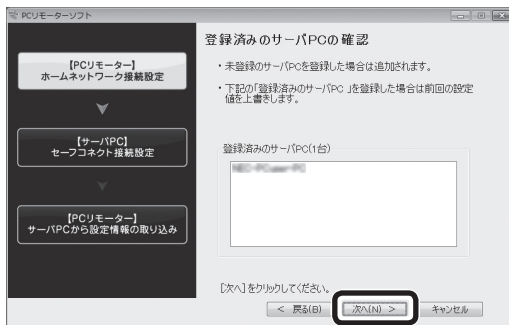
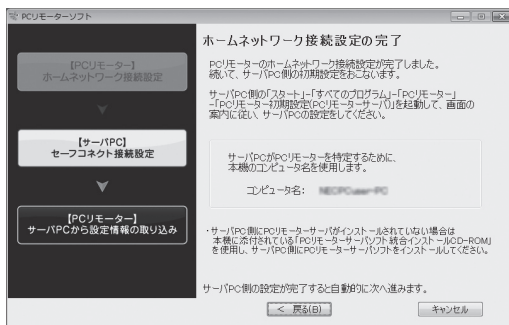
- セーフコネクト接続中はサーバを追加/変更できません。その場合、いったんサーバを切断してください。
- 「PART1　ご使用前の準備」(p.1)をご覧になり、PCリモーターサーバを準備しておいてください。
- 追加/変更するサーバと本機とを同じルータにつないでください。

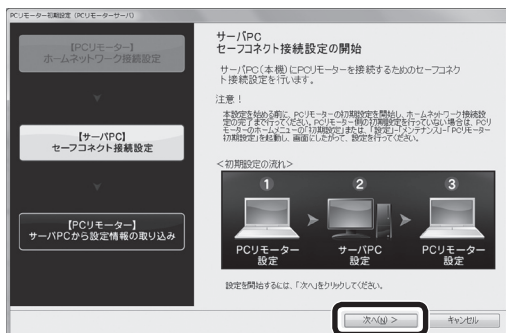
1 PCリモーター(本機)のホームメニューで「設定」をクリックする

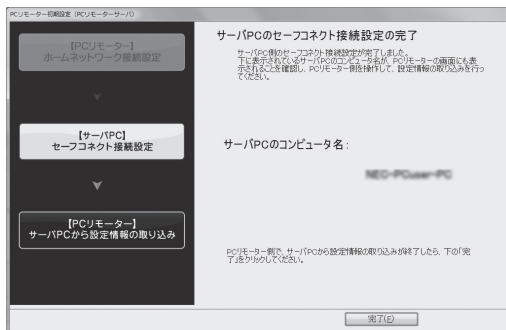
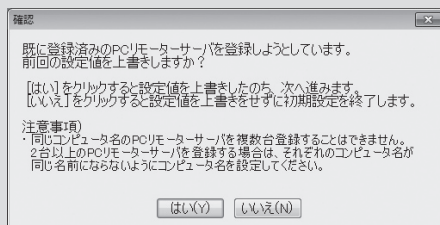
2 「PCリモーター登録設定」-「サーバ設定」をクリックする

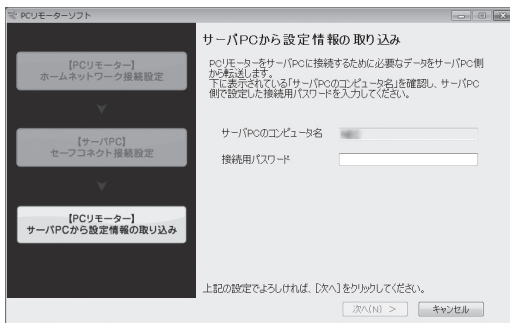
3 「PCリモーターサーバの追加/変更」をクリックする

サーバPCが8台登録されていると、サーバPCを追加できません。その場合は、追加をおこなう前に、登録済みのPCリモーターサーバを選択し「PCリモーターサーバの削除」をクリックして、PCリモーターサーバを削除してください。

4 「PCリモーターサーバの追加または変更を行いますか？　PCリモーター初期設定を起動します。」と表示されたら、「はい」をクリックする

初期設定について→「PART2 初期設定」(p.31)

5 「初期設定」をクリックする

6 「次へ」をクリックする

7 「次へ」をクリックする

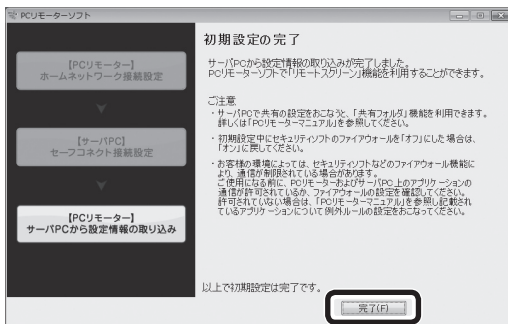
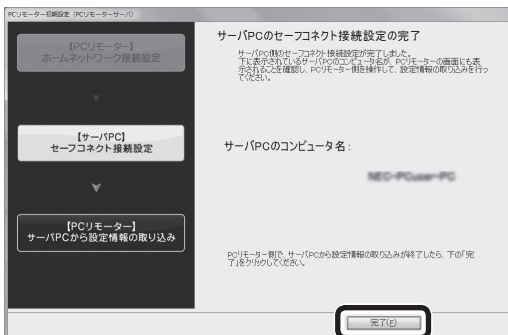
登録済みのサーバPCと同じコンピューター名のサーバPCを登録した場合は、前回の設定値を上書きします。

次の画面が表示されたら、本機はこのままにして、サーバPC側の設定をおこないます。

8 サーバPC側でセーフコネクト接続設定をする

PART2の「セーフコネクト接続設定(サーバPC側)」(p.36)をご覧になり、サーバPCのセーフコネクト接続設定をおこないます。

▲サーバPCのセーフコネクト接続設定は、サーバPCで「スタート」-「すべてのプログラム」-「PCリモーター」-「PCリモーター初期設定(PCリモーターサーバ)」をクリックして起動

サーバPCのセーフコネクト接続設定をおこない、次の［サーバPCのセーフコネクト接続設定の完了］画面が表示されたら、再び本機の操作に戻ります。

[接続用パスワード作成]画面で「次へ」をクリックした後、「同期通信中」と表示された状態がしばらく続く場合は、PCリモーター（本機）の画面を確認してください。次の[確認]画面が表示されている場合、内容をご覧になり操作してください。

▲PCリモーター（本機）の画面

9 本機に、サーバPCのコンピュータ名が表示されていることを確認する

10 本機で、サーバPCからの設定情報の取り込みをおこなう

PART2の「サーバPCからの設定情報の取り込み（本機）」（p.46）をご覧になり、サーバPCからの設定情報の取り込みをおこないます。

11 サーバPCからの設定情報の取り込みが終わり、本機に［初期設定の完了］画面が表示されたら「完了」をクリックする

12 サーバPCの［サーバPCのセーフコネクト接続設定の完了］画面で「完了」をクリックする

これで、サーバの追加/変更は完了です。

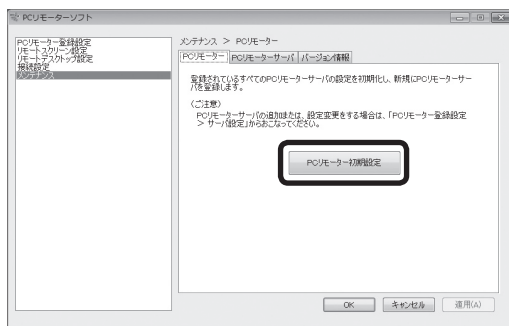
「PCリモーター初期設定」をやりなおす

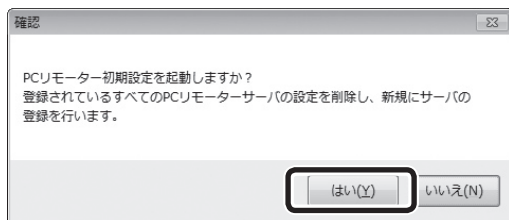
本機を使い始める際におこなった「PCリモーター初期設定」をやりなおして、接続設定を変更する場合は、ホームメニューの「設定」からおこないます。

以下の操作をおこなうと、登録済みのサーバ設定情報などがすべて初期化されます。PCリモーターサーバを追加したり、すでに登録した内容を変更したい場合は、このPARTの「サーバの追加/変更をおこなう」(p.145)をご覧ください。

1 ホームメニューで「設定」をクリックする

2 左欄の「メンテナンス」をクリックする

3 「PCリモーター」タブで、「PCリモーター初期設定」をクリックする

4 [確認]画面が表示されたら内容を確認し、初期設定を起動する場合、「はい」をクリックする

初期設定をおこなうと、登録されているすべてのPCリモーターサーバの設定が削除されます。

初期設定が始まります。手順については、PART2の「PCリモーター /PCリモーターサーバの初期設定」(p.32)をご覧ください。

PART

9

トラブル解決

このPARTでは、PCリモーターを使っていて困ったときの対処法を説明しています。

トラブル発生時の対応

ここに掲載されていないQ&Aについては、次のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/lui/

初期設定ができない

ネットワーク環境を確認してください

初期設定時または宅内利用時に、PCリモーターサーバと接続できるネットワーク環境（有線LANまたは無線LAN（IEEE802.11nもしくはIEEE802.11b/g準拠））が必要です。

無線LANの電源がオンになっていますか？

無線LANで接続する場合、ワイヤレスLANランプ（）が点灯しているか確認してください。点灯していない場合は【Fn】＋【F2】を押して無線LANの電源をオンにしてください。

設定内容を確認してください

初期設定の手順中に入力する電子メールの設定などが正しいか確認してください。

PCリモーターサーバを再起動してください

PCリモーターサーバをシャットダウンし、電源コードを抜いて30秒間待ってから電源コードを差して起動してください。

パソコン（本機）を再起動してください

ウイルス対策ソフトなどのアップデート中に初期設定をおこなうと失敗することがあります。その場合はアップデート完了後、「スタート」-「シャットダウン」の ▷ をクリックして表示されるメニューから「再起動」をクリックしてパソコン（本機）を再起動してください。

PCリモーターサーバとの通信が切断されてしまう

PCリモーターサーバの解像度を確認してください

サポートされているPCリモーターサーバの解像度は1280×768、1024×768もしくは800×600です。「リモートスクリーン」接続中に、これ以外の解像度に変更したり、解像度を切り換えるソフトなどを使用すると、通信が切断されます。切断されたときは再度接続をおこなってください。その際、起動しているソフトの影響によっては接続できない場合があります。

電波が弱くなっていませんか？

無線LANで接続している場合、電波が弱い場所では通信が切断されてしまうことがあります。電波の届く場所に移動してください。

ケーブルが抜けていませんか？

有線LANで接続している場合、LANケーブルが抜けていないか確認してください。

リフレッシュレートや色数、解像度など画面モードが切り換わるソフト(ゲームなど)を使用していませんか？

画面モードが切り換わるゲームなどのソフトを起動すると通信が切断されることがあります。切断されたときは再度接続をおこなってください。
起動したソフトの影響で接続がうまくいかない場合は、「リモート再起動」機能を使ってPCリモーターサーバを再起動することでソフトを強制的に終了させることができます。「リモート再起動」については、PART8の「設定を変更する」-「本機の設定を変更する」-「設定できる項目」-「メンテナンス」(p.139)をご覧ください。

バージョンを確認してください

PCリモーターサーバとPCリモーターの組み合わせによっては、初期設定ができなかったり、つながらなかったりすることがあります。121wareなどからアップデートモジュールをダウンロードし適用した場合、PCリモーターサーバとPCリモーターサーバボード、PCリモーターのアップデートをセットでおこなう記載がある場合、必ずその指示にしたがってください。

ターゲットポインタとPC画面のマウスカーソルがずれる

ディスプレイアダプタの設定を確認してください

PCリモーターサーバ接続中に解像度を変更すると、お使いのパソコンによっては、ターゲットポインタとマウスカーソルがずれたり、パソコン画面の一部が表示されなくなることがあります。その場合、PART1の「PCリモーターサーバの準備」(p.8)を参照して、ディスプレイアダプタの設定を変更すると、改善することがあります。

PCリモーターサーバとの接続用パスワードを忘れてしまった

再度初期設定をしてください

接続用パスワードを忘れてしまった場合は、PART8の「「PCリモーター初期設定」をやりなおす」(p.152)をご覧になり、本機の初期設定をやりなおしてください。

リモートスクリーン使用中に画面がかくつく、画質が悪い

お使いの環境に左右される場合があります

お使いのネットワーク環境や電波の状態により、画面が動かなくなったり、カクツキ、操作反応の遅延、音の途切れが発生する場合があります。

PCモードとMovieモードを切り換えてください

PCモードは画像の鮮明さと本機を操作するときのレスポンスを重視するモードです。Movieモードは動画のなめらかさを重視したり、音が途切れないようにするモードです。利用場面によってモードを切り換えてください。詳しくは、PART4の「画質の調節」(p.75)をご覧ください。

画質を調節してください

画質を優先させるか、画像の動きを優先させるかを調節することができます。調節のしかたは、PART4の「画質の調節」(p.75)をご覧ください。

セーフコネクト接続画面(STEP1)でエラーになる

次のチェックポイントを確認してください

- **メール設定が正しくない**
  メールの設定が正しくないと、接続できません。メールの設定を再確認してください(メールアドレス、SMTPサーバ、POP3サーバ、SMTP認証など)。

- **グローバルIPアドレスが取得できない**
  PCリモーターサーバ側で、グローバルIPアドレスを取得できないと、接続できません。

- **ルータがUPnPに対応していない**
  ルータがUPnPに対応していないか、またはUPnP機能がオフになっている場合は接続できません。
  ルータのUPnP機能がオンであるにも関わらずUPnP関係のエラーが出る場合は、ルータを再起動することで改善することがあります。

- **ルータが2段構成になっている**
  ホームネットワーク内に複数のルータが設置されている場合、接続できないことがあります。

- **PCリモーターサーバで複数のLANアダプタが動作している**
  PCリモーターサーバボードを除いて、2つ以上のLANアダプタが同時にネットワークに接続されていると、PCリモーターが接続できない場合があります(例:PCリモーターサーバボードのLAN、パソコン本体の有線LAN、無線LANの3つの接続がある場合)。無線LANをオフにするなど、PCリモーターサーバボードのLAN以外のLANアダプタが1つになるようにしてください。

- **セキュリティソフトがブロックしている**
  PCリモーターサーバのセキュリティソフトがリモートスクリーンの通信をブロックしていると、リモートスクリーンを使用できません。リモートスクリーンの通信を許可するようPCリモーターサーバのセキュリティソフトを設定してください。設定方法は、セキュリティソフトのマニュアルをご覧ください。

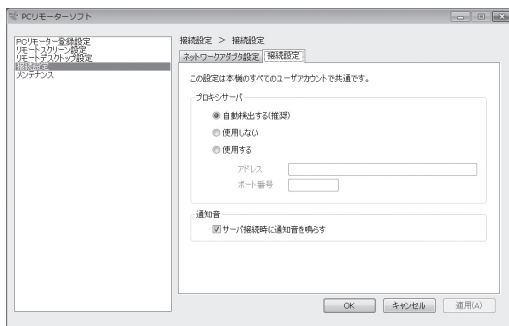
- **時計がずれている**
  本機の時計が極端にずれていると、接続できません。

プロキシサーバの設定をしてください

インターネットに接続する際、プロキシサーバが必要な場合は、次の手順でプロキシサーバの設定をしてください。

1 「ホームメニュー」で「設定」をクリックする
「設定」メニューが表示されます。

2 左欄の「接続設定」をクリックする

3 「接続設定」で、プロキシサーバの設定をおこなう

PART 9 トラブル解決

PCリモーターサーバを再起動してください

PCリモーターサーバをシャットダウンし、電源コードを抜いて30秒間待ってから電源コードを差して起動してください。

メモ

上記以外のPCリモーターに関するQ&Aは、次のホームページのQ&Aをご覧ください。

http://121ware.com/lui/

ファイルをダウンロードしている最中にリモートスクリーンで接続すると、ダウンロードが切断される

リモートスクリーンの接続・切断のタイミングで、ほかのすべてのネットワーク接続はいったん切断されます。

リモートスクリーン接続をおこなっても、PCリモーターサーバが自動で起動しない

- PCリモーターサーバの電源そのものがつながっていない場合、自動で起動しません。
- リモートパワーオンには、PCIカードからの起動への対応が必要です。お使いのPCリモーターサーバによっては、BIOS(バイオス)の設定が必要になります。BIOSの設定方法については、お使いのパソコン(PCリモーターサーバ)のメーカーへお問い合わせください。
- コンセントの接続などをもう一度ご確認ください。また、VALUESTAR R Luiモデルでお使いの場合は、シャットダウン状態からは自動で起動しないため、スリープ/休止状態になっていることを確認してください。
- PCリモーターサーバの起動に時間がかかり、PCリモーターの接続待ち時間を超えてしまうような場合も接続に失敗することがあります。この場合は、もう一度接続してください。

PCリモーターサーバと接続できない

- リモートスクリーン利用時にはPCリモーターサーバの画面モードのリフレッシュレート60Hz(59Hz)、色数32bit、ノンインターレース以外になっていると、接続できません。コントロールパネルから画面モードの設定を確認してください。
- DVDディスクがPCリモーターサーバのDVD/CDドライブに挿入されているときは、PCリモーターサーバに接続できません。DVD/CDドライブを確認してください。
- PCリモーターサーバの起動直後にサーバに接続すると、接続に失敗することがあります。その場合、しばらくたってから、再度接続してください。
- 自動ログオン設定で設定していないユーザーでPCリモーターサーバにログオンしている場合は接続できません。
  PCリモーターサーバが【Ctrl】+【Alt】+【Del】を押して表示される画面、もしくはパスワード変更画面を表示しているときは接続できません。
- 「リモート再起動」でPCリモーターサーバを再起動することができます。
  PCリモーターサーバで作業中に「リモート再起動」をおこなった場合は、保存していない作業を失う可能性があります。
- PCリモーターサーバのLANケーブルが抜けていないか確認してください。
- PCリモーターサーバに添付のキーボード以外もしくは、JIS配列準拠のキーボード(PS2、USB接続のキーボード)以外を接続した場合、リモートスクリーン機能が正常に動作しないことがあります。PCリモーターサーバに添付されているキーボードもしくは、JIS配列準拠のキーボード(PS2、USB接続のキーボード)を使用してください。
- PCリモーターサーバとディスプレイとは直接接続しないで、間にPCリモーターサーバボードを介して接続してください。
- PCリモーターサーバを切断後にPCリモーターサーバにリモートデスクトップ接続をおこないログオンしたとき、再度ログオン画面が表示されることがあります。その場合は、再度ログオンをおこなってください。
- ウイルス対策ソフトなどのアップデート中は、PCリモーターサーバとの接続に失敗することがあります。その場合はアップデート完了後、パソコン(本機)を再起動してから再接続してください。
- 初期設定後にPCリモーター(本機)のコンピューター名を変更した場合、PART8の「「PCリモーター初期設定」をやりなおす」(p.152)をご覧になり、初期設定をやりなおしてください。
- 初期設定後にPCリモーターサーバの次のいずれかを変更した場合、PART8の「サーバの追加/変更をおこなう」(p.145)をご覧になり、サーバの追加/変更をおこなってください。
  - コンピューター名
  - ユーザーアカウント名
  - ユーザーアカウントのパスワード

PART 9 トラブル解決

それでも接続できない場合

ここに書かれた内容や、http://121ware.com/lui/を見ても問題が解決しない場合は、次の手順をおこなってください。

パソコンを再起動する

「スタート」-［シャットダウン］の［▷］をクリックして表示されるメニューから「再起動」をクリックしてください。
パソコンが再起動したら、再度PCリモーターの操作をしてください。

PCリモーターの初期設定をやりなおす

PART8の「「PCリモーター初期設定」をやりなおす」(p.152)をご覧になり、初期設定をやりなおしてください。

PCリモーターソフトをインストールしなおす

どうしても問題が解決しない場合は、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフトの追加と削除」をご覧になり、いったんPCリモーターソフトをアンインストール後、インストールしなおします。

画面に黒枠が表示される

リモートスクリーン接続中に休止状態、スリープ、シャットダウン、またはPCリモーターサーバの解像度を切り換えるソフトを使用すると、お使いのパソコンによっては、全画面表示時の黒枠が大きく表示されることがあります。

共有フォルダにファイルなどを作成しても表示されない

作成後しばらくたってからメニューの「表示」-「最新の情報に更新」をクリックし、表示の更新をおこなってください。
メニューが表示されていない場合は、「整理」-「レイアウト」-「メニューバー」をクリックすると表示できます。

リモートスクリーン接続中に録音できない

- 本機のホームメニューで「設定」-「リモートスクリーン設定」-「リモートスクリーン設定」をクリックして表示される画面の「マイク」の設定で、「マイク入力設定」を☑にしてください。
- 本機のホームメニューで「設定」-「リモートスクリーン設定」-「リモートスクリーン設定」をクリックして表示される画面の「マイク」の設定で、使用する録音デバイス名を選択してください。
- PCリモーターサーバの録音デバイスの設定(PCリモーターサーバで「スタート」-「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」-「サウンド」-「録音」をクリックして表示される画面)で、「NECリモートスクリーンオーディオ」が既定のデバイスになっていること(既定のデバイスであることを示す緑色のチェックアイコン✔が表示されていること)を確認してください。
- PCリモーターのコンピューター名に全角文字が含まれていないことを確認してください。全角文字が含まれていると、リモートスクリーン接続中に録音できないことがあります。

PART 9 トラブル解決

付　録

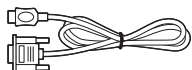
VALUESTAR R Luiモデル
ケーブル接続図
(2008年4月発表モデル)

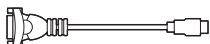
ここでは、2008年4月発表のVALUESTAR R Luiモデルをご使用の場合のケーブル接続方法を説明しています。
発表時期については、次のホームページの「商品情報検索」にてご確認ください。
http://121ware.com/support/

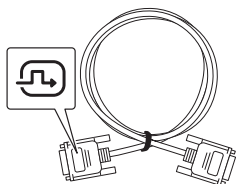
- ケーブル接続については、VALUESTAR R Luiモデルに添付のマニュアル『準備と設定』も、あわせてご覧ください。
- 2008年10月以降に発表のVALUESTAR R Luiモデルをご使用の場合は、パソコンご購入時に添付されていたマニュアルをご覧になり、接続してください。

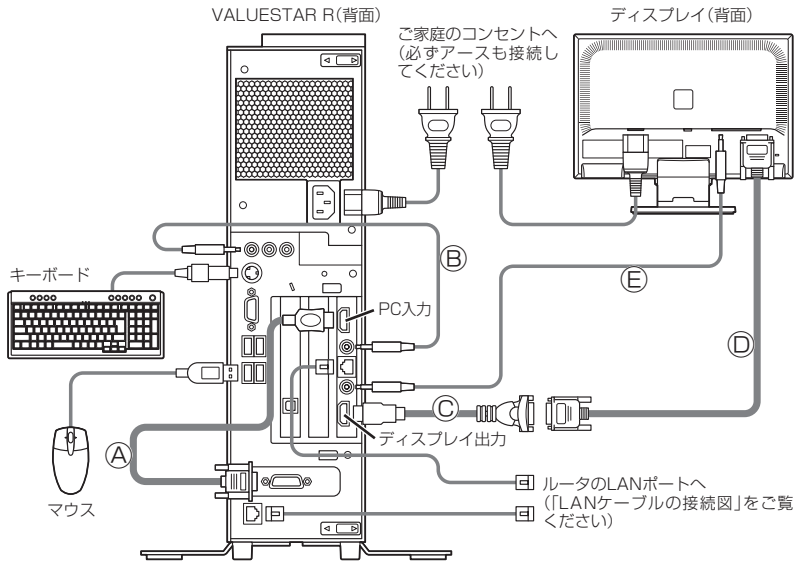
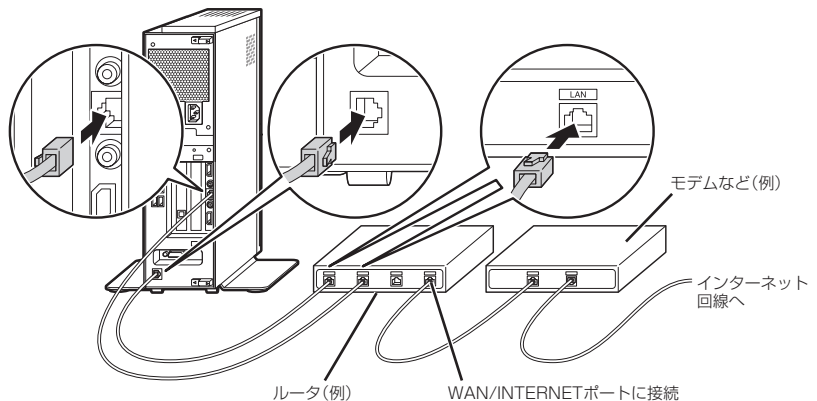
VALUESTAR R Luiモデルのケーブル接続には、以下のものが必要です。

■VALUESTAR R Luiモデル(パソコン本体)に添付されているもの

Ⓐ PC→ボード接続ケーブル(ネジ付)

Ⓑ オーディオケーブル

Ⓒ ボード→ディスプレイ接続変換ケーブル(メス)(ネジ無)

■ディスプレイに添付されているもの

Ⓓ ビデオ信号ケーブル(DVI-D)

Ⓔ オーディオケーブル

■ケーブル接続図

■LANケーブルの接続図

VALUESTAR R Luiモデルとルータは2本のLANケーブルで接続します。ルータには一般的に「LAN」と「WAN」の2種類のポートがあります。VALUESTAR R Luiモデルに接続するLANケーブルは、両方とも「LAN」のポートに接続してください。

付録

- 電源コードのプラグをコンセントに差し込む際、アース線をアース端子に接続してから、電源コードのプラグを差し込んでください。
電源コードを外す際は、電源コードのプラグを外してからアース線を外してください。
- ルータの接続は、必ずWindowsパスワードの設定が終わってからおこなってください。
- 市販のLANケーブル（ストレートケーブル）で接続してください。VALUESTAR R Luiモデルおよび本機に、LANケーブルは添付されていません。
- ルータのWANポートは、モデムなどとの接続に使います。ルータ（例）、モデムなど（例）の接続について詳しくは、各ルータやモデムなどのマニュアルをご覧ください。

キー操作一覧

リモートスクリーン中に使用できるキー操作です。

キー操作(初期値)	機能	説明
【Shift】+【Ctrl】+【F7】	ツールバーのOn/Off	ツールバーのオン/オフを切り換えます。
【Shift】+【Ctrl】+【↑】※1	上スクロール	上方向にスクロールします。
【Shift】+【Ctrl】+【↓】※1	下スクロール	下方向にスクロールします。
【Shift】+【Ctrl】+【→】※1	右スクロール	右方向にスクロールします。
【Shift】+【Ctrl】+【←】※1	左スクロール	左方向にスクロールします。
【Shift】+【Ctrl】+【F8】※2	表示切換	画面を全体表示/dot by dot表示(1:1)に切り換えます。
【Shift】+【Ctrl】+【F9】	Window fit	ウィンドウフィットに切り換えます。
【Shift】+【Ctrl】+【F10】	転送モード※3	Movieモード/PCモードを切り換えます。
【Shift】+【Ctrl】+【F11】	画質優先※3	キーを押すごとにビットレートが向上し、PCリモーターサーバ接続中の画質を優先します。
【Shift】+【Ctrl】+【F12】	動き優先※3	キーを押すごとにビットレートが低下し、PCリモーターサーバ接続中の画面の動きを優先します。

※1:dot by dot表示(1:1)時のみ使用できます。
※2:【Shift】+【Ctrl】+【F8】キーで切り換える場合の動作は次のようになります。切り換え前の状態によって、切り換え後の動作が異なります。
- フル→1:1(dot by dot表示)→フル
- ノーマル→1:1(dot by dot表示)→ノーマル
- 1:1(dot by dot表示)→「フル」または「ノーマル」(1:1にする前の状態)→1:1(dot by dot表示)

※3:ツールバーを自動的に隠す設定になっている場合にキーを押すと、一時的にツールバーが表示され、キー操作がなされたことを確認できます。

メモ

ショートカットキー(キーボードの複数のキーの組み合わせ)の初期値を変更するには、ホームメニューから「設定」-「リモートスクリーン設定」-「ショートカットキー設定」で表示されるショートカットキーの設定画面でおこないます。

参照

リモートスクリーンの各種機能について→PART4の「リモートスクリーンの各種機能について」(p.71)

付録

PCリモーター接続設定ナビ

通信環境にあわせた設定をおこなうことで、PCリモーターをより快適にお使いいただくことができます。
ここでは､使用する通信環境に適した設定についてご紹介します。

事前にご確認ください

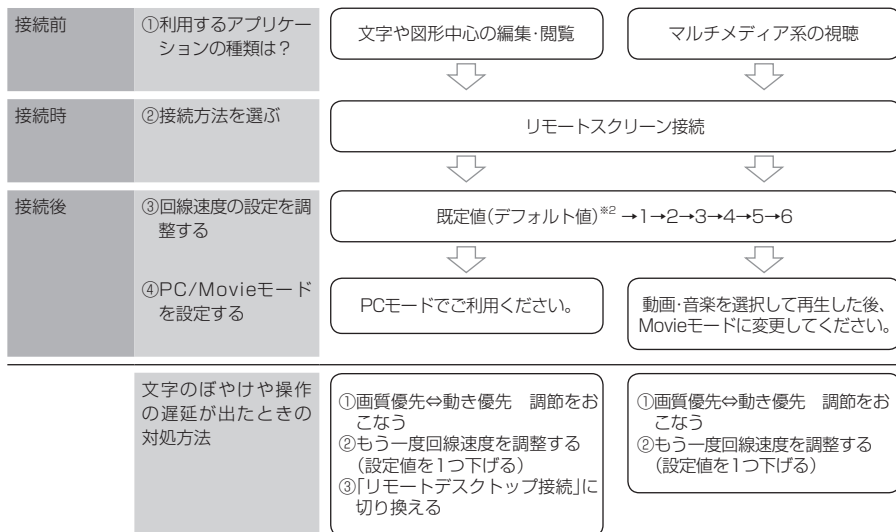
●インターネットへの接続

宅外で利用する場合は、PCリモーター（本機）がインターネットに接続されている状態でお使いいただく必要があります。本機でホームページ閲覧やメールの送受信ができる状態になっていることをご確認ください。

●電波強度の確認

無線LANや通信カードを使ってインターネットに接続する場合は､電波強度を確認して､できるだけ電波の強いところでお使いください。

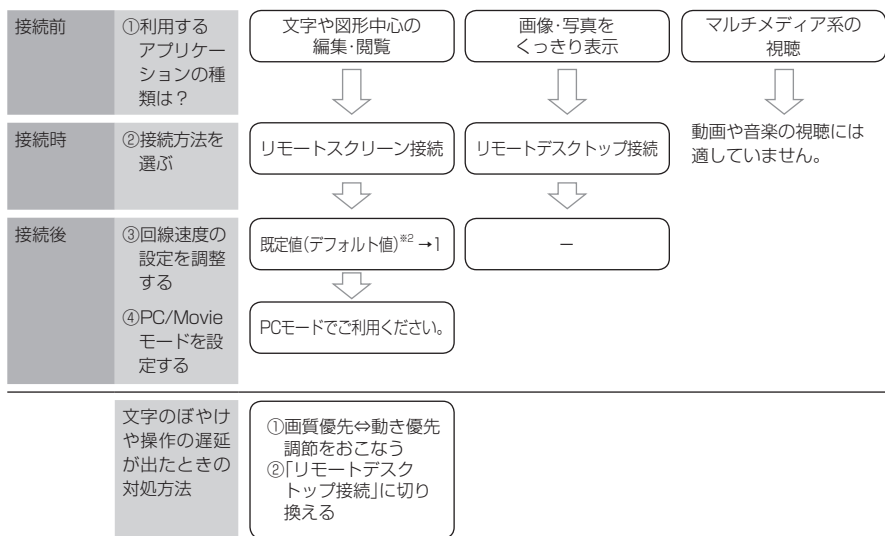
高速回線をご利用になる場合（3Mbps以上）※1

接続前	①利用するアプリケーションの種類は？	文字や図形中心の編集･閲覧	マルチメディア系の視聴
接続時	②接続方法を選ぶ	リモートスクリーン接続	
接続後	③回線速度の設定を調整する	既定値（デフォルト値）※2 →1→2→3→4→5→6	
	④PC/Movieモードを設定する	PCモードでご利用ください。	動画･音楽を選択して再生した後、Movieモードに変更してください。
	文字のぼやけや操作の遅延が出たときの対処方法	①画質優先⇔動き優先　調節をおこなう ②もう一度回線速度を調整する（設定値を1つ下げる） ③「リモートデスクトップ接続」に切り換える	①画質優先⇔動き優先　調節をおこなう ②もう一度回線速度を調整する（設定値を1つ下げる）

※1：回線の速度は､インターネット上の通信速度測定ページなどでご確認ください。
※2：ご利用のネットワークアダプタによって異なります。

低速回線をご利用になる場合(3Mbps未満)※1

		文字や図形中心の編集・閲覧	画像・写真をくっきり表示	マルチメディア系の視聴
接続前	①利用するアプリケーションの種類は?	⇩	⇩	⇩
接続時	②接続方法を選ぶ	リモートスクリーン接続 ⇩	リモートデスクトップ接続 ⇩	動画や音楽の視聴には適していません。
接続後	③回線速度の設定を調整する	既定値(デフォルト値)※2 →1 ⇩	ー	
	④PC/Movieモードを設定する	PCモードでご利用ください。		
	文字のぼやけや操作の遅延が出たときの対処方法	①画質優先⇔動き優先調節をおこなう ②「リモートデスクトップ接続」に切り換える		

※1:回線の速度は、インターネット上の通信速度測定ページなどでご確認ください。
※2:ご利用のネットワークアダプタによって異なります。

付録

PCリモーター使いこなし術

接続する回線を選んだり、接続したネットワークの速度や使用目的にあわせた設定をしたりすることで、PCリモーターをより快適な状態で使用していただくことができます。
ここでは、ご使用状況にあわせてPCリモーターを快適に使いこなしていただくための設定変更についてご紹介します。
詳しい設定内容や具体的な操作については、それぞれの参照先をご覧ください。

回線の設定

■ 接続する回線を切り換える

PCリモーターを使用する場所によっては、通信用の電波が届きにくい場合があります。
無線LANやデータ通信カードで利用する電波の強さを確認し、よりよい通信環境が確保できる回線を選んでください。
ホテルなど、有線LANに接続できるときは、そちらをご利用いただくのもよい方法です。
利用しない回線は、取り外すかスイッチを切ってください。

■回線速度を調節する

接続する回線によって、回線の速度(ネットワークの帯域)が異なります。
PCリモーターサーバに接続した後、画面左上のリモートスクリーンメニュー、または、ない場合は画面右下の通知領域のをクリックして表示される画面にあるを左クリックして表示される画面から適切な回線速度を選ぶことで、より快適な操作をおこなうことができます。
最初に接続したときは、回線速度が既定値(出荷時の設定)となっています。
操作に対する反応が悪かったり、映像にカクツキや遅延があるときは、回線速度のレベルを「1」に変更して操作状況を確認してください。
その後、レベルを1つずつ上げて、適切な設定に変更してください。

参照

回線速度のレベルを設定・変更する→PART4の「回線速度」(p.80)

解像度の設定

■ 解像度を設定する

PCリモーターサーバの解像度を下げると、画面表示のために転送される情報が減るため、操作のレスポンスが向上します。
画面の解像度は、「スタート」-「コントロールパネル」-「個人設定」-「画面の設定」で変更することができます。ご使用状況に応じて、「XGA(1024×768)」や「SVGA(800×600)」を選んでください。

解像度を変更すると、マウスカーソルの位置がずれるなど、PCリモーター上に画像が正常に表示されないことがあります。その場合は、PART1の「PCリモーターサーバの準備」-「PCリモーターサーバの設定前の確認をする」(p.8)をご覧になり設定を変更してください。

使用する目的にあわせた設定

■ アプリケーションにあわせてモードを切り換える

操作しているアプリケーションにあわせて、モードを切り換えることができます。

- PCモード
  操作のレスポンスを優先するモードです。アプリケーションの操作がスムーズにおこなえます。文書の編集などに適しています。ただし、Movieモードに比べて映像や音声のずれが起こりやすくなります。
- Movieモード
  映像の再生を優先するモードです。ネットワークの速度の変化によって起こるカクツキや音の途切れを抑えて、動画をなめらかに再生します。ただし、PCモードに比べてマウスやキーボードを操作したときの反応速度は低下します。

PCモード/Movieモードの切り換えについて→PART4の「PCモードとMovieモード」(p.75)

付録

■ 画質と動き(操作のレスポンス)、いずれかの優先度を調節する

どちらを優先させるか、3段階で調節することができます。使用する目的にあわせて設定してください。

・ 画質優先
　表示される文字のにじみをできるだけなくしたいときに選びます。画質の優先度を高くするごとに、マウスやキーボードなどの操作のレスポンスが低下します。

・ 動き優先
　マウスやキーボードなどの操作のレスポンスを優先したいときに選びます。動きの優先度を高くするごとに、画質は低下します。

参照

画質と動きの優先度の設定について→PART4の「画質優先と動き優先」(p.76)

■PCリモーターサーバの画面デザインを変更する

PCリモーターサーバの画面デザインをシンプルなものに変更すると、転送する画面情報が減るため、操作のレスポンスが向上します。

画面デザインの設定は、デスクトップ画面で右クリックし、「個人設定」をクリックして表示される画面で変更することができます。

ご使用状況に応じて、「Windowsクラシック」などシンプルな画面デザインを選んでください。

■PCリモーターサーバの壁紙を変更する

PCリモーターサーバの壁紙をシンプルなものに変更すると、画面表示のために転送される情報が減るため、操作のレスポンスが向上します。

壁紙は、デスクトップ画面で右クリックし、「個人設定」をクリックして表示される画面の「デスクトップの背景」で変更することができます。

ご使用状況に応じて、単色(純色)の壁紙などを選んでください。推奨色は「グレー」です。

索引

付録

ま行

ら行

わ行

PCリモーターマニュアル

初版 **2010年1月**
NEC
853-811057-001-A
Printed in Japan

LaVie Light
Luiモデル
PCリモーターマニュアル

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）

このマニュアルは、再生紙を使用しています。